

平成 27 年度
佐久市人権問題に関する
市民意識調査報告書

平成 28 年 3 月

佐 久 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
7	基礎資料の内訳	2
II	調査結果	3
1	人権意識について	3
	人権に関することば・関心	3
	女性の人権	9
	子どもの人権	14
	高齢者の人権	19
	障がいのある人の人権	24
	同和問題	29
	外国人の人権	34
	エイズ患者・HIV(エイズウイルス)感染者の人権	39
	ハンセン病患者(回復者)の人権	44
2	結婚について	49
3	人権侵害について	58
4	人権擁護機関の周知度について	72
5	人権問題への関わりについて	75
6	今後の人権教育・啓発のあり方について	91
III	調査様式	94

I 調査の概要

1 調査の目的

佐久市は、平成 17 年度及び 22 年度に人権問題に関する「市民意識調査」を実施し「佐久市部落差別撤廃と人権擁護に関する総合計画」に基づき、一人ひとりの基本的人権を永久の権利として尊重し、すべての市民が平等に生きる権利の保障に向け、人権施策の推進に努めてきた。

さらに今回の調査により、市民の人権に対する意識の現状を把握し、今後の人権同和教育・啓発活動の課題を明らかにするための基礎資料として、「第三次佐久市部落差別撤廃と人権擁護に関する総合計画」の策定に活かしていく。

2 調査対象

佐久市居住の 18 歳以上の男女 1,000 人を無作為抽出

3 調査期間

平成 27 年 11 月 1 日から平成 27 年 11 月 30 日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

配布数	有効回収数	有効回収率
1,000 通	586 通	58.6%

6 調査結果の表示方法

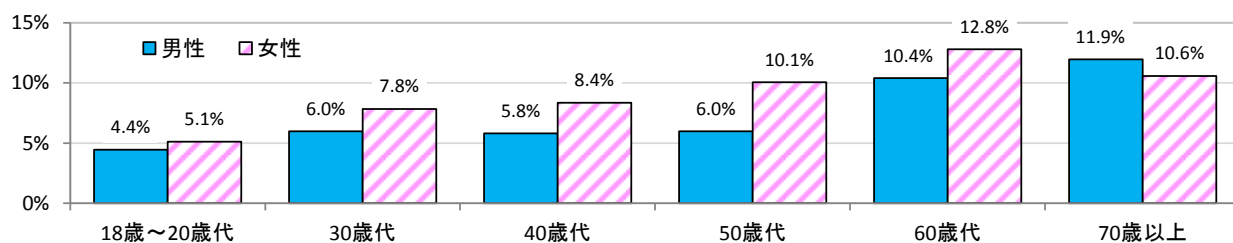
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示す。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合がある。
- ・複数回答の設問の場合、選択項目が回答対象者数に対してどのくらいの比率かを示すため、比率の合計が 100.0%を超える場合がある。
- ・職業別の家族従業者は標本数が少ないので参考値である。

（注）分析にあたっては佐久市の平成 22 年度・17 年度調査、内閣府の「人権擁護に関する世論調査」（対象 3,000 人、有効回収 62.1%、平成 24 年 8～9 月実施）、長野県の「人権に関する県民意識調査」（対象 2,000 人、有効回収 49.7%、平成 27 年 1 月実施）、上田市の「人権に関する市民意識調査」（対象 2,000 人、有効回収 42.4%、平成 24 年 5 月実施）を参考にした。ただ質問文言や選択肢が違うので単純な比較は適当でない。

◆基礎資料の内訳

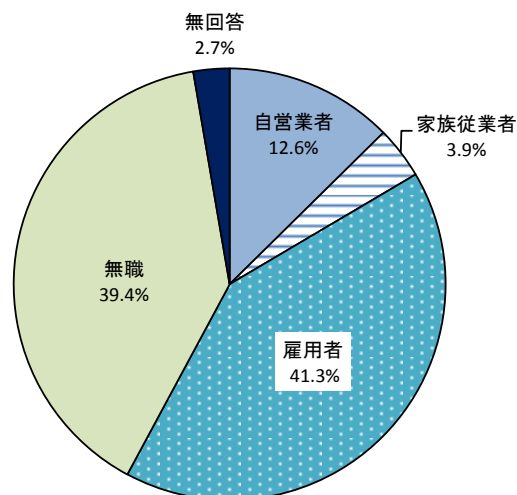
【性別と年代】

	合計	18歳～20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
全体	586 100.0%	56 9.6%	81 13.8%	83 14.2%	94 16.0%	136 23.2%	132 22.5%	4 0.7%
男性	261 44.5%	26 4.4%	35 6.0%	34 5.8%	35 6.0%	61 10.4%	70 11.9%	—
女性	321 54.8%	30 5.1%	46 7.8%	49 8.4%	59 10.1%	75 12.8%	62 10.6%	—
無回答	4 0.7%	—	—	—	—	—	—	4 0.7%



【職業】

A 自営業者	74	12.6%
農林漁業	27	4.6%
商工・建設・サービス業	28	4.8%
自由業	14	2.4%
業種無回答	5	0.9%
B 家族従業者	23	3.9%
農林漁業	7	1.2%
商工・建設・サービス業	9	1.5%
自由業	6	1.0%
業種無回答	1	0.2%
C 雇用者	242	41.3%
管理職	18	3.1%
専門技術職	73	12.5%
事務職	67	11.4%
労務職	79	13.5%
業種無回答	5	0.9%
D 無職	231	39.4%
主婦・主夫	139	23.7%
学生	19	3.2%
その他の無職	57	9.7%
業種無回答	16	2.7%
無回答	16	2.7%



II 調査結果

I. 人権意識について

人権に関することばの見聞き 「人権週間」 7割 「世界人権宣言」 6割

問1 人権に関することばのうち、あなたが、見聞きしたことがあるものを、すべて挙げてください。(該当する番号の左側に○印をお付けください)

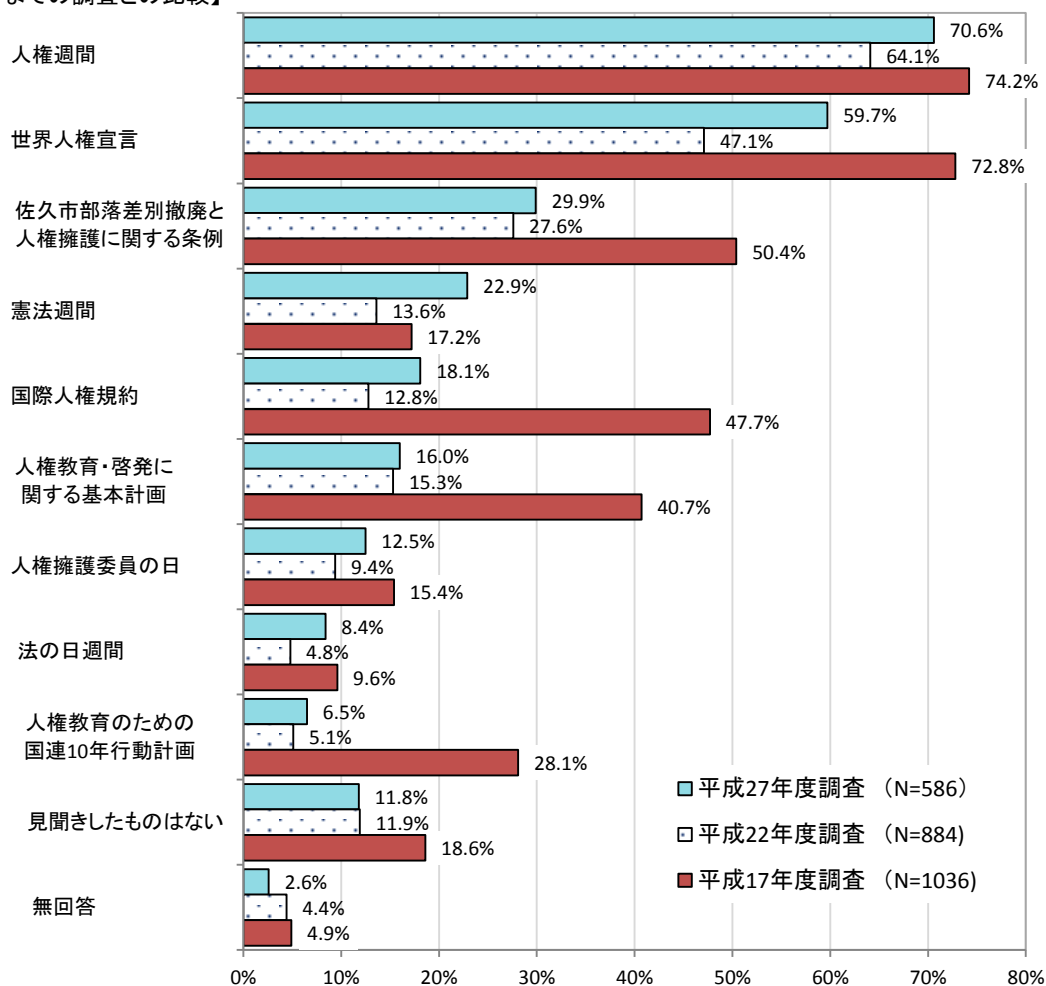
見聞きしたことがある人権に関することば（複数回答）は、「人権週間」70.6%、「世界人権宣言」59.7%の2つが周知されている。上位2項目は性別、年代、職業を通じてほぼ共通だが、30代は他の年代に比べやや低い。

「佐久市部落差別撤廃と人権擁護に関する条例」は29.9%、70歳以上には57.6%とよく知られている一方、50歳代未満は2割に達しない。

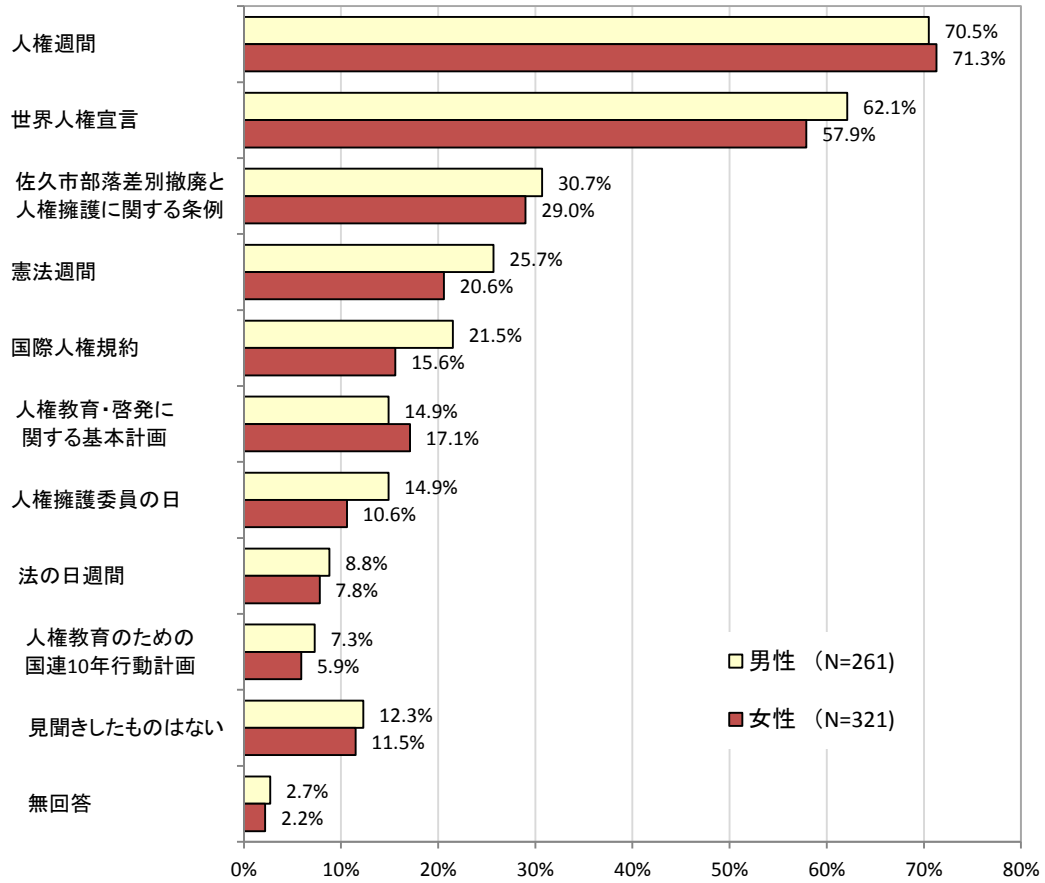
また「見聞きしたものはなし」が30歳代19.8%、18歳～20歳代16.1%と他の年代より高く、若い世代が人権に関することばを把握していない傾向が見られる。

前回調査との比較では、上位3項目は共通でアップしている。ただ「佐久市部落差別撤廃と人権擁護に関する条例」は2.3ポイント増えているものの、平成17年度に比べると20ポイント以上も低い。

【今までの調査との比較】



【性別】



問1 人権に関することばのうち、あなたが、見聞きしたことがあるものを、すべて挙げてください

(%)

		標 本 数 (人)	人 権 週 間	世 界 人 権 宣 言	佐 久 市 部 落 差 別 撤 廃 と 人 権 擁 護 に 関 す る 条 例	憲 法 週 間	国 際 人 権 規 約	基 本 計 画 人 権 教 育 ・ 啓 発 に 関 す る	人 権 擁 護 委 員 の 日	法 の 日 週 間	1 0 年 行 動 計 画 人 権 教 育 の た め の 国 連	見 聞 き し た も の は な い	無 回 答
全体		586	414	350	175	134	106	94	73	49	38	69	15
			70.6	59.7	29.9	22.9	18.1	16.0	12.5	8.4	6.5	11.8	2.6
性別	男性	261	70.5	62.1	30.7	25.7	21.5	14.9	14.9	8.8	7.3	12.3	2.7
	女性	321	71.3	57.9	29.0	20.6	15.6	17.1	10.6	7.8	5.9	11.5	2.2
	無回答	4	25.0	50.0	50.0	25.0	-	-	-	25.0	-	-	25.0
年代	18歳～20歳代	56	64.3	64.3	3.6	17.9	26.8	7.1	5.4	-	1.8	16.1	-
	30歳代	81	58.0	49.4	11.1	9.9	21.0	9.9	8.6	3.7	6.2	19.8	3.7
	40歳代	83	75.9	55.4	15.7	16.9	18.1	12.0	6.0	4.8	6.0	10.8	1.2
	50歳代	94	76.6	61.7	21.3	12.8	9.6	9.6	6.4	5.3	7.4	12.8	3.2
	60歳代	136	72.1	65.4	39.0	34.6	16.9	17.6	16.2	9.6	5.1	11.0	1.5
	70歳以上	132	73.5	59.8	57.6	31.8	20.5	29.5	22.7	17.4	9.8	6.1	3.8
	無回答	4	25.0	50.0	50.0	25.0	-	-	-	25.0	-	-	25.0
職業	自営業者	74	75.7	68.9	39.2	23.0	17.6	17.6	12.2	13.5	8.1	8.1	1.4
	農林漁業	27	92.6	77.8	51.9	25.9	22.2	25.9	14.8	18.5	14.8	-	3.7
	商工・建設・サービス業	28	64.3	53.6	28.6	17.9	14.3	21.4	10.7	7.1	3.6	17.9	-
	自由業	14	71.4	85.7	21.4	21.4	21.4	-	-	-	-	7.1	-
	業種無回答	5	60.0	60.0	80.0	40.0	-	-	40.0	60.0	20.0	-	-
	家族従業者	23	82.6	65.2	30.4	17.4	17.4	21.7	13.0	8.7	4.3	17.4	-
	農林漁業	7	85.7	71.4	42.9	28.6	14.3	42.9	14.3	14.3	-	14.3	-
	商工・建設・サービス業	9	88.9	55.6	22.2	22.2	11.1	-	22.2	11.1	-	11.1	-
	自由業	6	66.7	66.7	16.7	-	16.7	16.7	-	-	16.7	33.3	-
	業種無回答	1	100.0	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-
	雇用者	242	74.4	57.0	21.5	18.2	17.8	9.9	9.1	4.1	5.4	11.2	1.7
	管理職	18	83.3	50.0	33.3	27.8	22.2	16.7	-	11.1	11.1	11.1	-
	専門技術職	73	75.3	63.0	24.7	19.2	21.9	8.2	13.7	2.7	5.5	9.6	1.4
	事務職	67	85.1	67.2	19.4	20.9	17.9	13.4	9.0	6.0	7.5	3.0	1.5
	労務職	79	64.6	45.6	16.5	12.7	13.9	7.6	5.1	2.5	2.5	17.7	2.5
	業種無回答	5	40.0	40.0	40.0	20.0	-	-	40.0	-	-	40.0	-
	無職	231	65.8	61.0	36.4	28.6	19.0	21.2	16.5	11.3	7.8	12.6	3.9
	主婦・主夫	139	72.7	61.2	41.7	33.8	16.5	23.0	15.8	12.2	8.6	10.8	2.2
	学生	19	57.9	73.7	-	10.5	26.3	-	5.3	-	5.3	10.5	-
	その他の無職	57	54.4	57.9	28.1	21.1	15.8	19.3	15.8	7.0	5.3	15.8	8.8
業種無回答	16	56.3	56.3	62.5	31.3	43.8	37.5	37.5	31.3	12.5	18.8	6.3	
無回答	16	43.8	31.3	18.8	18.8	12.5	18.8	6.3	6.3	-	18.8	6.3	

関心がある人権問題

「障がいのある人の人権」 44.4%

問2 人権にかかわる問題として、あなたが、関心のあるものはどれですか。次の中から、3つ以内に絞って教えてください。

人権問題で関心があるもの（3つ以内）は「障がいのある人の人権」44.4%、「子どもの人権」35.0%、「インターネット（パソコンや携帯電話）による人権侵害」34.3%、「女性の人権」32.6%の順番で、この4項目が30%を超えた。

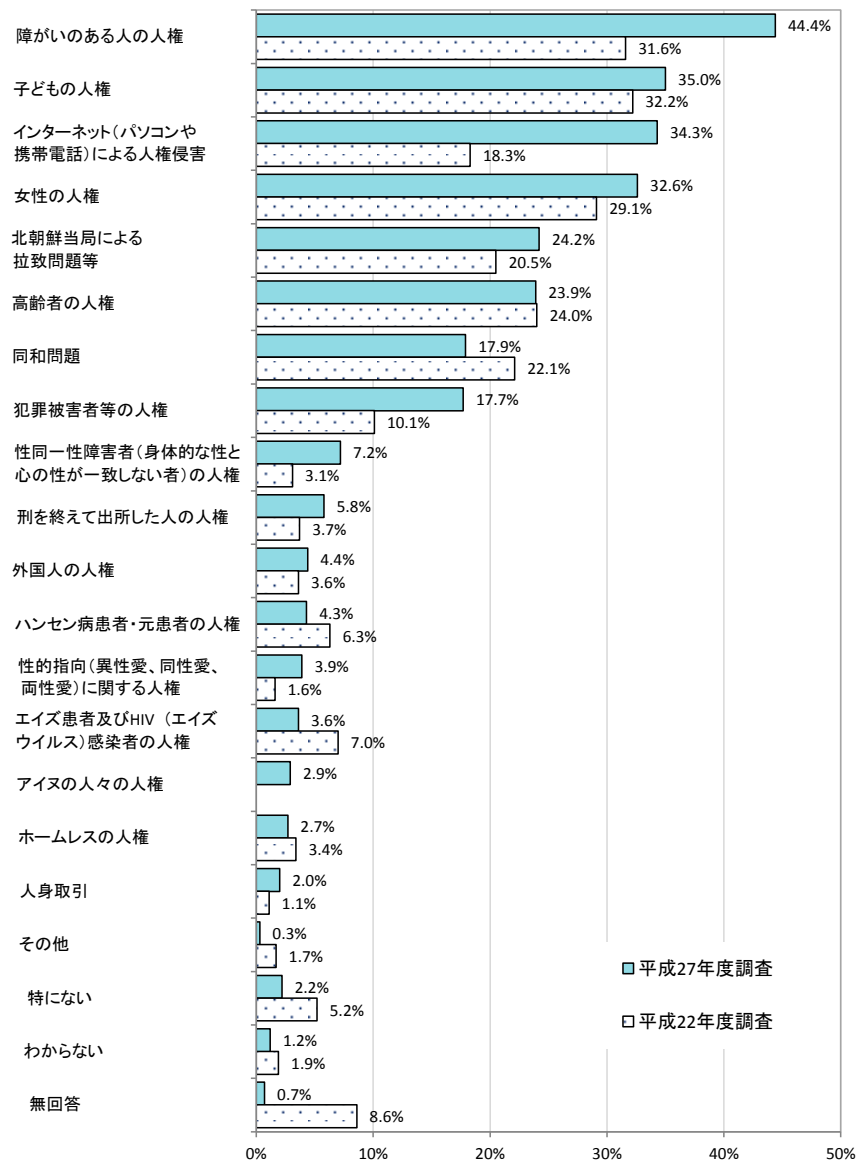
「障がいのある人の人権」は18歳～20歳代と60歳代で半数超、学生も標本数が少ないものの68.4%と関心が高い。「子どもの人権」は子育て世代の40歳代が47.0%、「インターネットによる人権侵害」は18歳～40歳代、職業で雇用者が45%前後と他に比べて高めだ。

「女性の人権」は女性38.3%に対し男性は24.5%と14ポイント近い開きがある。

以下「北朝鮮当局による拉致問題等」（24.2%）と「高齢者の人権」（23.9%）の順で、他の項目は2割に満たない。

前回調査に比べて「障がいのある人の人権」と「インターネットによる人権侵害」が大きく増加している。一方で「同和問題」は4.2ポイント低下している。

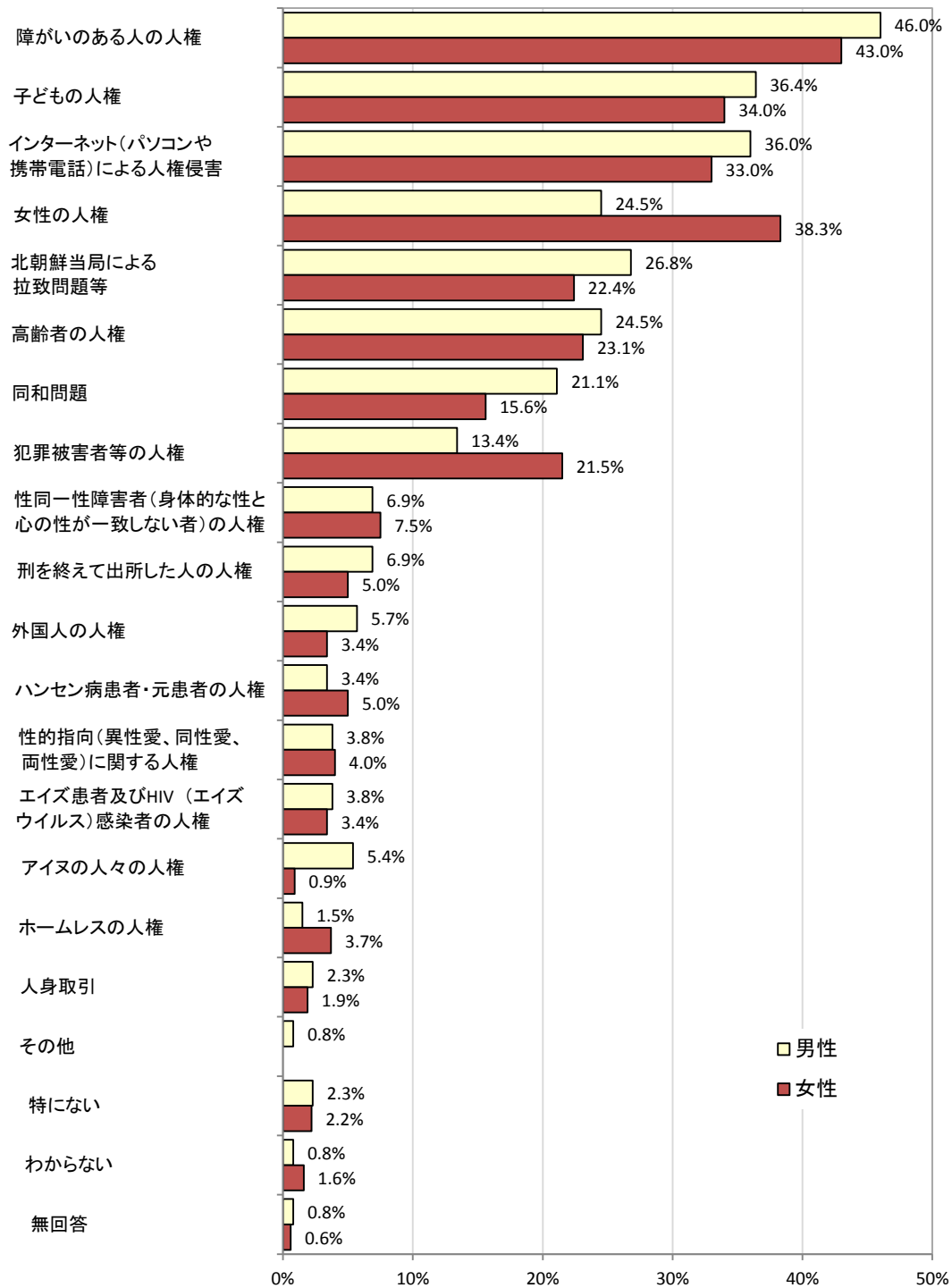
【前回調査との比較】



(注) 内閣府の「人権擁護に関する世論調査」(平成24年、以下内閣府の調査と略)によれば、関心の高い順に「障がい者」39.4%、「子ども」38.1%、「インターネットによる人権侵害」36.0%、「高齢者」34.8%、「東日本大震災に伴う人権問題」28.4%、「女性」26.9%となっている。

県の「人権に関する県民意識調査」(平成27年、以下県の調査と略)では「障がい者」62.2%、「高齢者」55.2%、「子ども」50.3%、「女性」48.1%、「インターネット」38.7%、「プライバシー」35.6%となっている。両調査とも「いくつでもあげてください」と記し選択肢も異なるので、単純な比較は適当でないが、関心のある上位項目として「障がい者」「子ども」は共通である。

【性別】



問2 人権にかかわる問題として、あなたが、関心のあるものはどれですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください

(%)

	標本数(人)	障がいのある人の人権	子どもの人権	インターネット(パソコンや携帯電話)による人権侵害	女性の人権	北朝鮮当局による拉致問題等	高齢者の人権	同和問題	犯罪被害者等の人権	性同一性障害者(身体的な性と心の性が一致しない者)の人権	刑を終えて出所した人の人権	外国人の人権	ハンセン病患者・元患者の人権	性的指向(異性愛、同性愛、両性愛)に関する人権	エイズ患者及びHIV(エイズウイルス)感染者の人権	アイヌの人々の人権	ホームレスの人権	人身取引	その他	特になし	わからない	無回答	
全体	586	260	205	201	191	142	140	105	104	42	34	26	25	23	21	17	16	12	2	13	7	4	
		44.4	35.0	34.3	32.6	24.2	23.9	17.9	17.7	7.2	5.8	4.4	4.3	3.9	3.6	2.9	2.7	2.0	0.3	2.2	1.2	0.7	
性別	男性	261	46.0	36.4	36.0	24.5	26.8	24.5	21.1	13.4	6.9	6.9	5.7	3.4	3.8	3.8	5.4	1.5	2.3	0.8	2.3	0.8	0.8
	女性	321	43.0	34.0	33.0	38.3	22.4	23.1	15.6	21.5	5.0	3.4	5.0	4.0	3.4	0.9	3.7	1.9	-	2.2	1.6	0.6	
	無回答	4	50.0	25.0	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
年代	18歳~20歳代	56	50.0	33.9	42.9	35.7	7.1	10.7	14.3	19.6	10.7	7.1	3.6	1.8	12.5	8.9	-	3.6	5.4	-	-	3.6	-
	30歳代	81	40.7	34.6	44.4	37.0	17.3	14.8	14.8	12.3	14.8	4.9	12.3	2.5	6.2	4.9	4.9	2.5	1.2	1.2	1.2	3.7	-
	40歳代	83	38.6	47.0	45.8	19.3	10.8	14.5	12.0	21.7	7.2	3.6	1.2	4.8	7.2	6.0	3.6	2.4	3.6	-	4.8	1.2	-
	50歳代	94	41.5	26.6	37.2	33.0	22.3	18.1	21.3	20.2	5.3	6.4	6.4	3.2	-	3.2	1.1	3.2	1.1	-	5.3	-	2.1
	60歳代	136	51.5	41.9	30.1	37.5	28.7	30.1	16.2	22.1	2.9	5.1	2.2	5.9	0.7	-	1.5	2.9	0.7	-	1.5	-	0.7
	70歳以上	132	42.4	27.3	19.7	29.5	41.7	37.9	25.0	12.1	6.8	7.6	3.0	5.3	3.0	3.0	5.3	2.3	2.3	0.8	0.8	0.8	0.8
	無回答	4	50.0	25.0	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
職業	自営業者	74	48.6	29.7	29.7	31.1	33.8	25.7	23.0	16.2	8.1	6.8	2.7	5.4	-	2.7	5.4	2.7	1.4	1.4	4.1	-	-
	農林漁業	27	48.1	29.6	29.6	25.9	40.7	37.0	37.0	11.1	3.7	3.7	3.7	11.1	-	7.4	-	-	-	-	-	-	-
	商工・建設・サービス業	28	50.0	35.7	28.6	35.7	25.0	17.9	17.9	21.4	7.1	3.6	-	3.6	-	7.1	-	3.6	-	7.1	-	-	-
	自由業	14	35.7	14.3	35.7	35.7	42.9	14.3	7.1	21.4	14.3	7.1	-	-	-	7.1	14.3	-	7.1	7.1	-	-	-
	業種無回答	5	80.0	40.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	-	20.0	-	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-
	家族従業者	23	52.2	34.8	34.8	30.4	21.7	13.0	21.7	17.4	8.7	4.3	4.3	-	-	-	-	-	-	-	8.7	-	-
	農林漁業	7	57.1	28.6	28.6	14.3	42.9	14.3	42.9	14.3	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14.3	-	-
	商工・建設・サービス業	9	44.4	44.4	33.3	22.2	11.1	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.1	-	-
	自由業	6	66.7	33.3	50.0	50.0	-	16.7	16.7	-	16.7	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	業種無回答	1	-	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	雇用者	242	40.5	38.8	43.8	29.8	17.8	19.8	17.8	16.9	9.1	5.0	5.4	2.9	5.8	4.1	3.7	2.9	2.1	-	2.1	1.2	-
	管理職	18	38.9	44.4	33.3	16.7	38.9	5.6	27.8	22.2	5.6	5.6	11.1	-	11.1	-	11.1	-	11.1	-	-	-	-
	専門技術職	73	46.6	38.4	41.1	35.6	15.1	21.9	16.4	15.1	6.8	2.7	5.5	4.1	5.5	9.6	5.5	1.4	1.4	-	-	1.4	-
	事務職	67	38.8	38.8	43.3	26.9	10.4	26.9	13.4	19.4	7.5	6.0	7.5	4.5	4.5	3.0	4.5	6.0	1.5	-	1.5	3.0	-
	労務職	79	36.7	39.2	49.4	30.4	19.0	16.5	20.3	13.9	13.9	6.3	2.5	1.3	6.3	1.3	-	2.5	1.3	-	3.8	-	-
	業種無回答	5	40.0	20.0	40.0	20.0	60.0	-	20.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-	-
	無職	231	45.9	32.9	27.7	35.5	27.7	28.6	16.9	19.5	4.3	6.1	4.3	5.6	3.5	3.9	1.7	2.6	2.6	0.4	1.3	1.3	1.3
	主婦・主夫	139	46.8	36.0	25.9	39.6	28.1	28.1	14.4	24.5	4.3	5.8	4.3	5.0	1.4	3.6	1.4	2.2	2.9	0.7	1.4	2.2	0.7
	学生	19	68.4	21.1	42.1	36.8	-	-	10.5	10.5	15.8	15.8	10.5	5.3	15.8	5.3	-	10.5	10.5	-	-	-	-
	その他の無職	57	40.4	29.8	28.1	29.8	36.8	31.6	24.6	15.8	1.8	3.5	3.5	7.0	3.5	5.3	3.5	1.8	-	-	-	-	3.5
	業種無回答	16	31.3	31.3	25.0	18.8	25.0	56.3	18.8	-	-	6.3	-	6.3	6.3	-	-	-	-	-	6.3	-	-
	無回答	16	50.0	31.3	6.3	43.8	31.3	25.0	6.3	12.5	12.5	12.5	-	6.3	6.3	-	6.3	-	-	-	6.3	6.3	-

女性の人権尊重

「そう思わない」が過半数の54.9%

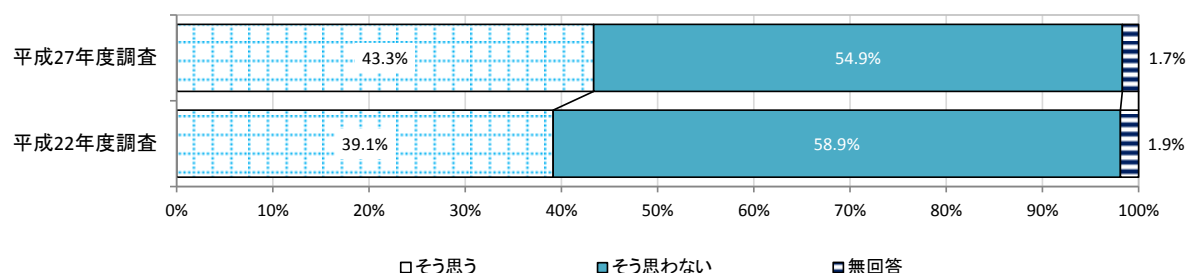
問3 あなたは、女性の人権が尊重されている社会だと思いますか。

女性の人権が尊重されている社会だと「そう思う」43.3%、「そう思わない」54.9%と否定が半数を超える。とりわけ男女による認識の差が大きい。

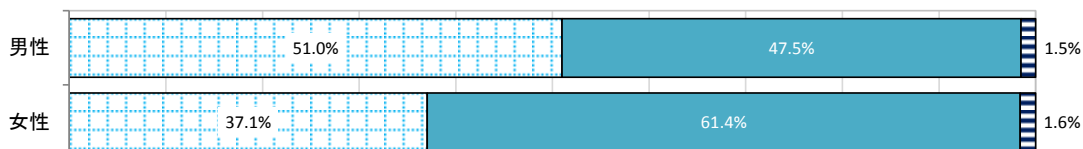
男性は「そう思う」51.0%と肯定が半数をやや上回るのに対し、女性は「そう思わない」が61.4%で「そう思う」の37.1%とは24ポイントも開きがある。

年代による差も目立つが、これは18歳～20歳代から60歳代までの回答者は女性が男性より多く、女性の意見が反映されていると思われる。

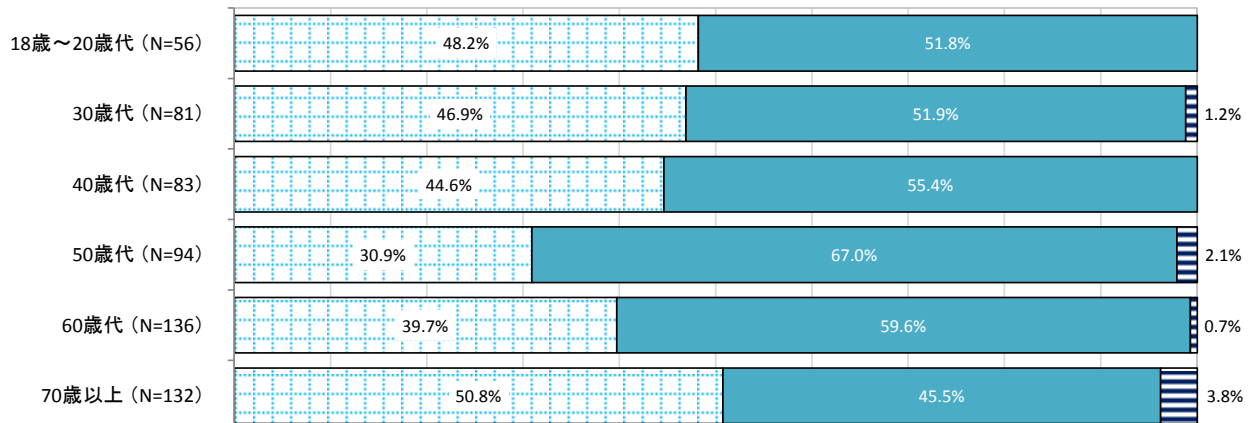
前回調査と比べると「そう思う」が4ポイント増え、やや改善したように見える。



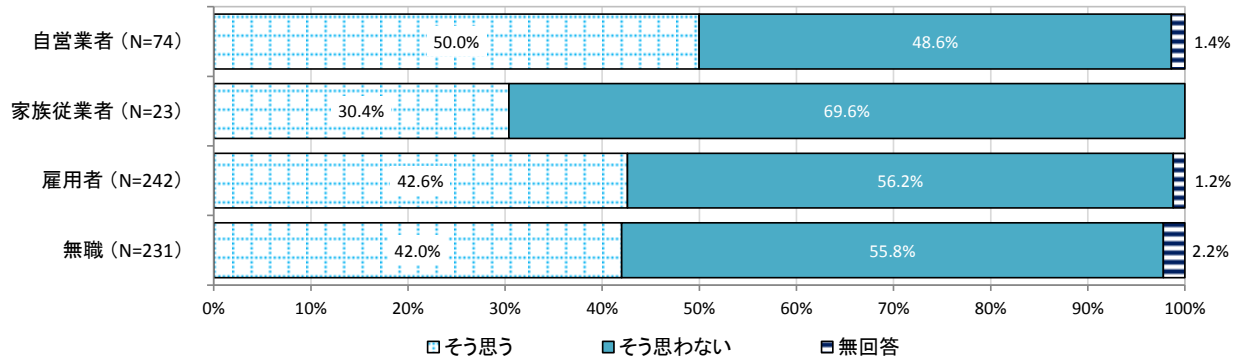
◆性別では



◆年代別では



◆職業別では



問3 あなたは、女性の人権が尊重されている社会だと思いますか

(%)

		標本数 (人)	そう 思う	そう 思わない	無 回 答
全体		586	254	322	10
		100.0	43.3	54.9	1.7
性別	男性	261	51.0	47.5	1.5
	女性	321	37.1	61.4	1.6
	無回答	4	50.0	25.0	25.0
年代	18歳～20歳代	56	48.2	51.8	-
	30歳代	81	46.9	51.9	1.2
	40歳代	83	44.6	55.4	-
	50歳代	94	30.9	67.0	2.1
	60歳代	136	39.7	59.6	0.7
	70歳以上	132	50.8	45.5	3.8
	無回答	4	50.0	25.0	25.0
職業	自営業者	74	50.0	48.6	1.4
	農林漁業	27	48.1	48.1	3.7
	商工・建設・サービス業	28	53.6	46.4	-
	自由業	14	50.0	50.0	-
	業種無回答	5	40.0	60.0	-
	家族従業者	23	30.4	69.6	-
	農林漁業	7	28.6	71.4	-
	商工・建設・サービス業	9	33.3	66.7	-
	自由業	6	33.3	66.7	-
	業種無回答	1	-	100.0	-
	雇用者	242	42.6	56.2	1.2
	管理職	18	50.0	50.0	-
	専門技術職	73	45.2	54.8	-
	事務職	67	44.8	55.2	-
	労務職	79	39.2	57.0	3.8
	業種無回答	5	-	100.0	-
	無職	231	42.0	55.8	2.2
	主婦・主夫	139	36.7	62.6	0.7
	学生	19	57.9	42.1	-
	その他の無職	57	45.6	49.1	5.3
	業種無回答	16	56.3	37.5	6.3
	無回答	16	62.5	31.3	6.3

尊重されていないこと

「仕事を続けにくい社会環境」7割超

問4（問3で「② そう思わない」とお答えの方にお尋ねします）女性の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

「そう思わない」と答えた人（322人）に聞いた、特に女性の人権が尊重されていないと思うこと（3つ以内）は「結婚・出産などにより女性が仕事を続けにくい社会環境」73.6%、「職場における差別待遇（採用、昇格、賃金など）」57.1%、「固定的な役割分担意識（男は仕事、女は家庭など）」40.4%が上位3項目で、他とは差が開いている。

この上位3項目は性別、年代、職業を通してほぼ共通だ。「仕事を続けにくい社会環境」は30歳代、70歳以上、職業では労務職で8割を超える。

「職場における差別待遇」も労務職は73.3%と高い。

女性は「性犯罪や売春」「家庭や職場、地域などで女性の意見が尊重されないこと」も4人に1人が挙げている。

前回と比べ上位項目は同じで、数ポイント伸びている。

【前回調査との比較】

結婚・出産などにより女性が仕事を続けにくい社会環境

職場における差別待遇（採用、昇格、賃金など）

固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）

性犯罪や売春・買春

家庭や職場、地域などで女性の意見が尊重されないこと

セクシュアル・ハラスメント

アダルトビデオやポルノ雑誌など、女性を性的対象物にとらえる社会風潮

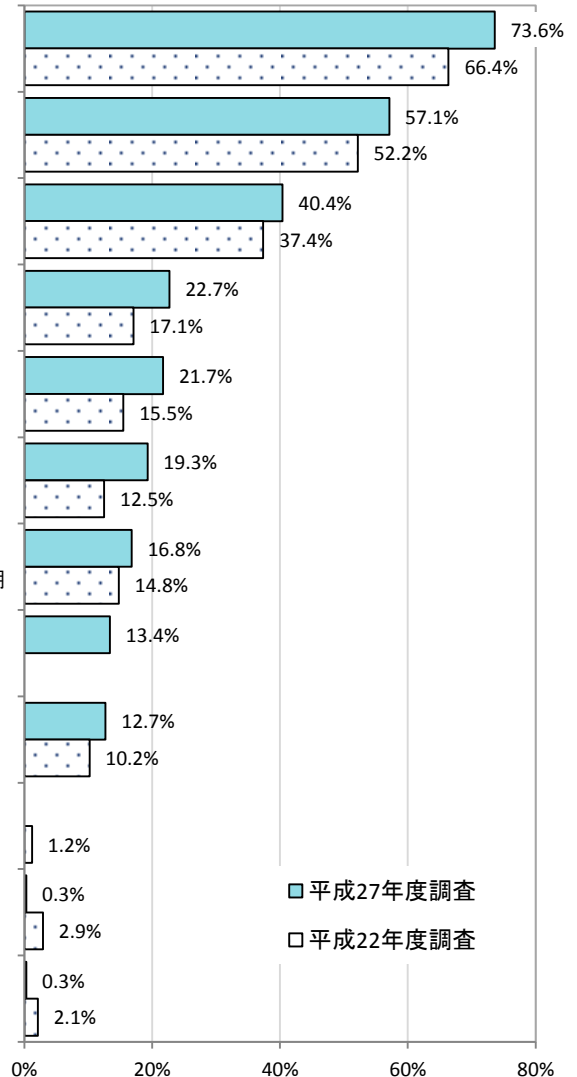
マタニティ・ハラスメント

DV（ドメスティック・バイオレンス）

その他

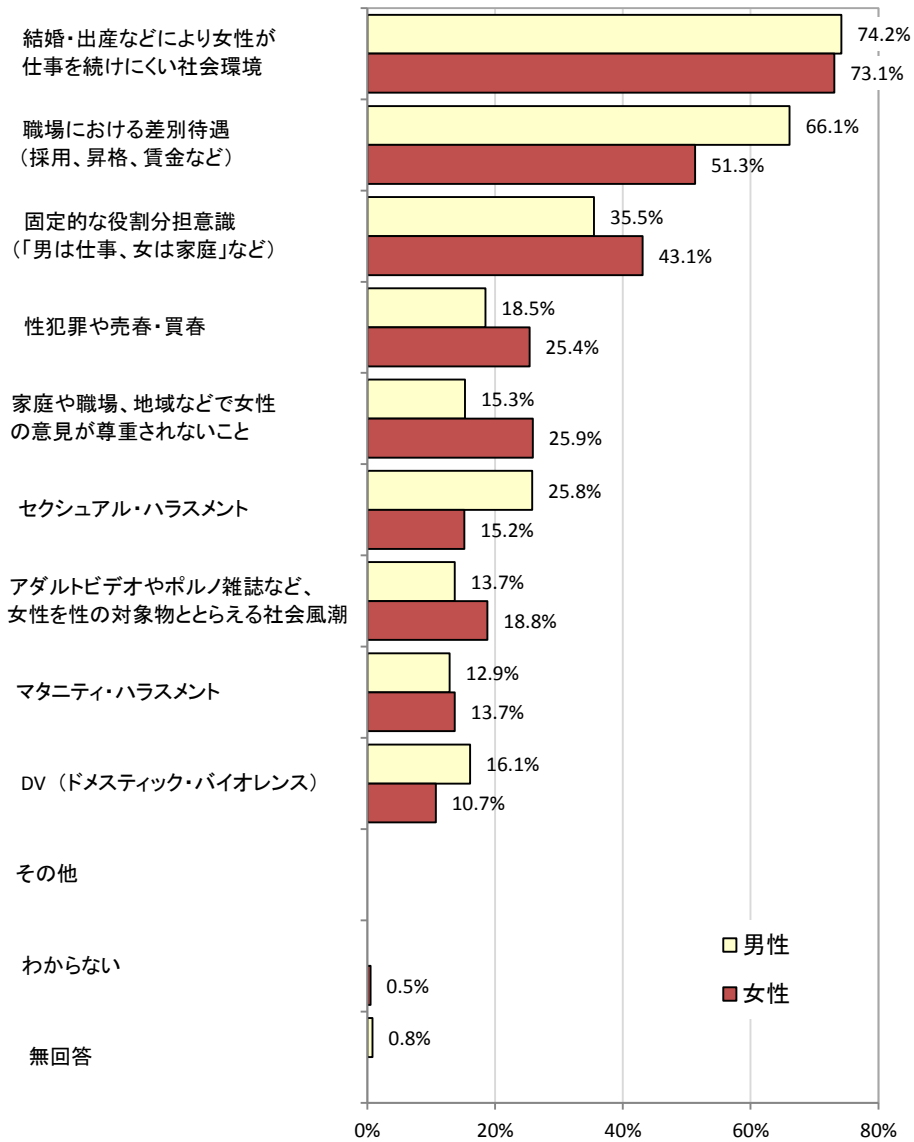
わからない

無回答



（注）内閣府や県の調査は女性に関し人権上問題があると思われることを尋ねている。内閣府は「セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）」42.7%、県は「男女の固定的な役割分担意識（男は仕事、女は家庭など）を他の人に押し付けること」46.5%が最も多い。

◆性別では



問4（問3で「そう思わない」とお答えの方にお尋ねします）女性の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください

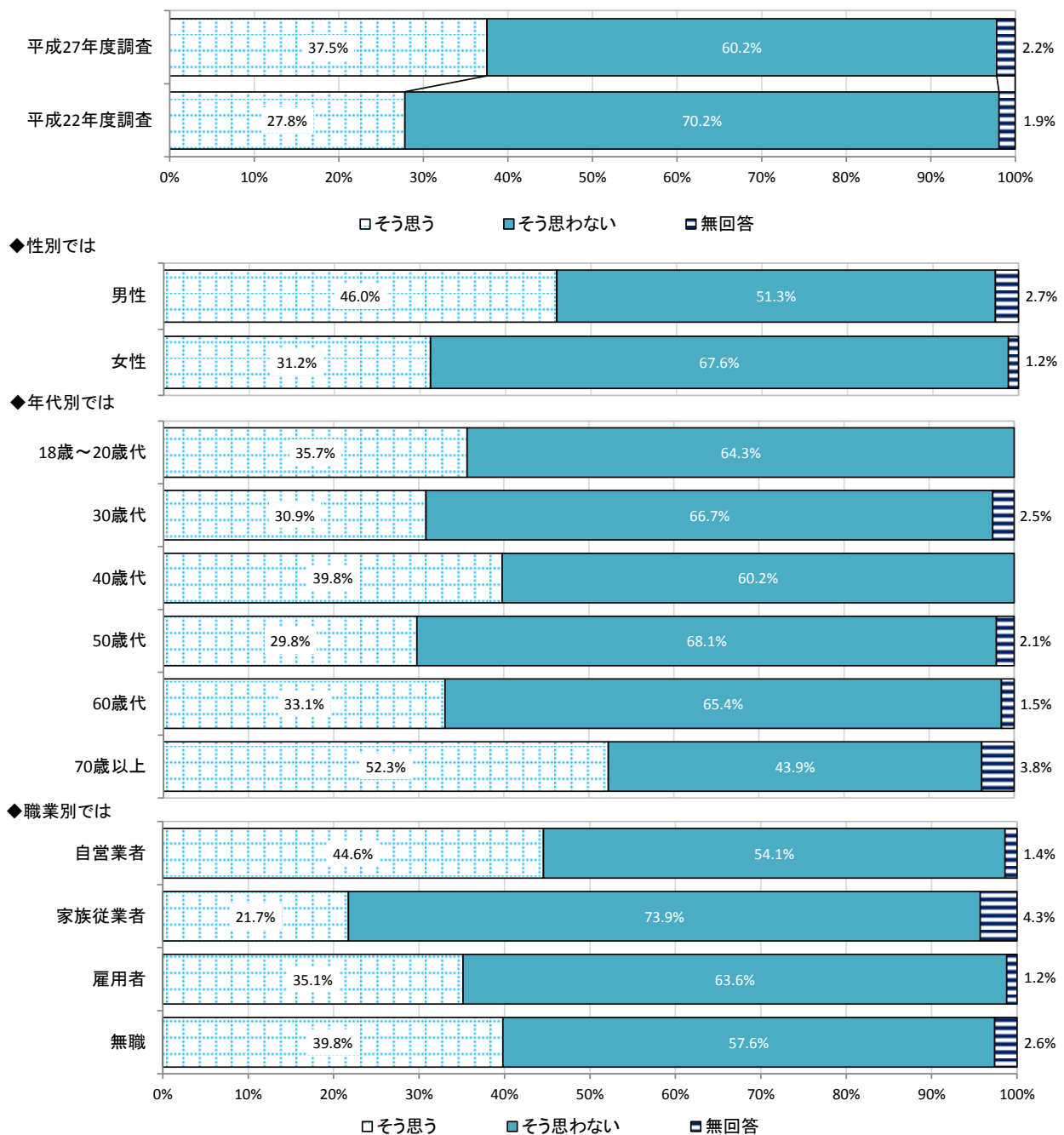
		標本数（人）	結婚・出産などにより女性が仕事を続けにくい社会環境	職場における差別待遇（採用、昇格、賃金など）	固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）	性犯罪や売春・買春	家庭や職場、地域などで女性の意見が尊重されないこと	セクシュアル・ハラスメント	アダルトビデオやポルノ雑誌など、女性を性の対象物ととらえる社会風潮	マタニティ・ハラスメント	DV（ドメスティック・バイオレンス）	その他	わからない	無回答
			（%）											
全体		322	237	184	130	73	70	62	54	43	41	-	1	1
			73.6	57.1	40.4	22.7	21.7	19.3	16.8	13.4	12.7	-	0.3	0.3
性別	男性	124	74.2	66.1	35.5	18.5	15.3	25.8	13.7	12.9	16.1	-	-	0.8
	女性	197	73.1	51.3	43.1	25.4	25.9	15.2	18.8	13.7	10.7	-	0.5	-
	無回答	1	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代	18歳～20歳代	29	58.6	41.4	44.8	27.6	20.7	20.7	20.7	17.2	27.6	-	-	-
	30歳代	42	81.0	50.0	50.0	9.5	16.7	16.7	11.9	9.5	14.3	-	2.4	-
	40歳代	46	67.4	58.7	37.0	21.7	23.9	13.0	13.0	21.7	13.0	-	-	-
	50歳代	63	77.8	49.2	38.1	25.4	19.0	23.8	23.8	11.1	11.1	-	-	-
	60歳代	81	70.4	69.1	38.3	17.3	25.9	19.8	11.1	17.3	13.6	-	-	-
	70歳以上	60	80.0	60.0	38.3	35.0	21.7	20.0	21.7	5.0	5.0	-	-	1.7
	無回答	1	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
職業	自営業者	36	69.4	61.1	27.8	25.0	16.7	27.8	22.2	13.9	19.4	-	-	-
	農林漁業	13	84.6	76.9	38.5	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	7.7	-	-	-
	商工・建設・サービス業	13	61.5	46.2	30.8	15.4	23.1	38.5	30.8	23.1	7.7	-	-	-
	自由業	7	57.1	71.4	14.3	42.9	-	28.6	28.6	-	42.9	-	-	-
	業種無回答	3	66.7	33.3	-	66.7	33.3	33.3	-	-	66.7	-	-	-
	家族従業者	16	62.5	43.8	18.8	25.0	50.0	18.8	31.3	-	18.8	-	-	-
	農林漁業	5	80.0	20.0	-	60.0	40.0	-	60.0	-	20.0	-	-	-
	商工・建設・サービス業	6	50.0	66.7	33.3	-	66.7	16.7	16.7	-	-	-	-	-
	自由業	4	75.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	50.0	-	-	-
	業種無回答	1	-	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-
	雇用者	136	77.9	58.8	41.2	19.1	18.4	19.1	11.8	14.7	13.2	-	0.7	-
	管理職	9	100.0	55.6	33.3	11.1	11.1	11.1	11.1	22.2	-	-	-	-
	専門技術職	40	75.0	55.0	52.5	22.5	17.5	20.0	7.5	17.5	12.5	-	-	-
	事務職	37	64.9	40.5	29.7	18.9	18.9	27.0	21.6	24.3	21.6	-	2.7	-
	労務職	45	84.4	73.3	44.4	20.0	22.2	15.6	8.9	2.2	6.7	-	-	-
	業種無回答	5	100.0	100.0	20.0	-	-	-	-	20.0	40.0	-	-	-
	無職	129	71.3	56.6	45.0	24.8	24.0	17.8	19.4	14.0	10.1	-	-	0.8
	主婦・主夫	87	77.0	57.5	46.0	28.7	26.4	13.8	20.7	12.6	5.7	-	-	-
	学生	8	50.0	25.0	37.5	12.5	25.0	37.5	12.5	37.5	25.0	-	-	-
	その他の無職	28	60.7	60.7	35.7	17.9	10.7	28.6	17.9	14.3	21.4	-	-	3.6
	業種無回答	6	66.7	66.7	83.3	16.7	50.0	-	16.7	-	-	-	-	-
	無回答	5	80.0	40.0	60.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-

子どもの人権尊重 「そう思わない」 60.2%

問5 あなたは、子どもの人権が尊重されている社会だと思いますか。

子どもの人権が尊重されている社会だと「そう思う」37.5%、「そう思わない」60.2%と否定が6割を超える。「そう思わない」は女性67.6%に対し男性51.3%と16ポイントの差がある。18歳～20歳代から60歳代までは否定が6割を超えるが、これも女性が多い回答者を反映している。

ただ前回より「そう思う」が10ポイント増、「そう思わない」は10ポイント減なので、この5年間で社会は子どもの人権尊重へ動いたように思われる。



問5 あなたは、子どもの人権が尊重されている社会だと思いますか

(%)

		標本数 (人)	そう 思う	そう 思わない	無 回 答
全体		586	220	353	13
		100.0	37.5	60.2	2.2
性別	男性	261	46.0	51.3	2.7
	女性	321	31.2	67.6	1.2
	無回答	4	-	50.0	50.0
年代	18歳～20歳代	56	35.7	64.3	-
	30歳代	81	30.9	66.7	2.5
	40歳代	83	39.8	60.2	-
	50歳代	94	29.8	68.1	2.1
	60歳代	136	33.1	65.4	1.5
	70歳以上	132	52.3	43.9	3.8
	無回答	4	-	50.0	50.0
職業	自営業者	74	44.6	54.1	1.4
	農林漁業	27	44.4	51.9	3.7
	商工・建設・サービス業	28	42.9	57.1	-
	自由業	14	42.9	57.1	-
	業種無回答	5	60.0	40.0	-
	家族従業者	23	21.7	73.9	4.3
	農林漁業	7	28.6	71.4	-
	商工・建設・サービス業	9	11.1	88.9	-
	自由業	6	16.7	66.7	16.7
	業種無回答	1	100.0	-	-
	雇用者	242	35.1	63.6	1.2
	管理職	18	55.6	44.4	-
	専門技術職	73	39.7	60.3	-
	事務職	67	32.8	67.2	-
	労務職	79	27.8	68.4	3.8
	業種無回答	5	40.0	60.0	-
	無職	231	39.8	57.6	2.6
	主婦・主夫	139	34.5	64.0	1.4
	学生	19	36.8	63.2	-
	その他の無職	57	42.1	50.9	7.0
	業種無回答	16	81.3	18.8	-
	無回答	16	31.3	56.3	12.5

尊重されていないこと

「ネットを使ってのいじめ」が急増

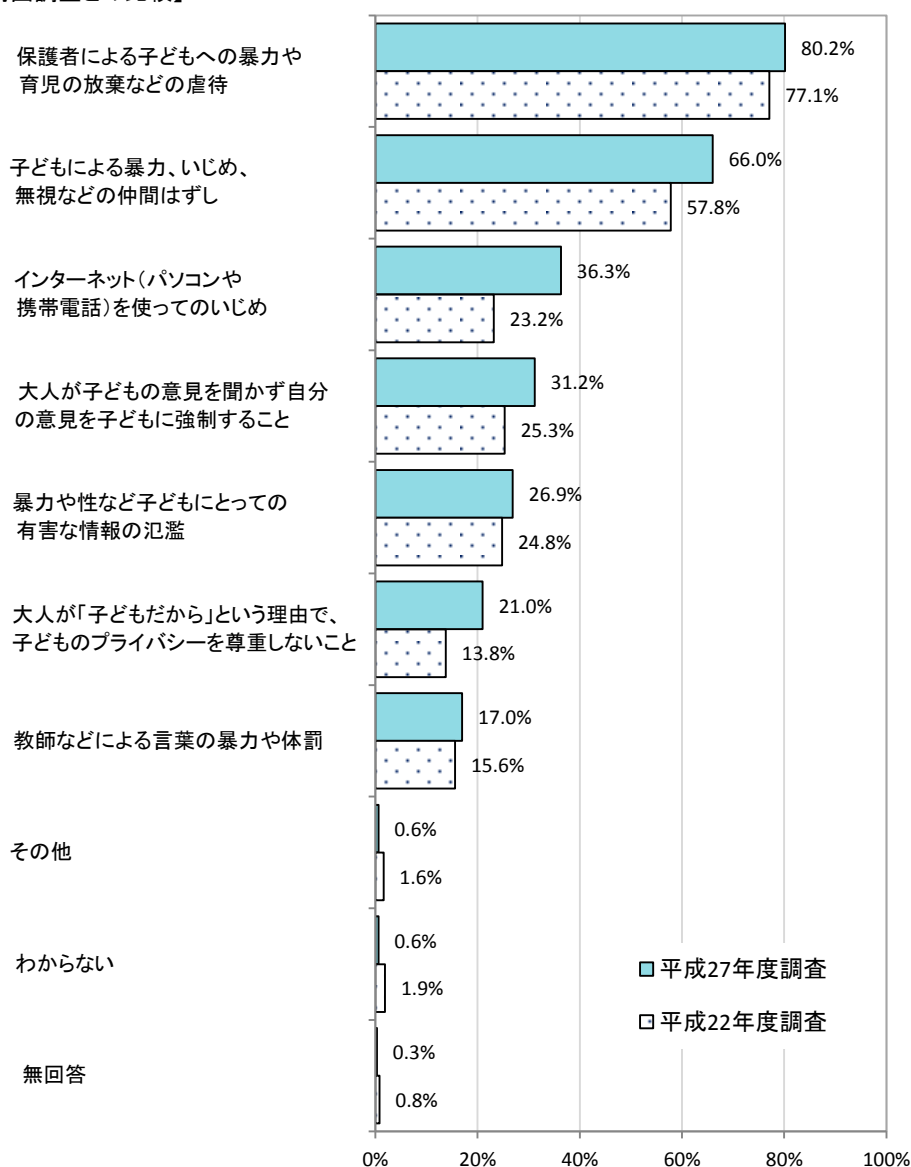
問6（問5で「② そう思わない」とお答えの方にお尋ねします）子どもの人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

「そう思わない」と答えた人（353人）に聞いた、特に子どもの人権が尊重されていないと思うこと（3つ以内）は「保護者による子どもへの暴力や育児の放棄などの虐待」が80.2%、「子どもによる暴力、いじめ、無視などの仲間はずし」66.0%の2項目に集中している。この2項目集中は前回調査と同じだ。

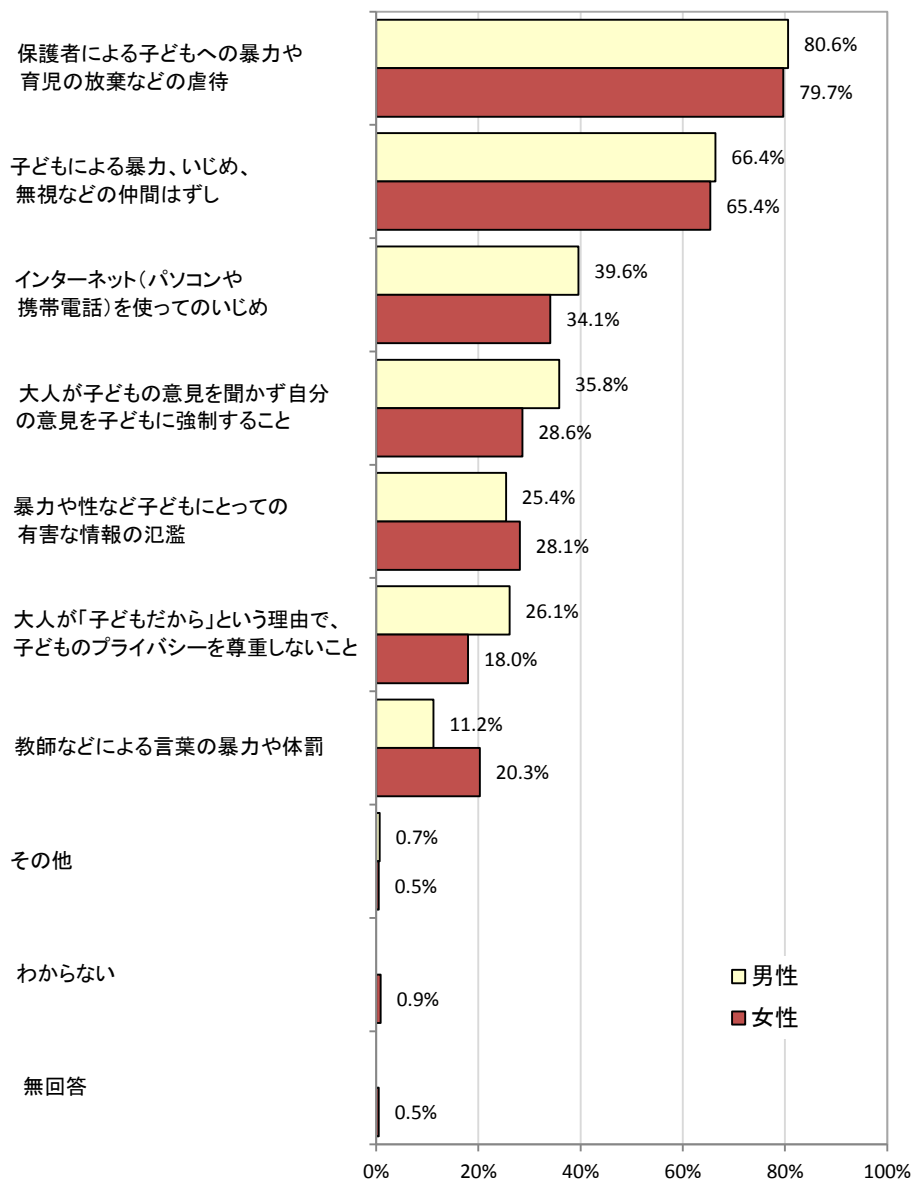
今回「インターネット（パソコンや携帯電話）を使ってのいじめ」が13ポイント増の36.3%で3番目に挙げられた。特に子育て世代の40歳代（54.0%）、30歳代（44.4%）は他の年代より高い。

（注）内閣府の調査は「いじめを受けること」76.2%、「虐待を受けること」61.0%となっている。

【前回調査との比較】



◆性別では



問6（問5で「そう思わない」とお答えの方にお尋ねします）子どもの人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。
次の中から、3つ以内に絞ってお答えください

		標本数（人）	育児の放棄などの虐待	保護者による子どもへの暴力や	子どもによる暴力、いじめ、無視などの仲間はずし	インターネット（パソコンや携帯電話）を使つてのいじめ	大人が子どもの意見を聞かずに強制的にすること	暴力や性など子どもにとっての有害な情報の氾濫	大人が「子どもだから」という理由で、子どものプライバシーを尊重しないこと	教師などによる言葉の暴力や体罰	その他	わからない	無回答	(%)
全体		353	283	233	128	110	95	74	60	2	2	1		
			80.2	66.0	36.3	31.2	26.9	21.0	17.0	0.6	0.6	0.3		
性別	男性	134	80.6	66.4	39.6	35.8	25.4	26.1	11.2	0.7	-	-		
	女性	217	79.7	65.4	34.1	28.6	28.1	18.0	20.3	0.5	0.9	0.5		
	無回答	2	100.0	100.0	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-		
年代	18歳～20歳代	36	72.2	63.9	38.9	44.4	8.3	33.3	16.7	-	-	-		
	30歳代	54	72.2	44.4	44.4	29.6	16.7	25.9	14.8	-	3.7	1.9		
	40歳代	50	70.0	66.0	54.0	40.0	28.0	6.0	12.0	2.0	-	-		
	50歳代	64	92.2	70.3	39.1	31.3	25.0	20.3	10.9	-	-	-		
	60歳代	89	86.5	71.9	31.5	22.5	34.8	22.5	19.1	-	-	-		
	70歳以上	58	77.6	72.4	15.5	31.0	37.9	20.7	25.9	1.7	-	-		
	無回答	2	100.0	100.0	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-		
職業	自営業者	40	80.0	72.5	32.5	40.0	17.5	25.0	20.0	-	-	-		
	農林漁業	14	92.9	57.1	7.1	42.9	21.4	35.7	21.4	-	-	-		
	商工・建設・サービス業	16	62.5	81.3	56.3	37.5	12.5	18.8	25.0	-	-	-		
	自由業	8	87.5	87.5	37.5	37.5	12.5	25.0	-	-	-	-		
	業種無回答	2	100.0	50.0	-	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-		
	家族従業者	17	88.2	64.7	41.2	29.4	29.4	11.8	11.8	5.9	-	-		
	農林漁業	5	100.0	100.0	20.0	-	60.0	20.0	-	-	-	-		
	商工・建設・サービス業	8	75.0	50.0	62.5	37.5	25.0	-	25.0	-	-	-		
	自由業	4	100.0	50.0	25.0	50.0	-	25.0	-	25.0	-	-		
	業種無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	雇用者	154	77.9	63.6	44.2	31.2	22.7	23.4	10.4	-	1.3	0.6		
	管理職	8	100.0	62.5	50.0	12.5	12.5	12.5	12.5	-	-	-		
	専門技術職	44	72.7	65.9	47.7	34.1	25.0	22.7	13.6	-	2.3	-		
	事務職	45	80.0	64.4	42.2	20.0	26.7	22.2	6.7	-	2.2	2.2		
	労務職	54	75.9	61.1	38.9	42.6	20.4	25.9	11.1	-	-	-		
	業種無回答	3	100.0	66.7	100.0	-	-	33.3	-	-	-	-		
	無職	133	81.2	66.9	27.1	28.6	33.8	19.5	24.1	0.8	-	-		
	主婦・主夫	89	79.8	67.4	27.0	25.8	37.1	18.0	28.1	1.1	-	-		
	学生	12	75.0	50.0	25.0	41.7	8.3	33.3	25.0	-	-	-		
	その他の無職	29	86.2	72.4	31.0	34.5	31.0	17.2	10.3	-	-	-		
業種無回答	3	100.0	66.7	-	-	66.7	33.3	33.3	-	-	-			
無回答	9	88.9	66.7	44.4	33.3	33.3	-	22.2	-	-	-			

高齢者の人権尊重

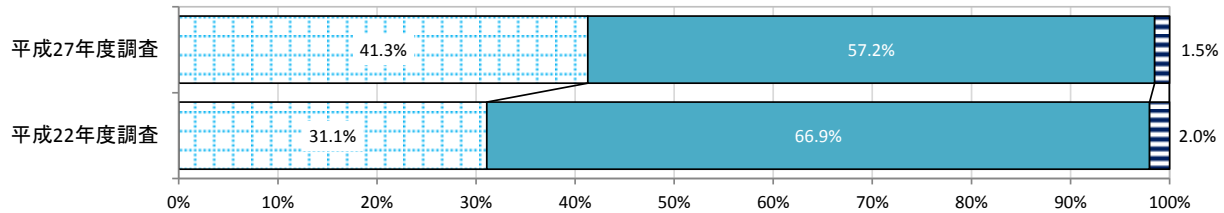
「そう思う」4割超

問7 あなたは、高齢者の人権が尊重されている社会だと思いますか。

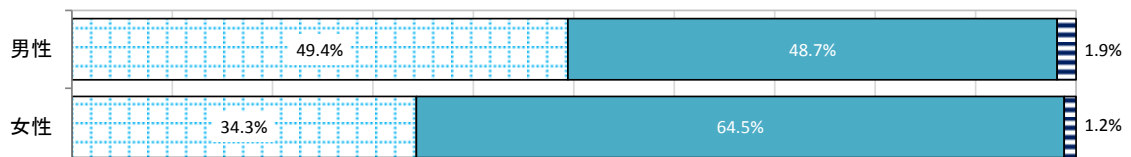
高齢者の人権が尊重されている社会だと「そう思う」41.3%、「そう思わない」57.2%で、前回よりほぼ10ポイント向上している。特に男性は「そう思う」49.4%、「そう思わない」48.7%で、わずかながら肯定が上回り前回の結果を逆転した。女性はいぜん否定が多いものの、「そう思う」が34.3%と（前回26.6%）8ポイント近く伸びた。

ただ年代別では肯定が40歳代以下で高め、50歳代と60歳代は否定が6割超と世代間で認識のギャップがある。

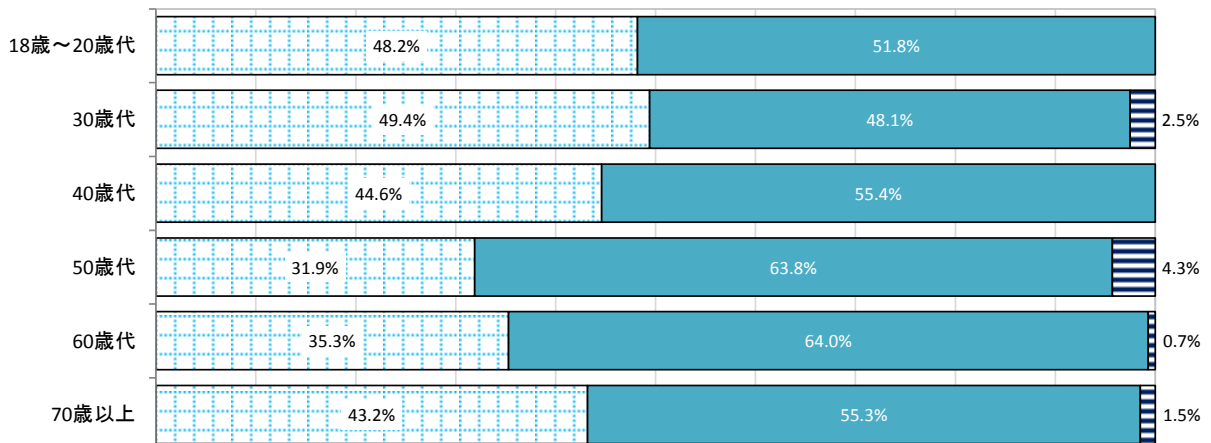
◆前回調査との比較



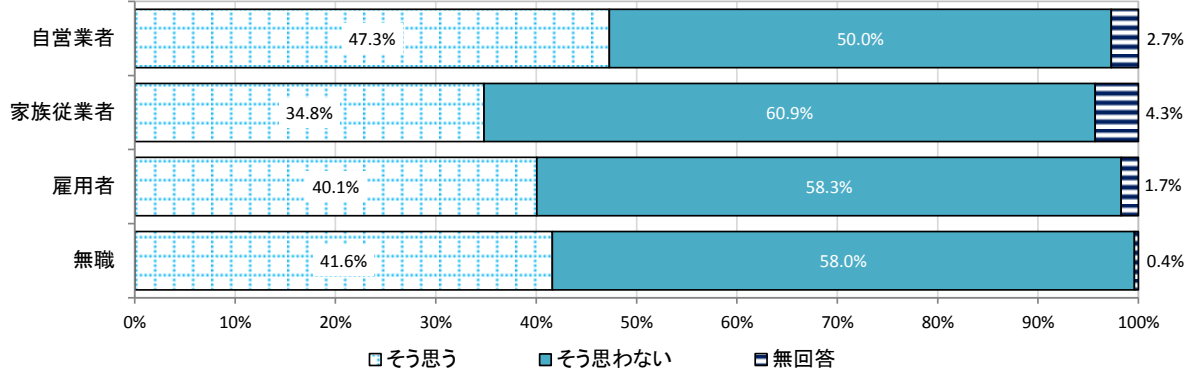
◆性別では



◆年代別では



◆職業別では



問7 あなたは、高齢者の人権が尊重されている社会だと思いますか

(%)

		標本数 (人)	そう 思う	そう 思わない	無 回 答
全体		586	242	335	9
		100.0	41.3	57.2	1.5
性別	男性	261	49.4	48.7	1.9
	女性	321	34.3	64.5	1.2
	無回答	4	75.0	25.0	-
年代	18歳～20歳代	56	48.2	51.8	-
	30歳代	81	49.4	48.1	2.5
	40歳代	83	44.6	55.4	-
	50歳代	94	31.9	63.8	4.3
	60歳代	136	35.3	64.0	0.7
	70歳以上	132	43.2	55.3	1.5
	無回答	4	75.0	25.0	-
職業	自営業者	74	47.3	50.0	2.7
	農林漁業	27	44.4	48.1	7.4
	商工・建設・サービス業	28	46.4	53.6	-
	自由業	14	50.0	50.0	-
	業種無回答	5	60.0	40.0	-
	家族従業者	23	34.8	60.9	4.3
	農林漁業	7	28.6	71.4	-
	商工・建設・サービス業	9	22.2	77.8	-
	自由業	6	50.0	33.3	16.7
	業種無回答	1	100.0	-	-
	雇用者	242	40.1	58.3	1.7
	管理職	18	55.6	44.4	-
	専門技術職	73	41.1	58.9	-
	事務職	67	38.8	61.2	-
	労務職	79	38.0	57.0	5.1
	業種無回答	5	20.0	80.0	-
	無職	231	41.6	58.0	0.4
	主婦・主夫	139	39.6	59.7	0.7
	学生	19	52.6	47.4	-
	その他の無職	57	40.4	59.6	-
	業種無回答	16	50.0	50.0	-
	無回答	16	37.5	56.3	6.3

尊重されていないこと

「経済的に自立できない」「詐欺被害が多い」

問8（問7で「② そう思わない」とお答えの方にお尋ねします）高齢者の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

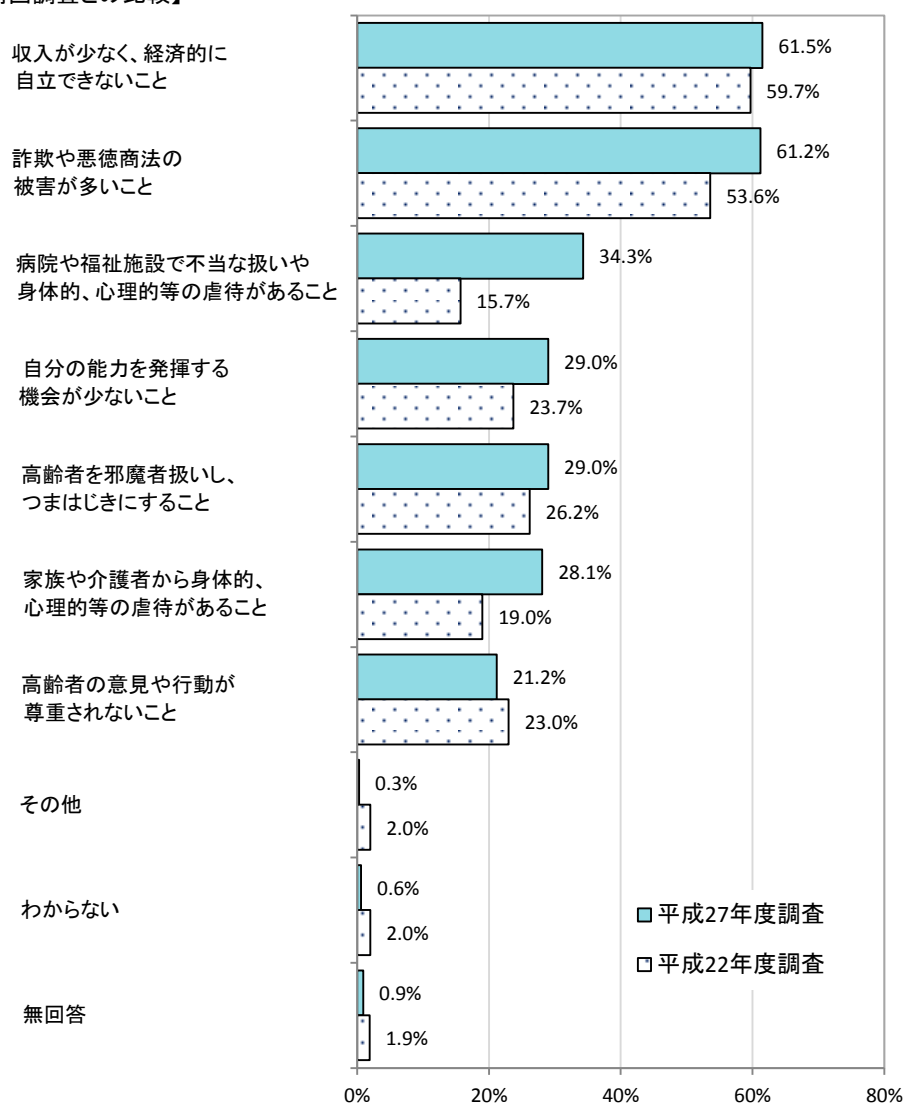
「そう思わない」と答えた人（335人）に聞いた、特に高齢者の人権が尊重されていないと思うこと（3つ以内）は「収入が少なく、経済的に自立できないこと」61.5%、「詐欺や悪徳商法の被害が多いこと」61.2%が並び、「病院や福祉施設で不当な扱いや身体的、心理的等の虐待があること」34.3%が続く。

とりわけ「収入が少なく、経済的に自立できないこと」は60歳代（73.6%）、主婦・主夫（69.9%）、「詐欺や悪徳商法の被害が多いこと」は70歳以上（71.2%）で高い。

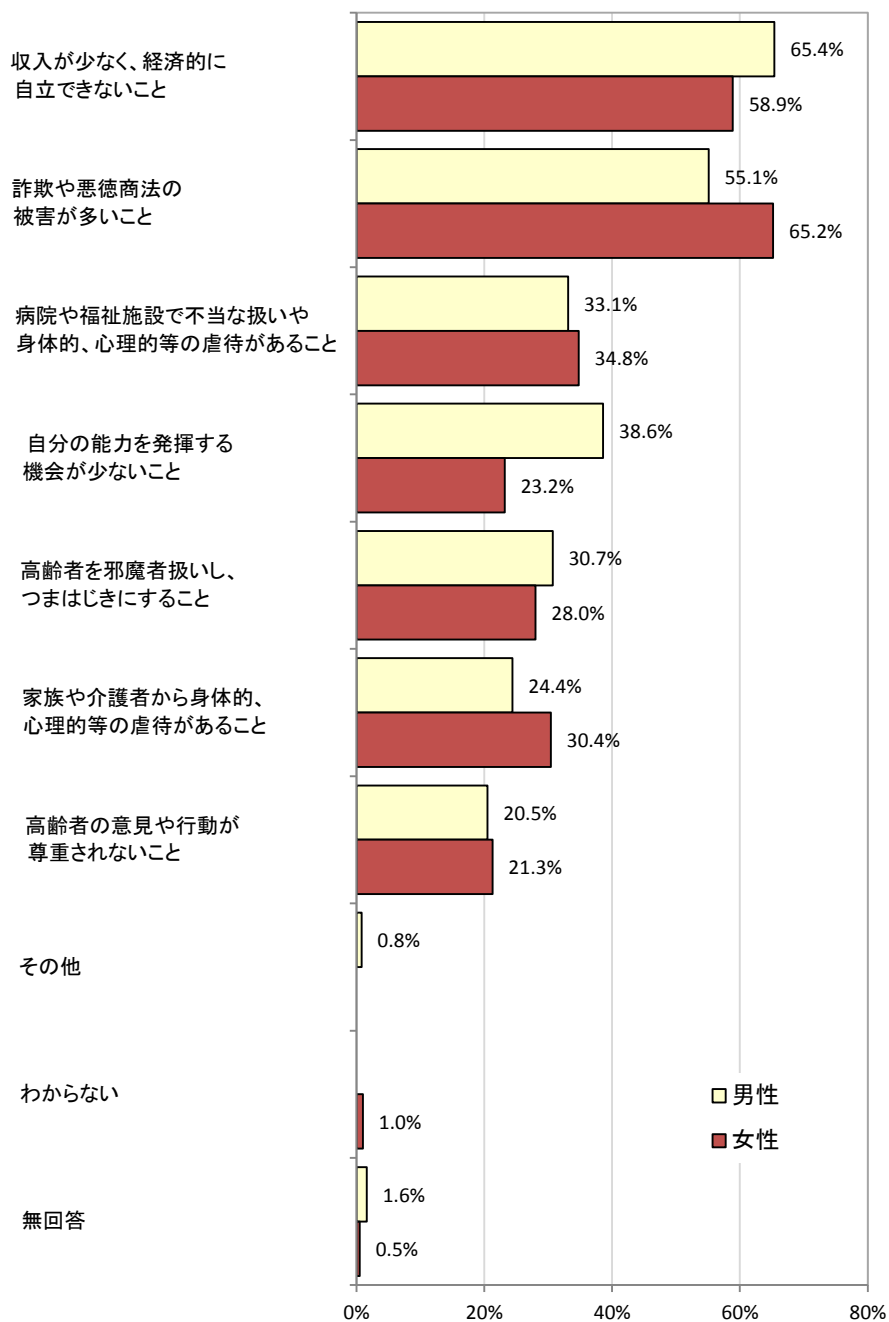
また雇用者の事務職は「高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにする」を53.7%で1番目に挙げている。

（注）内閣府や県の調査でも「悪徳商法の被害が多いこと」と「経済的に自立が困難なこと」が上位2項目となっている。

【前回調査との比較】



◆性別では



問8（問7で「そう思わない」とお答えの方にお尋ねします）高齢者の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください

		標本数（人）	収入が少なく、経済的に自立できないこと	詐欺や悪徳商法の被害が多いこと	身体的、心理的等の虐待があること	病院や福祉施設で不当な扱いや身体的、心理的等の虐待があること	自分の能力を発揮する機会が少ないこと	高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにする	家族や介護者から身体的、心理的等の虐待があること	高齢者の意見や行動が尊重されないこと	その他	わからない	無回答
													(%)
全体		335	206	205	115	97	97	94	71	1	2	3	
			61.5	61.2	34.3	29.0	29.0	28.1	21.2	0.3	0.6	0.9	
性別	男性	127	65.4	55.1	33.1	38.6	30.7	24.4	20.5	0.8	-	1.6	
	女性	207	58.9	65.2	34.8	23.2	28.0	30.4	21.3	-	1.0	0.5	
	無回答	1	100.0	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	
年代	18歳～20歳代	29	34.5	55.2	34.5	27.6	48.3	27.6	20.7	-	-	-	
	30歳代	39	59.0	53.8	43.6	28.2	20.5	30.8	15.4	-	5.1	-	
	40歳代	46	45.7	60.9	39.1	17.4	34.8	28.3	6.5	-	-	2.2	
	50歳代	60	63.3	61.7	33.3	36.7	36.7	38.3	20.0	-	-	-	
	60歳代	87	73.6	58.6	37.9	32.2	21.8	26.4	20.7	-	-	1.1	
	70歳以上	73	67.1	71.2	21.9	27.4	24.7	20.5	34.2	1.4	-	1.4	
	無回答	1	100.0	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	
職業	自営業者	37	75.7	59.5	18.9	45.9	32.4	24.3	27.0	-	-	-	
	農林漁業	13	84.6	53.8	23.1	38.5	38.5	23.1	30.8	-	-	-	
	商工・建設・サービス業	15	86.7	66.7	13.3	53.3	20.0	20.0	20.0	-	-	-	
	自由業	7	42.9	42.9	14.3	42.9	42.9	42.9	42.9	-	-	-	
	業種無回答	2	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	
	家族従業者	14	50.0	64.3	71.4	7.1	42.9	35.7	7.1	-	-	-	
	農林漁業	5	80.0	60.0	100.0	-	20.0	40.0	-	-	-	-	
	商工・建設・サービス業	7	28.6	71.4	57.1	14.3	42.9	28.6	14.3	-	-	-	
	自由業	2	50.0	50.0	50.0	-	100.0	50.0	-	-	-	-	
	業種無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	雇用者	141	58.9	56.7	37.6	28.4	34.0	30.5	14.2	-	1.4	0.7	
	管理職	8	75.0	50.0	62.5	-	37.5	37.5	25.0	-	-	-	
	専門技術職	43	65.1	65.1	39.5	34.9	18.6	32.6	14.0	-	-	-	
	事務職	41	41.5	46.3	48.8	31.7	53.7	26.8	4.9	-	2.4	-	
	労務職	45	64.4	60.0	22.2	26.7	33.3	28.9	22.2	-	2.2	-	
	業種無回答	4	75.0	50.0	25.0	-	-	50.0	-	-	-	25.0	
	無職	134	61.9	67.2	31.3	26.9	21.6	26.1	26.9	0.7	-	1.5	
	主婦・主夫	83	69.9	67.5	28.9	22.9	22.9	30.1	25.3	-	-	1.2	
	学生	9	-	55.6	55.6	44.4	33.3	33.3	22.2	-	-	-	
	その他の無職	34	55.9	67.6	38.2	32.4	17.6	14.7	26.5	2.9	-	2.9	
業種無回答	8	75.0	75.0	-	25.0	12.5	25.0	50.0	-	-	-		
無回答	9	55.6	44.4	33.3	33.3	22.2	22.2	44.4	-	-	-		

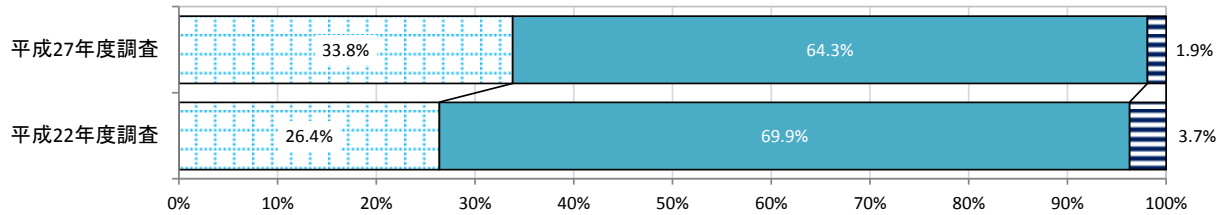
障がいのある人の人権尊重

「そう思わない」 64.3%

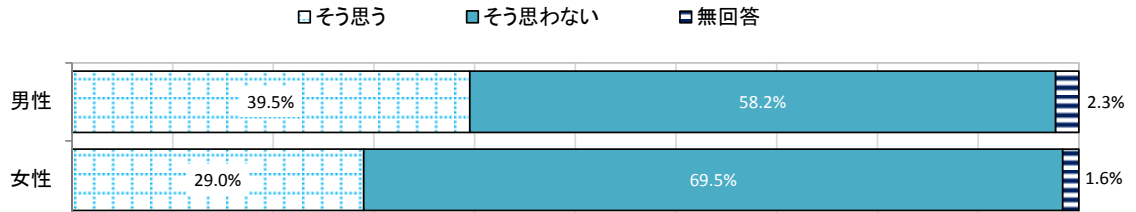
問9 あなたは、障がいのある人の人権が尊重されている社会だと思いますか。

障がいのある人の人権が尊重されている社会だと「そう思う」33.8%、「そう思わない」64.3%で、否定的な人がほぼ倍となっている。「そう思わない」は女性（69.5%）、18歳～20歳代（83.9%）と50歳代（70.2%）、職業では雇用者の管理職（72.2%）と事務職（71.6%）が高い。70歳以上は両者が拮抗している。

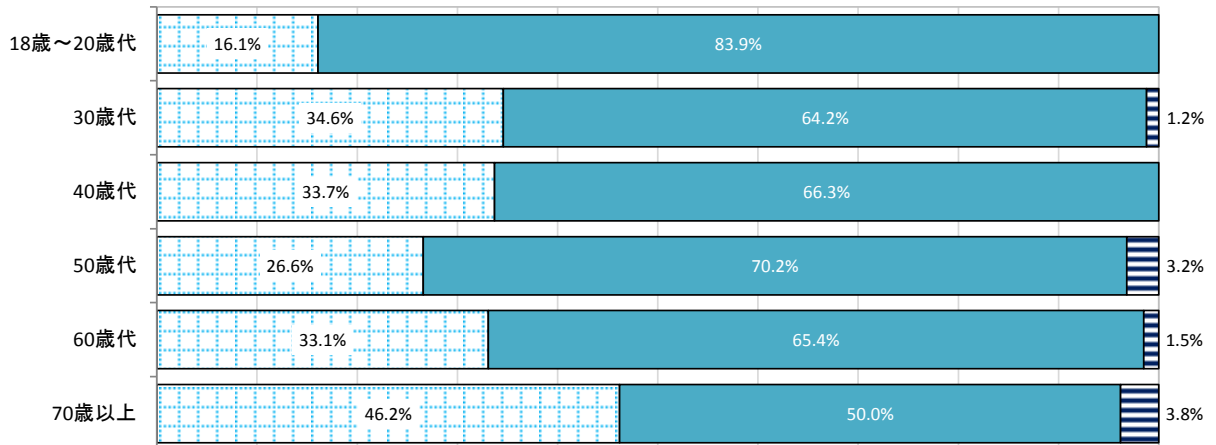
◆前回調査との比較



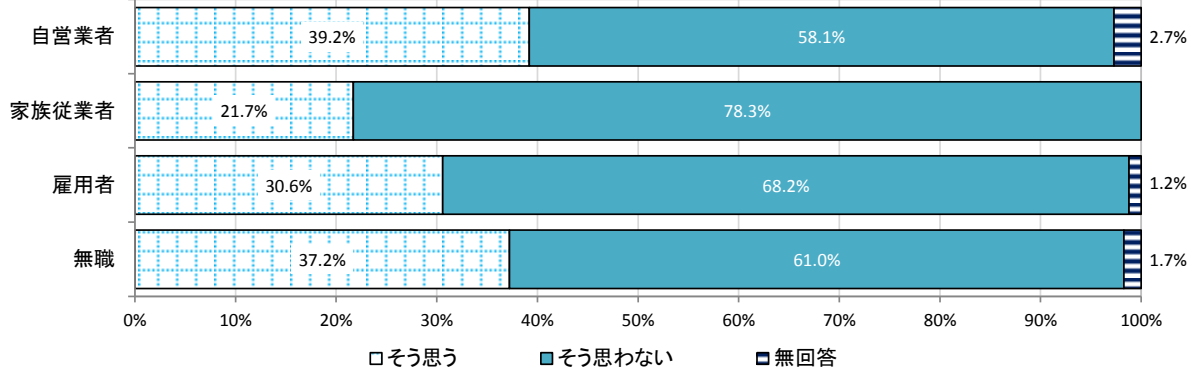
◆性別では



◆年代別では



◆職業別では



問9 あなたは、障がいのある人の人権が尊重されている社会だと思いますか

(%)

		標本数 (人)	そう 思う	そう 思わない	無 回 答
全体		586	198	377	11
		100.0	33.8	64.3	1.9
性別	男性	261	39.5	58.2	2.3
	女性	321	29.0	69.5	1.6
	無回答	4	50.0	50.0	-
年代	18歳～20歳代	56	16.1	83.9	-
	30歳代	81	34.6	64.2	1.2
	40歳代	83	33.7	66.3	-
	50歳代	94	26.6	70.2	3.2
	60歳代	136	33.1	65.4	1.5
	70歳以上	132	46.2	50.0	3.8
	無回答	4	50.0	50.0	-
職業	自営業者	74	39.2	58.1	2.7
	農林漁業	27	33.3	59.3	7.4
	商工・建設・サービス業	28	42.9	57.1	-
	自由業	14	42.9	57.1	-
	業種無回答	5	40.0	60.0	-
	家族従業者	23	21.7	78.3	-
	農林漁業	7	14.3	85.7	-
	商工・建設・サービス業	9	22.2	77.8	-
	自由業	6	33.3	66.7	-
	業種無回答	1	-	100.0	-
	雇用者	242	30.6	68.2	1.2
	管理職	18	27.8	72.2	-
	専門技術職	73	35.6	64.4	-
	事務職	67	28.4	71.6	-
	労務職	79	30.4	65.8	3.8
	業種無回答	5	-	100.0	-
	無職	231	37.2	61.0	1.7
	主婦・主夫	139	38.1	61.2	0.7
	学生	19	10.5	89.5	-
	その他の無職	57	40.4	56.1	3.5
	業種無回答	16	50.0	43.8	6.3
	無回答	16	25.0	62.5	12.5

尊重されていないこと

「経済的に自立できない」が57.8%

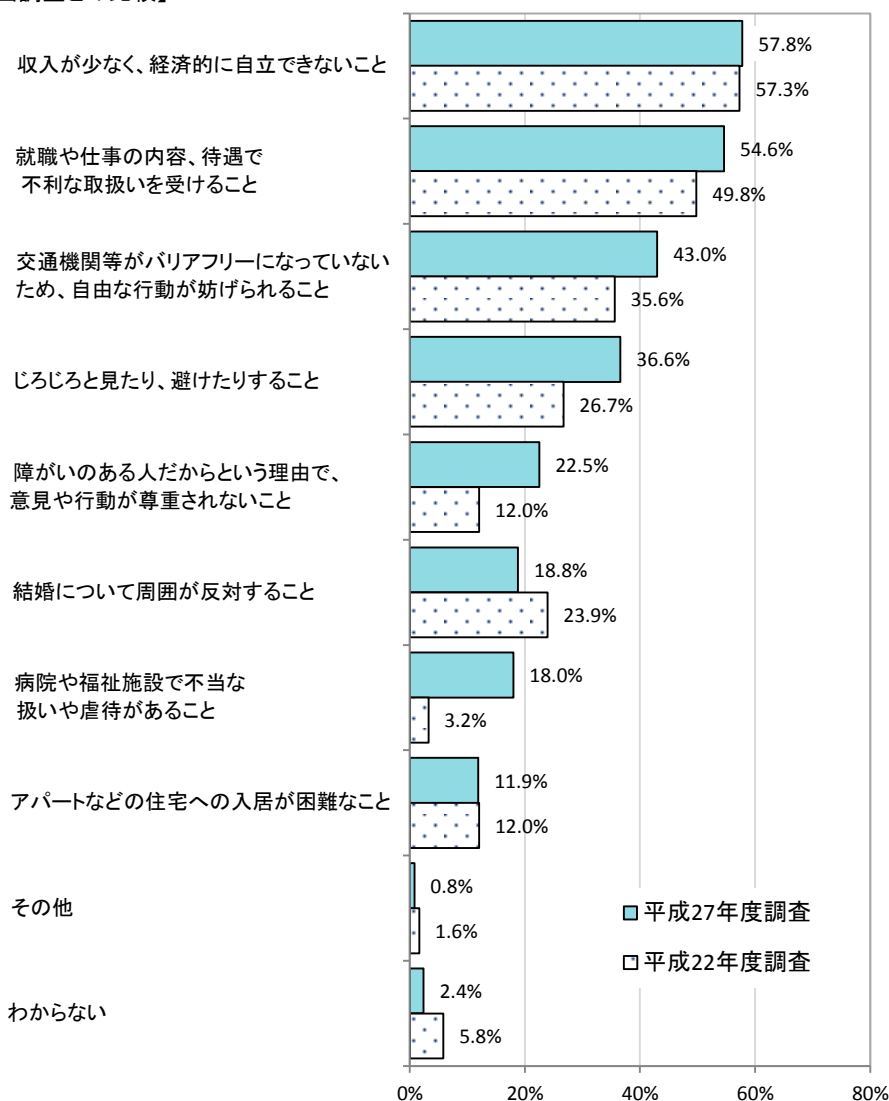
問 10 (問9で「② そう思わない」とお答えの方にお尋ねします)障がいのある人の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

「そう思わない」と答えた人(377人)に聞いた、特に障がいのある人の人権が尊重されていないと思うこと(3つ以内)は「収入が少なく、経済的に自立できないこと」57.8%、「就職や仕事の内容、待遇で不利な取扱いを受けること」54.6%、「交通機関がバリアフリーになっていないため、自由な行動が妨げられること」43.0%、「じろじろと見たり、避けたりすること」36.6%の順で、この4項目が3割を超えている。

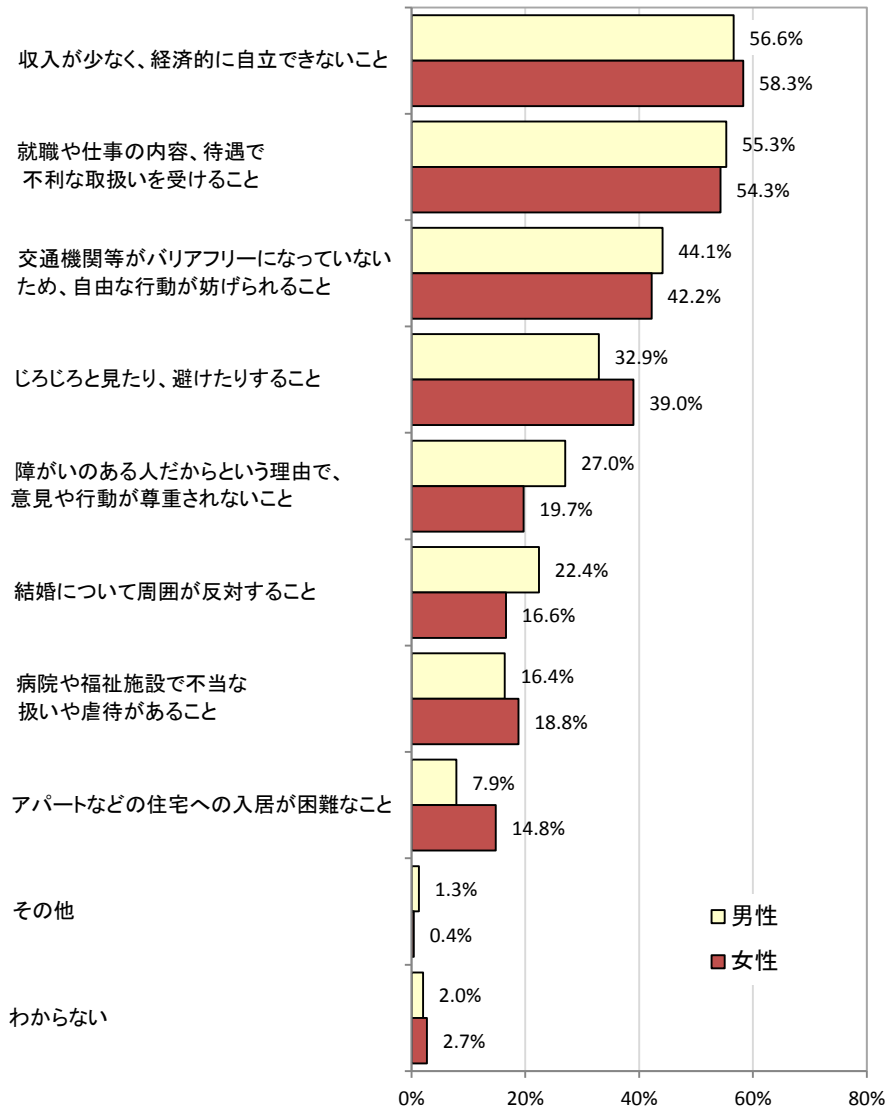
「収入が少なく、経済的に自立できないこと」は高齢層ほど指摘している傾向で、60歳以上は65%を超えている。職業では自営・家族を問わず農林漁業の危惧が目立つ。

(注) 県の調査では「人々の障がい者に対する理解が足りないこと」63.4%、「就職・職場で不利な扱いをすること」52.3%が5割を超えている。

【前回調査との比較】



◆性別では



問10（問9で「そう思わない」とお答えの方にお尋ねします）障がいのある人の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください

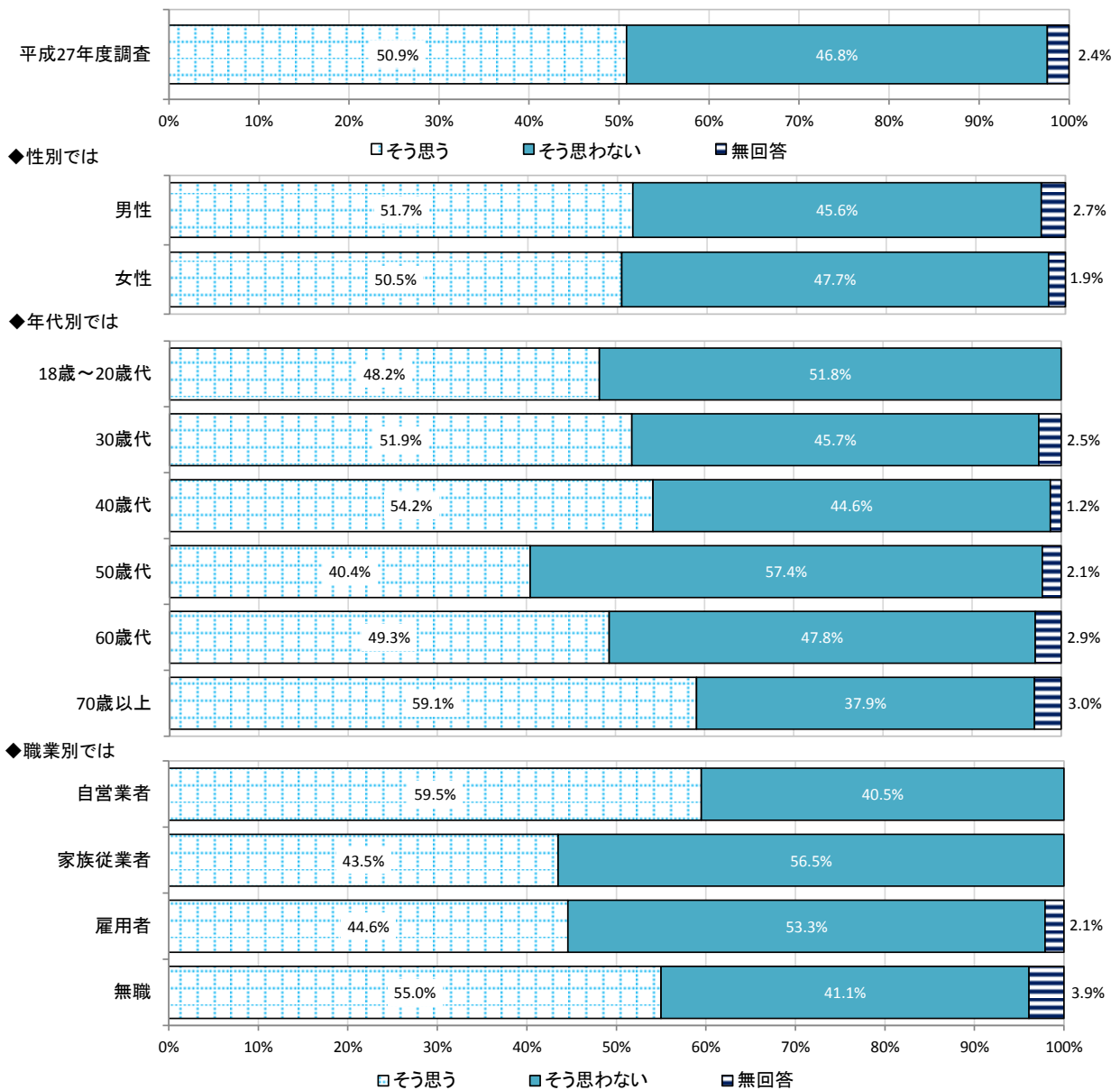
		標本数（人）	収入が少なく、経済的に自立できないこと	就職や仕事の内容、待遇で不利な取扱いを受けること	交通機関等がバリアフリーになっていないため、自由な行動が妨げられること	じろじろと見たり、避けたりすること	障がいのある人だからという理由で、意見や行動が尊重されないこと	結婚について周囲が反対すること	病院や福祉施設で不当な扱いや虐待があること	アパートなどの住宅への入居が困難なこと	その他	わからない	(%)
全体		377	218	206	162	138	85	71	68	45	3	9	
			57.8	54.6	43.0	36.6	22.5	18.8	18.0	11.9	0.8	2.4	
性別	男性	152	56.6	55.3	44.1	32.9	27.0	22.4	16.4	7.9	1.3	2.0	
	女性	223	58.3	54.3	42.2	39.0	19.7	16.6	18.8	14.8	0.4	2.7	
	無回答	2	100.0	50.0	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-	
年代	18歳～20歳代	47	42.6	55.3	27.7	38.3	19.1	17.0	27.7	6.4	-	4.3	
	30歳代	52	42.3	57.7	48.1	40.4	28.8	11.5	19.2	1.9	1.9	5.8	
	40歳代	55	58.2	40.0	38.2	52.7	25.5	18.2	10.9	9.1	1.8	1.8	
	50歳代	66	57.6	68.2	39.4	36.4	15.2	30.3	16.7	18.2	-	-	
	60歳代	89	67.4	57.3	57.3	30.3	16.9	14.6	15.7	15.7	-	1.1	
	70歳以上	66	66.7	47.0	37.9	27.3	33.3	21.2	19.7	15.2	1.5	3.0	
	無回答	2	100.0	50.0	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-	
職業	自営業者	43	62.8	65.1	39.5	30.2	27.9	25.6	20.9	4.7	-	2.3	
	農林漁業	16	87.5	68.8	37.5	37.5	37.5	18.8	6.3	-	-	-	
	商工・建設・サービス業	16	62.5	75.0	37.5	18.8	18.8	37.5	18.8	12.5	-	-	
	自由業	8	25.0	37.5	37.5	37.5	37.5	12.5	50.0	-	-	12.5	
	業種無回答	3	33.3	66.7	66.7	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-	
	家族従業者	18	55.6	44.4	38.9	27.8	22.2	38.9	22.2	22.2	-	5.6	
	農林漁業	6	66.7	66.7	33.3	16.7	33.3	16.7	33.3	33.3	-	-	
	商工・建設・サービス業	7	42.9	28.6	42.9	42.9	14.3	42.9	-	28.6	-	14.3	
	自由業	4	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	50.0	50.0	-	-	-	
	業種無回答	1	100.0	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	
	雇用者	165	52.7	58.2	40.0	37.0	21.8	18.8	15.8	11.5	1.2	2.4	
	管理職	13	61.5	38.5	53.8	23.1	7.7	30.8	23.1	-	-	-	
	専門技術職	47	51.1	53.2	44.7	44.7	19.1	19.1	25.5	8.5	-	2.1	
	事務職	48	54.2	62.5	35.4	33.3	12.5	18.8	8.3	18.8	4.2	4.2	
	労務職	52	50.0	63.5	34.6	38.5	36.5	15.4	11.5	9.6	-	1.9	
	業種無回答	5	60.0	60.0	60.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	-	
	無職	141	62.4	48.9	47.5	38.3	22.0	15.6	19.1	13.5	0.7	2.1	
	主婦・主夫	85	63.5	54.1	52.9	34.1	20.0	15.3	16.5	17.6	-	2.4	
	学生	17	47.1	70.6	17.6	52.9	17.6	17.6	29.4	-	-	5.9	
	その他の無職	32	65.6	21.9	50.0	43.8	28.1	15.6	21.9	9.4	3.1	-	
業種無回答	7	71.4	57.1	42.9	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3	-	-		
無回答	10	60.0	50.0	50.0	50.0	20.0	-	20.0	10.0	-	-		

同和問題の解消 肯定と否定が拮抗

問 11 あなたは、同和問題が解消されている社会だと思いますか。

同和問題が解消されている社会だと「そう思う」50.9%、「そう思わない」46.8%で両者が拮抗している。50歳代は「そう思わない」が57.4%、70歳以上は「そう思う」が59.1%で認識の差が大きい。他の年代は僅差だ。

職業別でも自営業者と無職は「そう思う」が、管理職以外の雇用者は「そう思わない」が過半数と割れている。



問11 あなたは、同和問題が解消されている社会だと思いますか

(%)

		標本数 (人)	そう 思う	そう 思わない	無 回 答
全体		586	298	274	14
		100.0	50.9	46.8	2.4
性別	男性	261	51.7	45.6	2.7
	女性	321	50.5	47.7	1.9
	無回答	4	25.0	50.0	25.0
年代	18歳～20歳代	56	48.2	51.8	-
	30歳代	81	51.9	45.7	2.5
	40歳代	83	54.2	44.6	1.2
	50歳代	94	40.4	57.4	2.1
	60歳代	136	49.3	47.8	2.9
	70歳以上	132	59.1	37.9	3.0
	無回答	4	25.0	50.0	25.0
職業	自営業者	74	59.5	40.5	-
	農林漁業	27	51.9	48.1	-
	商工・建設・サービス業	28	60.7	39.3	-
	自由業	14	71.4	28.6	-
	業種無回答	5	60.0	40.0	-
	家族従業者	23	43.5	56.5	-
	農林漁業	7	57.1	42.9	-
	商工・建設・サービス業	9	33.3	66.7	-
	自由業	6	33.3	66.7	-
	業種無回答	1	100.0	-	-
	雇用者	242	44.6	53.3	2.1
	管理職	18	61.1	38.9	-
	専門技術職	73	43.8	53.4	2.7
	事務職	67	41.8	58.2	-
	労務職	79	43.0	53.2	3.8
	業種無回答	5	60.0	40.0	-
	無職	231	55.0	41.1	3.9
	主婦・主夫	139	59.0	38.1	2.9
	学生	19	52.6	47.4	-
	その他の無職	57	43.9	47.4	8.8
	業種無回答	16	62.5	37.5	-
	無回答	16	56.3	43.8	-

解消されていないこと

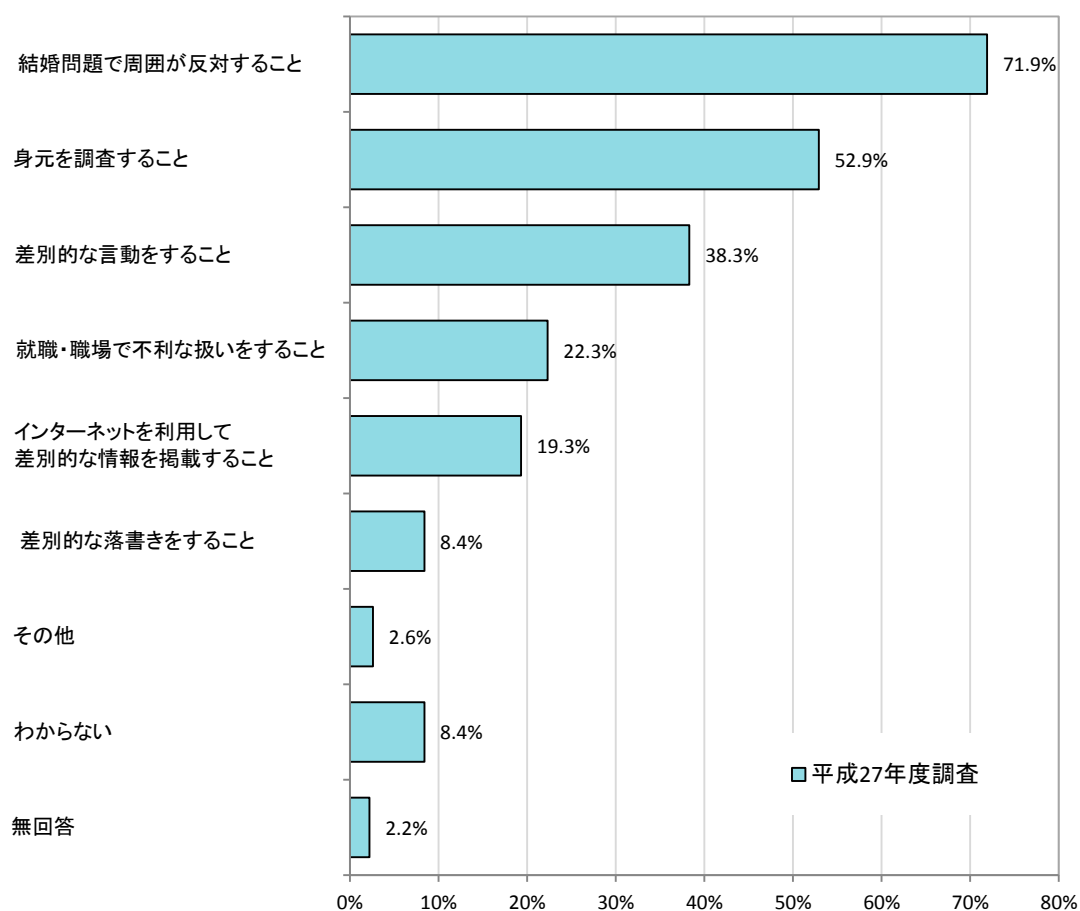
「結婚問題で周囲が反対」7割

問12（問11で「② そう思わない」とお答えの方にお尋ねします）同和問題が解消されていないと思うのは、特にどのようなことですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

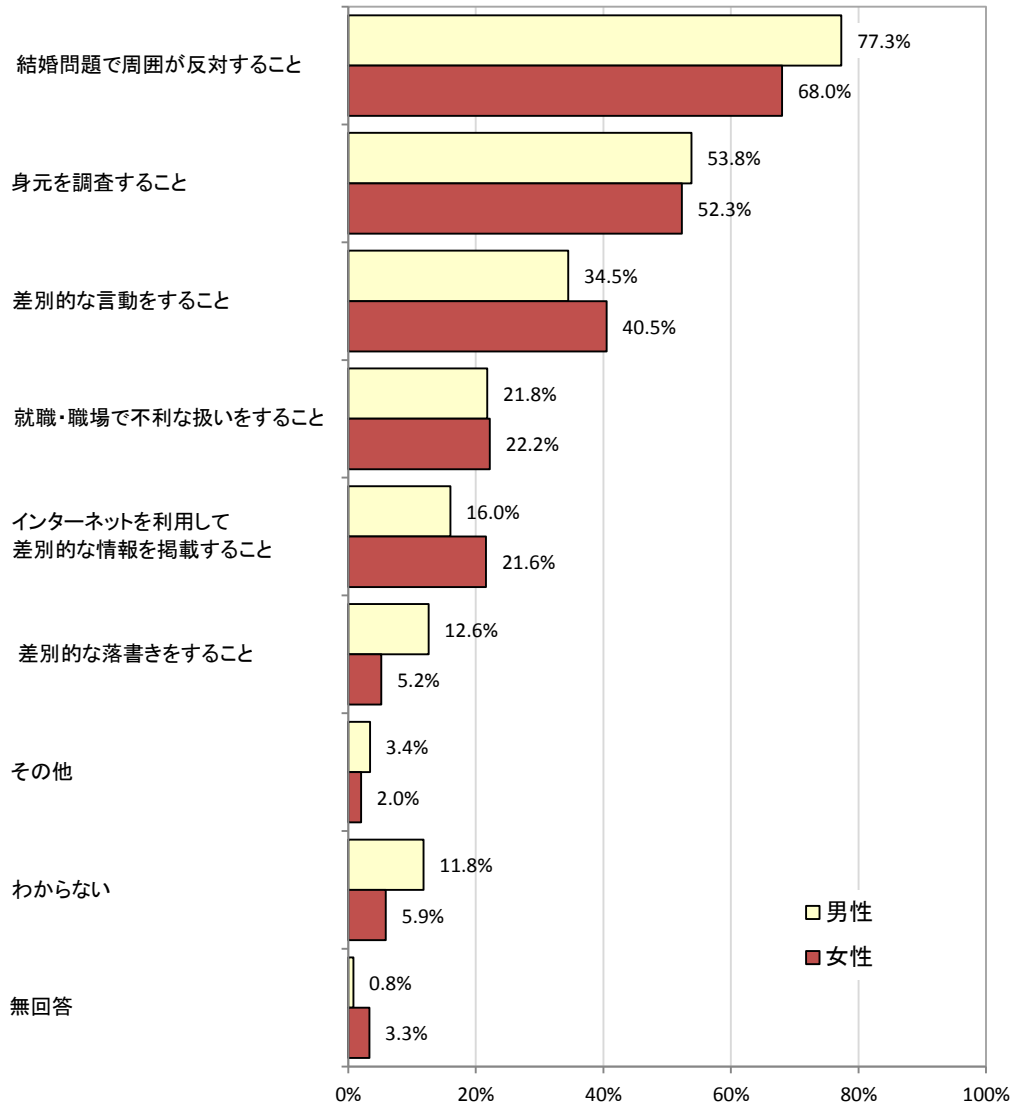
「そう思わない」と答えた人（274人）に聞いた、特に同和問題が解消されていないと思うこと（3つ以内）は、「結婚問題で周囲が反対すること」71.9%、「身元を調査すること」52.9%、「差別的な言動をすること」38.3%が上位3項目。「結婚問題で周囲が反対すること」は全ての年代、職業を通して1番目である。「身元を調査すること」は70歳以上（76.0%）、自営業者（73.3%）が高い。

「インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること」は全体では5番目だが、18歳～20歳代では37.9%で同率1位となっている。

（注）内閣府と県の調査でも「結婚問題で周囲が反対」「身元調査」「差別的な言動」が上位に挙げられている。



◆性別では



問12（問11で「そう思わない」とお答えの方にお尋ねします）同和問題が解消されていないと思うのは、特にどのようなことですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください

		標本数（人）	結婚問題で周囲が反対すること	身元を調査すること	差別的な言動をすること	就職・職場で不利な扱いをすること	インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること	差別的な落書きをすること	その他	わからない	無回答
											(%)
全体		274	197	145	105	61	53	23	7	23	6
			71.9	52.9	38.3	22.3	19.3	8.4	2.6	8.4	2.2
性別	男性	119	77.3	53.8	34.5	21.8	16.0	12.6	3.4	11.8	0.8
	女性	153	68.0	52.3	40.5	22.2	21.6	5.2	2.0	5.9	3.3
	無回答	2	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-
年代	18歳～20歳代	29	37.9	31.0	31.0	20.7	37.9	13.8	-	27.6	-
	30歳代	37	64.9	43.2	32.4	29.7	27.0	2.7	-	10.8	2.7
	40歳代	37	56.8	51.4	21.6	13.5	27.0	-	2.7	16.2	-
	50歳代	54	75.9	44.4	42.6	22.2	14.8	11.1	1.9	7.4	3.7
	60歳代	65	86.2	58.5	41.5	24.6	16.9	10.8	4.6	1.5	1.5
	70歳以上	50	86.0	76.0	48.0	20.0	4.0	10.0	4.0	-	4.0
	無回答	2	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-
職業	自営業者	30	86.7	73.3	46.7	16.7	13.3	3.3	-	3.3	3.3
	農林漁業	13	84.6	76.9	53.8	15.4	-	-	-	-	-
	商工・建設・サービス業	11	90.9	72.7	36.4	27.3	27.3	-	-	9.1	-
	自由業	4	100.0	100.0	50.0	-	25.0	-	-	-	-
	業種無回答	2	50.0	-	50.0	-	-	50.0	-	-	50.0
	家族従業者	13	76.9	53.8	38.5	23.1	7.7	15.4	-	7.7	-
	農林漁業	3	66.7	66.7	33.3	-	-	66.7	-	-	-
	商工・建設・サービス業	6	100.0	66.7	33.3	33.3	-	-	-	-	-
	自由業	4	50.0	25.0	50.0	25.0	25.0	-	-	25.0	-
	業種無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	雇用者	129	66.7	51.2	31.8	20.9	22.5	6.2	3.1	12.4	2.3
	管理職	7	85.7	71.4	42.9	28.6	14.3	14.3	-	-	-
	専門技術職	39	56.4	48.7	28.2	20.5	38.5	10.3	5.1	12.8	2.6
	事務職	39	69.2	51.3	28.2	15.4	23.1	2.6	-	10.3	2.6
	労務職	42	69.0	50.0	38.1	26.2	9.5	4.8	4.8	16.7	2.4
	業種無回答	2	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-
	無職	95	74.7	49.5	42.1	25.3	18.9	11.6	3.2	5.3	2.1
	主婦・主夫	53	83.0	56.6	43.4	22.6	13.2	3.8	3.8	3.8	1.9
	学生	9	33.3	-	33.3	44.4	33.3	33.3	-	22.2	-
	その他の無職	27	66.7	44.4	48.1	25.9	25.9	18.5	-	3.7	3.7
業種無回答	6	100.0	83.3	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-	
無回答	7	57.1	42.9	71.4	28.6	14.3	14.3	-	-	-	

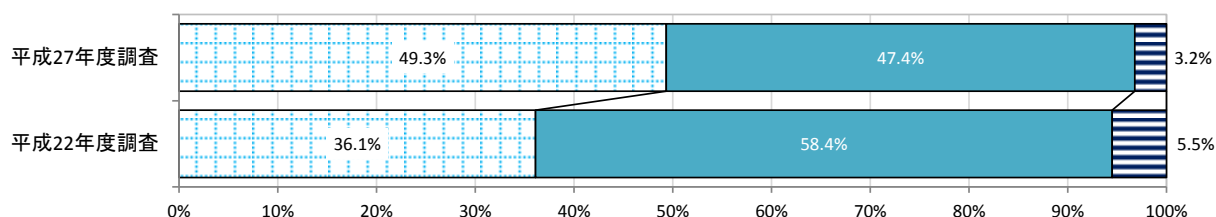
外国人の人権尊重 年代により認識に違い

問 13 あなたは、外国人の人権が尊重されている社会だと思いますか。

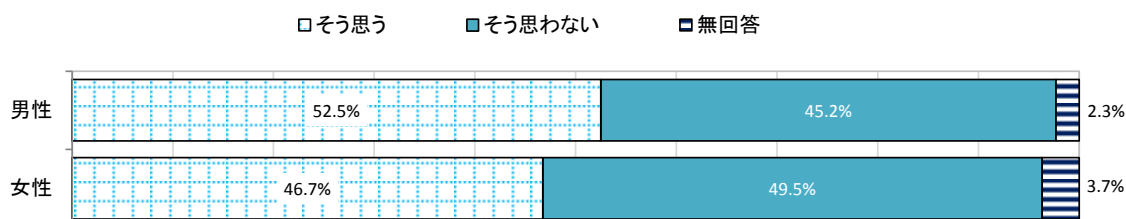
外国人の人権が尊重されている社会だと「そう思う」49.3%、「そう思わない」47.4%と、同和問題と同様に拮抗している。「そう思う」は男性、18歳～20歳代、30歳代、70歳以上で過半数、「そう思わない」は女性、40歳代、50歳代、60歳代で多数となっており属性によって割れている。職業別で家族従業者は標本数が少ないので参考値ではあるが、69.6%が「そう思わない」としており一際高い。

前回調査と比べ「そう思う」が13ポイント増で、「そう思わない」を逆転しており、外国人への人権尊重が進んでいると言えそうだ。

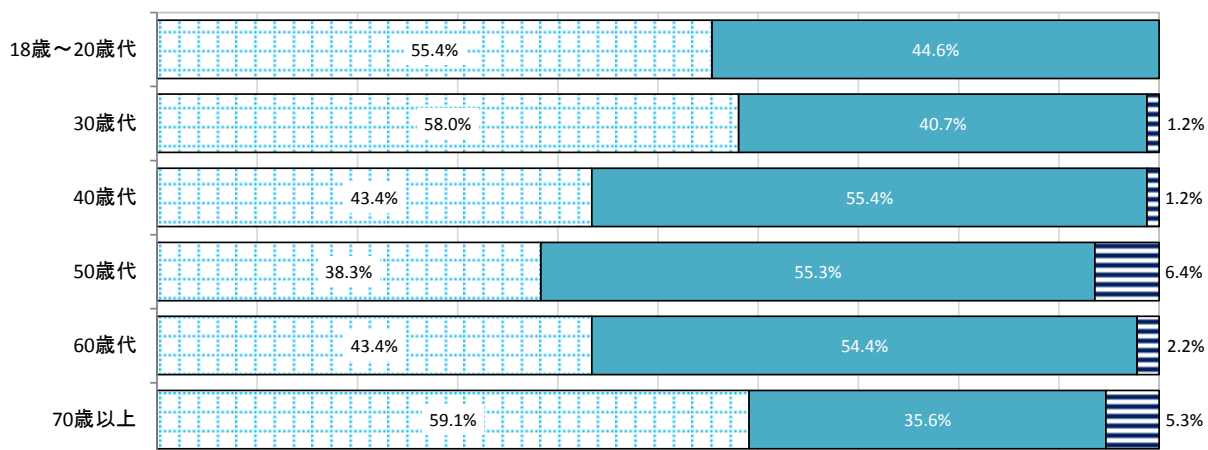
◆前回との比較



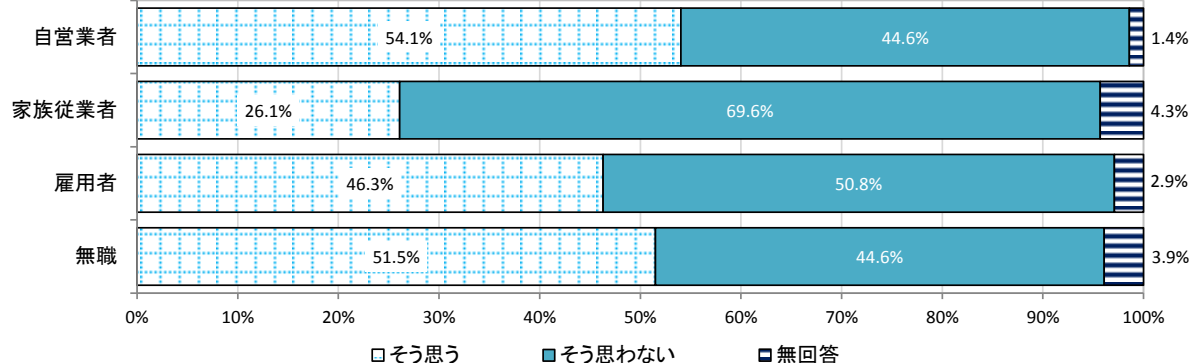
◆性別では



◆年代別では



◆職業別では



問13 あなたは、外国人の人権が尊重されている社会だと思いますか

(%)

		標本数 (人)	そう 思う	そう 思わない	無 回 答
全体		586	289	278	19
		100.0	49.3	47.4	3.2
性別	男性	261	52.5	45.2	2.3
	女性	321	46.7	49.5	3.7
	無回答	4	50.0	25.0	25.0
年代	18歳～20歳代	56	55.4	44.6	-
	30歳代	81	58.0	40.7	1.2
	40歳代	83	43.4	55.4	1.2
	50歳代	94	38.3	55.3	6.4
	60歳代	136	43.4	54.4	2.2
	70歳以上	132	59.1	35.6	5.3
	無回答	4	50.0	25.0	25.0
職業	自営業者	74	54.1	44.6	1.4
	農林漁業	27	48.1	51.9	-
	商工・建設・サービス業	28	64.3	35.7	-
	自由業	14	42.9	50.0	7.1
	業種無回答	5	60.0	40.0	-
	家族従業者	23	26.1	69.6	4.3
	農林漁業	7	14.3	85.7	-
	商工・建設・サービス業	9	22.2	66.7	11.1
	自由業	6	33.3	66.7	-
	業種無回答	1	100.0	-	-
	雇用者	242	46.3	50.8	2.9
	管理職	18	44.4	55.6	-
	専門技術職	73	47.9	50.7	1.4
	事務職	67	43.3	55.2	1.5
	労務職	79	48.1	45.6	6.3
	業種無回答	5	40.0	60.0	-
	無職	231	51.5	44.6	3.9
	主婦・主夫	139	48.9	48.9	2.2
	学生	19	52.6	47.4	-
	その他の無職	57	52.6	36.8	10.5
	業種無回答	16	68.8	31.3	-
	無回答	16	75.0	18.8	6.3

尊重されていないこと

「地域社会での受入れが十分でない」ほぼ6割

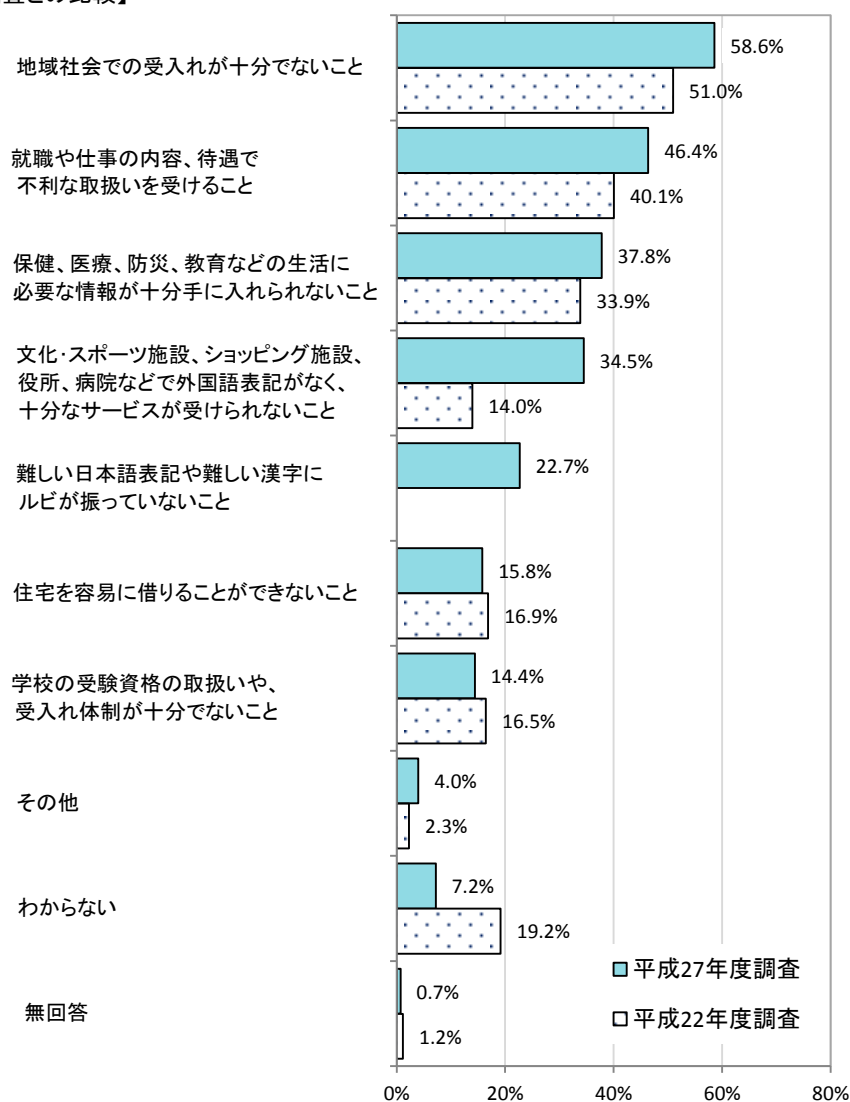
問14（問13で「② そう思わない」とお答えの方にお尋ねします）外国人の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

「そう思わない」と答えた人（278人）に聞いた、特に人権が尊重されていないと思うこと（3つ以内）は「地域社会での受入れが十分でないこと」が58.6%で最も多く、「就職や仕事の内容、待遇で不利な取扱いを受けること」46.4%、「保健、医療、防災、教育などの生活に必要な情報が十分手に入れないこと」37.8%、「文化・スポーツ施設、ショッピング施設、役所、病院などで外国語表記がなく、十分なサービスが受けられないこと」34.5%が続く。

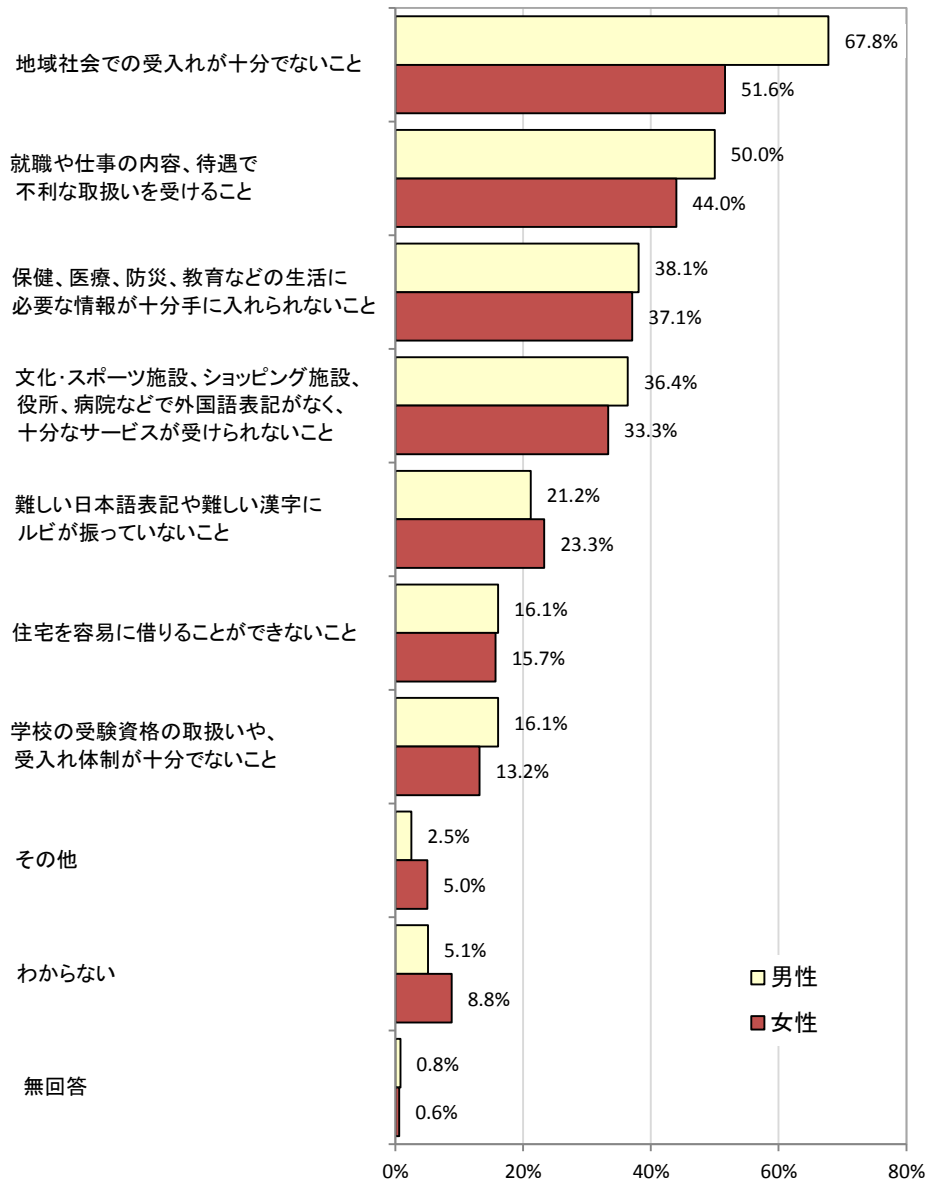
「地域社会での受入れが十分でないこと」は男性（67.8%）、70歳以上（70.2%）、自営業者（78.8%）が特に指摘している。

（注）内閣府の調査では「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」34.8%、県の調査では「言語が異なるため、保健・医療・福祉、防災、教育などの日常生活に必要な情報が得にくいこと」43.3%が最も多い。

【前回調査との比較】



◆性別では

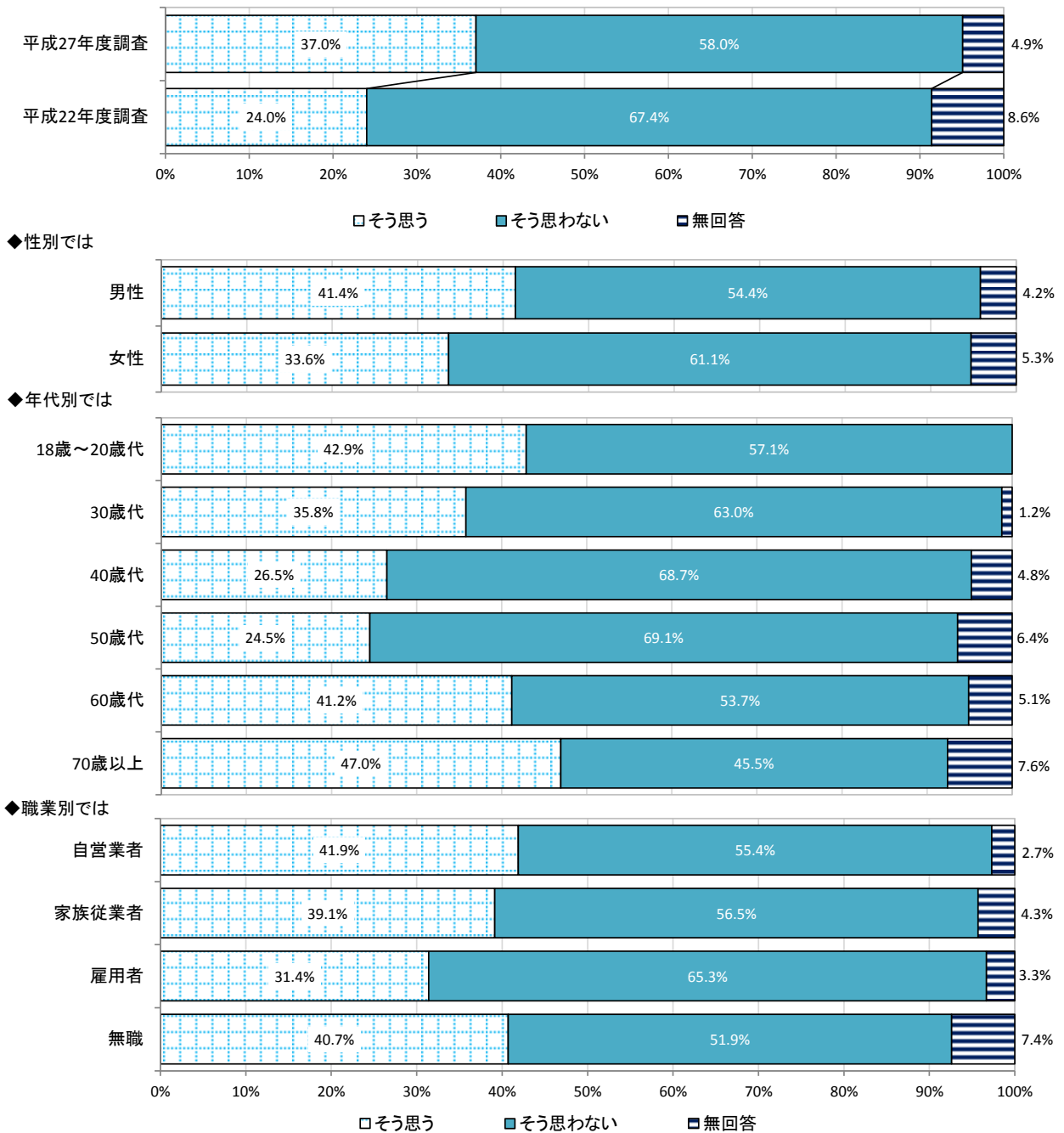


問14 (問13で「そう思わない」とお答えの方にお尋ねします)外国人の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください

		標本数(人)	地域社会での受入れが十分でないこと	就職や仕事の内容、待遇で不利な取扱いを受けること	保健、医療、防災、教育などの生活に必要な情報が十分に入れないこと	役所、病院などで外国語表記がなく、十分なサービスが受けられないこと	文化・スポーツ施設、ショッピング施設、なサービスが受けられないこと	難しい日本語表記や難しい漢字にルビが振っていないこと	住宅を容易に借りることができないこと	学校の受験資格の取扱いや、受入れ体制が十分でないこと	その他	わからない	無回答
													(%)
全体		278	163	129	105	96	63	44	40	11	20	2	
			58.6	46.4	37.8	34.5	22.7	15.8	14.4	4.0	7.2	0.7	
性別	男性	118	67.8	50.0	38.1	36.4	21.2	16.1	16.1	2.5	5.1	0.8	
	女性	159	51.6	44.0	37.1	33.3	23.3	15.7	13.2	5.0	8.8	0.6	
	無回答	1	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-
年代	18歳～20歳代	25	64.0	52.0	44.0	20.0	24.0	12.0	16.0	-	4.0	-	
	30歳代	33	48.5	42.4	33.3	33.3	12.1	12.1	15.2	6.1	9.1	3.0	
	40歳代	46	52.2	41.3	26.1	26.1	26.1	10.9	4.3	6.5	13.0	-	
	50歳代	52	57.7	48.1	38.5	28.8	19.2	25.0	9.6	5.8	3.8	1.9	
	60歳代	74	58.1	40.5	40.5	43.2	20.3	16.2	24.3	2.7	9.5	-	
	70歳以上	47	70.2	59.6	42.6	44.7	31.9	14.9	12.8	2.1	2.1	-	
	無回答	1	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-
職業	自営業者	33	78.8	45.5	45.5	39.4	21.2	9.1	27.3	6.1	-	-	
	農林漁業	14	92.9	57.1	57.1	50.0	7.1	-	7.1	7.1	-	-	
	商工・建設・サービス業	10	80.0	50.0	40.0	10.0	30.0	10.0	50.0	-	-	-	
	自由業	7	42.9	14.3	42.9	71.4	42.9	14.3	14.3	14.3	-	-	
	業種無回答	2	100.0	50.0	-	-	-	50.0	100.0	-	-	-	
	家族従業者	16	50.0	37.5	43.8	31.3	18.8	6.3	18.8	6.3	18.8	-	
	農林漁業	6	50.0	33.3	66.7	50.0	16.7	16.7	16.7	-	16.7	-	
	商工・建設・サービス業	6	50.0	33.3	16.7	33.3	16.7	-	33.3	-	33.3	-	
	自由業	4	50.0	50.0	50.0	-	25.0	-	-	25.0	-	-	
	業種無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	雇用者	123	57.7	50.4	34.1	30.1	18.7	17.9	9.8	3.3	7.3	1.6	
	管理職	10	40.0	60.0	50.0	20.0	50.0	30.0	-	-	-	-	
	専門技術職	37	45.9	56.8	37.8	35.1	21.6	16.2	10.8	5.4	5.4	2.7	
	事務職	37	67.6	48.6	29.7	27.0	13.5	16.2	13.5	-	5.4	2.7	
	労務職	36	61.1	47.2	30.6	27.8	13.9	13.9	8.3	5.6	13.9	-	
	業種無回答	3	100.0	-	33.3	66.7	-	66.7	-	-	-	-	-
	無職	103	55.3	44.7	37.9	38.8	28.2	16.5	15.5	3.9	7.8	-	
	主婦・主夫	68	52.9	48.5	39.7	38.2	26.5	13.2	14.7	4.4	10.3	-	
	学生	9	66.7	55.6	44.4	22.2	22.2	33.3	22.2	-	-	-	
	その他の無職	21	57.1	28.6	33.3	52.4	28.6	14.3	14.3	4.8	4.8	-	
業種無回答	5	60.0	40.0	20.0	20.0	60.0	40.0	20.0	-	-	-		
無回答	3	33.3	-	66.7	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	

問 15 あなたは、エイズ患者・HIV(エイズウイルス)感染者の人権が尊重されている社会だと思いますか。

エイズ患者・HIV（エイズウイルス）感染者の人権が尊重されている社会だと「そう思う」37.0%、「そう思わない」58.0%で、前回調査と同様に否定が多数となっている。「そう思う」は13ポイント改善しているものの、40歳代と50歳代は20%台で低い。職業別では雇用者の全職種で「そう思わない」が6割超となっている。



問15 あなたは、エイズ患者・HIV(エイズウイルス)感染者の人権が尊重されている社会だと思いますか

(%)

		標本数 (人)	そう 思う	そう 思わない	無 回 答
全体		586	217	340	29
		100.0	37.0	58.0	4.9
性別	男性	261	41.4	54.4	4.2
	女性	321	33.6	61.1	5.3
	無回答	4	25.0	50.0	25.0
年代	18歳～20歳代	56	42.9	57.1	-
	30歳代	81	35.8	63.0	1.2
	40歳代	83	26.5	68.7	4.8
	50歳代	94	24.5	69.1	6.4
	60歳代	136	41.2	53.7	5.1
	70歳以上	132	47.0	45.5	7.6
	無回答	4	25.0	50.0	25.0
職業	自営業者	74	41.9	55.4	2.7
	農林漁業	27	40.7	51.9	7.4
	商工・建設・サービス業	28	35.7	64.3	-
	自由業	14	50.0	50.0	-
	業種無回答	5	60.0	40.0	-
	家族従業者	23	39.1	56.5	4.3
	農林漁業	7	42.9	42.9	14.3
	商工・建設・サービス業	9	44.4	55.6	-
	自由業	6	33.3	66.7	-
	業種無回答	1	-	100.0	-
	雇用者	242	31.4	65.3	3.3
	管理職	18	38.9	61.1	-
	専門技術職	73	34.2	63.0	2.7
	事務職	67	29.9	68.7	1.5
	労務職	79	29.1	65.8	5.1
	業種無回答	5	20.0	60.0	20.0
	無職	231	40.7	51.9	7.4
	主婦・主夫	139	39.6	55.4	5.0
	学生	19	36.8	63.2	-
	その他の無職	57	40.4	43.9	15.8
	業種無回答	16	56.3	37.5	6.3
	無回答	16	43.8	50.0	6.3

尊重されていないこと

「偏見により差別的な言動」58.8%

問16（問15で「② そう思わない」とお答えの方にお尋ねします）エイズ患者・HIV（エイズウイルス）感染者の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

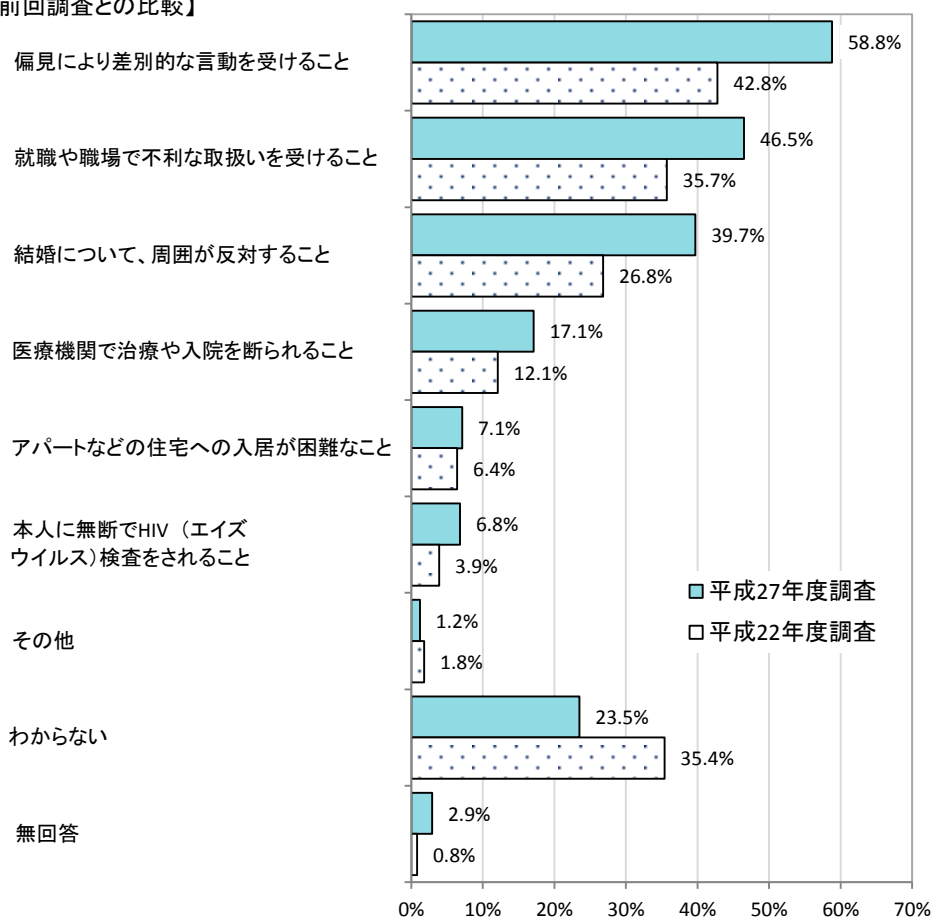
「そう思わない」と答えた人（340人）に聞いた、特にエイズ患者・HIV（エイズウイルス）感染者の人権が尊重されていないと思うこと（3つ以内）は「偏見により差別的な言動を受けること」58.8%、「就職や職場で不利な取扱いを受けること」46.5%、「結婚について、周囲が反対すること」39.7%の上位3項目に集中している。

上位項目は性別、年代、職業別でもほぼ共通で、前回調査と同じ順番になっている。

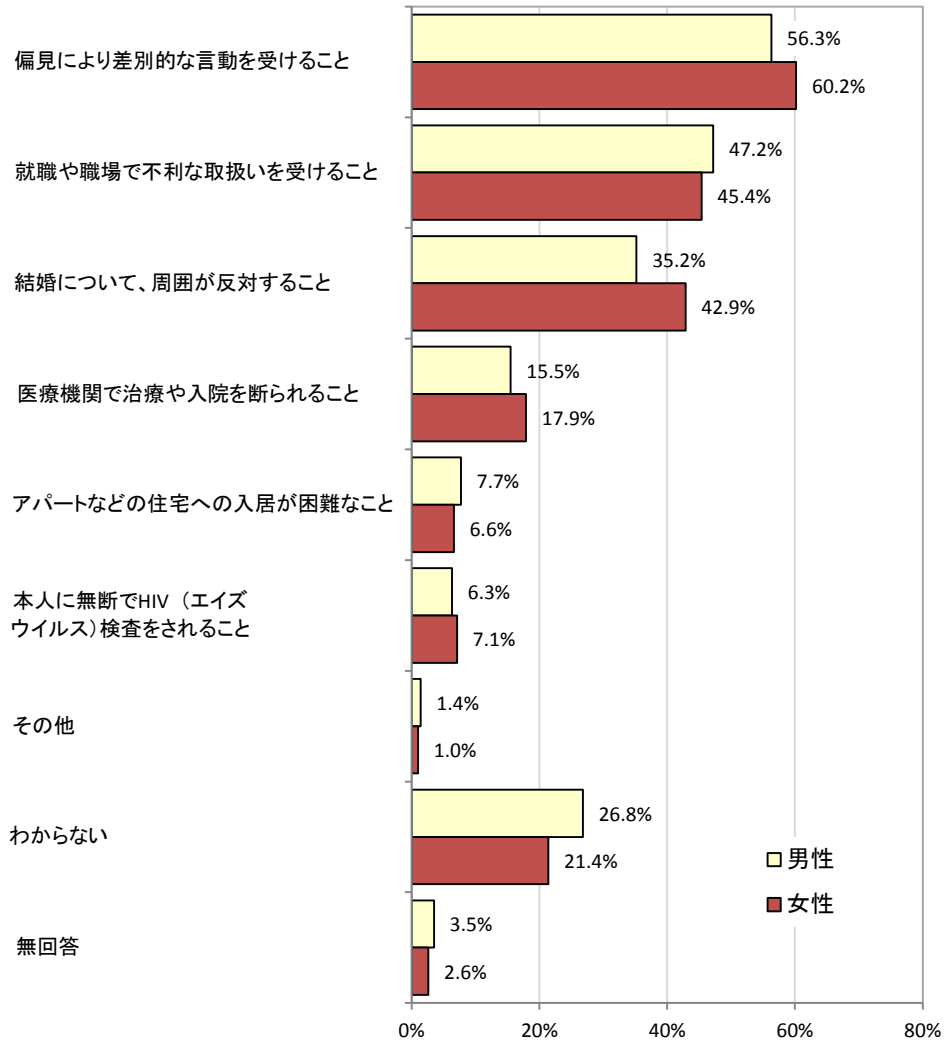
ただ「わからない」が4人に1人で、この人権が尊重されていない内容を問う7つの質問の中では、「ハンセン病」と並んで多い。

（注）内閣府や県の調査では「結婚問題で周囲が反対」が多い。ただ「わからない」が県の調査では47.0%と率では1番高い。

【前回調査との比較】



◆性別では



問16 (問15で「そう思わない」とお答えの方にお尋ねします)エイズ患者・HIV(エイズウイルス)感染者の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください

											(%)
		標本数(人)	偏見により差別的な言動を受けること	就職や職場で不利な取扱いを受けること	結婚について、周囲が反対すること	医療機関で治療や入院を断られること	アパートなどの住宅への入居が困難なこと	本人に無断でHIV(エイズウイルス)検査をされること	その他	わからない	無回答
全体		340	200	158	135	58	24	23	4	80	10
			58.8	46.5	39.7	17.1	7.1	6.8	1.2	23.5	2.9
性別	男性	142	56.3	47.2	35.2	15.5	7.7	6.3	1.4	26.8	3.5
	女性	196	60.2	45.4	42.9	17.9	6.6	7.1	1.0	21.4	2.6
	無回答	2	100.0	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-
年代	18歳～20歳代	32	62.5	34.4	18.8	31.3	3.1	3.1	-	25.0	6.3
	30歳代	51	58.8	31.4	29.4	13.7	3.9	5.9	3.9	31.4	-
	40歳代	57	61.4	42.1	36.8	12.3	1.8	1.8	-	28.1	-
	50歳代	65	61.5	43.1	38.5	18.5	10.8	6.2	1.5	21.5	4.6
	60歳代	73	54.8	58.9	49.3	19.2	2.7	9.6	-	21.9	4.1
	70歳以上	60	55.0	56.7	51.7	11.7	18.3	11.7	1.7	16.7	3.3
	無回答	2	100.0	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-
職業	自営業者	41	63.4	53.7	41.5	26.8	7.3	7.3	-	22.0	2.4
	農林漁業	14	78.6	57.1	35.7	21.4	-	7.1	-	21.4	-
	商工・建設・サービス業	18	50.0	55.6	44.4	22.2	5.6	11.1	-	27.8	-
	自由業	7	57.1	42.9	28.6	57.1	14.3	-	-	14.3	14.3
	業種無回答	2	100.0	50.0	100.0	-	50.0	-	-	-	-
	家族従業者	13	38.5	61.5	46.2	7.7	-	15.4	-	23.1	15.4
	農林漁業	3	33.3	66.7	66.7	-	-	33.3	-	33.3	-
	商工・建設・サービス業	5	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-	40.0	40.0
	自由業	4	75.0	100.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-
	業種無回答	1	-	100.0	100.0	-	-	100.0	-	-	-
	雇用者	158	58.9	39.9	31.6	15.8	7.0	4.4	0.6	27.2	2.5
	管理職	11	72.7	45.5	45.5	9.1	-	9.1	9.1	9.1	-
	専門技術職	46	67.4	43.5	30.4	15.2	4.3	2.2	-	21.7	2.2
	事務職	46	56.5	34.8	30.4	21.7	8.7	2.2	-	26.1	2.2
	労務職	52	51.9	40.4	32.7	13.5	9.6	7.7	-	34.6	3.8
	業種無回答	3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	66.7	-
	無職	120	59.2	51.7	48.3	15.8	8.3	8.3	2.5	19.2	2.5
	主婦・主夫	77	58.4	51.9	54.5	15.6	7.8	6.5	2.6	18.2	2.6
	学生	12	75.0	33.3	25.0	33.3	8.3	8.3	-	16.7	-
	その他の無職	25	56.0	56.0	36.0	12.0	8.0	12.0	4.0	28.0	-
業種無回答	6	50.0	66.7	66.7	-	16.7	16.7	-	-	16.7	
無回答	8	62.5	37.5	50.0	25.0	-	12.5	-	25.0	-	

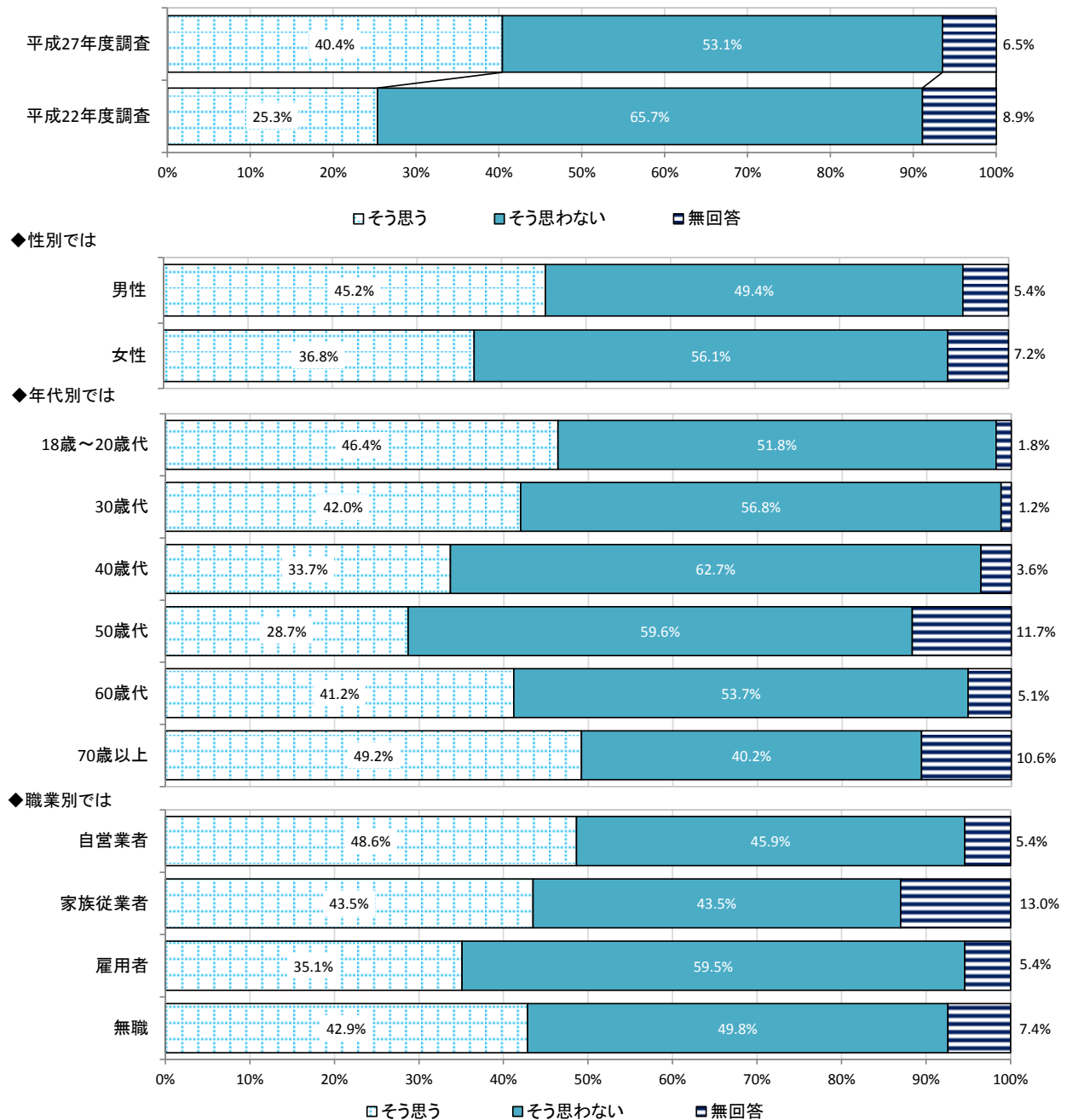
ハンセン病患者（回復者）の人権尊重

「そう思わない」なお過半数

問 17 あなたは、ハンセン病患者(回復者)の人権が尊重されている社会だと思いますか。

ハンセン病患者（回復者）の人権が尊重されている社会だと「そう思う」が40.4%と前回より15ポイント伸びている。しかし「そう思わない」が53.1%で、なお過半数となっている。

否定が6割を超えるのは40歳代（62.7%）、自営業者の自由業（64.3%）、雇用者の事務職（64.2%）と専門技術職（63.0%）、学生（63.2%）だ。



問17 あなたは、ハンセン病患者(回復者)の人権が尊重されている社会だと思いますか

(%)

		標本数 (人)	そう 思う	そう 思わない	無 回 答
全体		586	237	311	38
		100.0	40.4	53.1	6.5
性別	男性	261	45.2	49.4	5.4
	女性	321	36.8	56.1	7.2
	無回答	4	25.0	50.0	25.0
年代	18歳～20歳代	56	46.4	51.8	1.8
	30歳代	81	42.0	56.8	1.2
	40歳代	83	33.7	62.7	3.6
	50歳代	94	28.7	59.6	11.7
	60歳代	136	41.2	53.7	5.1
	70歳以上	132	49.2	40.2	10.6
	無回答	4	25.0	50.0	25.0
職業	自営業者	74	48.6	45.9	5.4
	農林漁業	27	44.4	44.4	11.1
	商工・建設・サービス業	28	57.1	42.9	-
	自由業	14	35.7	64.3	-
	業種無回答	5	60.0	20.0	20.0
	家族従業者	23	43.5	43.5	13.0
	農林漁業	7	42.9	42.9	14.3
	商工・建設・サービス業	9	33.3	44.4	22.2
	自由業	6	66.7	33.3	-
	業種無回答	1	-	100.0	-
	雇用者	242	35.1	59.5	5.4
	管理職	18	50.0	44.4	5.6
	専門技術職	73	34.2	63.0	2.7
	事務職	67	32.8	64.2	3.0
	労務職	79	36.7	54.4	8.9
	業種無回答	5	-	80.0	20.0
	無職	231	42.9	49.8	7.4
	主婦・主夫	139	39.6	54.0	6.5
	学生	19	36.8	63.2	-
	その他の無職	57	43.9	43.9	12.3
	業種無回答	16	75.0	18.8	6.3
	無回答	16	43.8	50.0	6.3

尊重されていないこと

「怖い病気の誤解」「じろじろ見たり避ける」

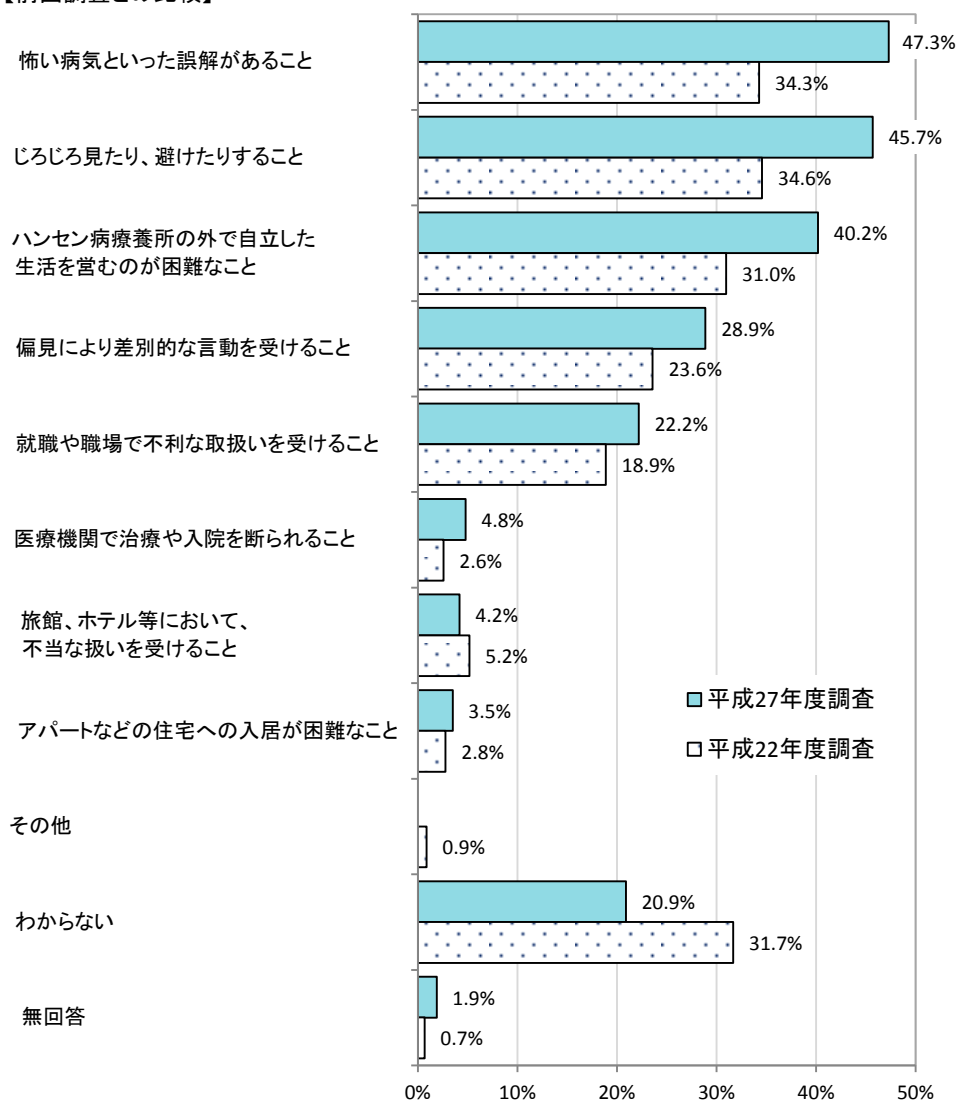
問 18 (問 17 で「② そう思わない」とお答えの方にお尋ねします)ハンセン病患者(回復者)の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

「そう思わない」と答えた人(311人)に聞いた、特に人権が尊重されていないと思うこと(3つ以内)は「怖い病気といった誤解があること」47.3%と「じろじろ見たり、避けたりすること」45.7%が同列で、3番目は「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと」40.2%だった。

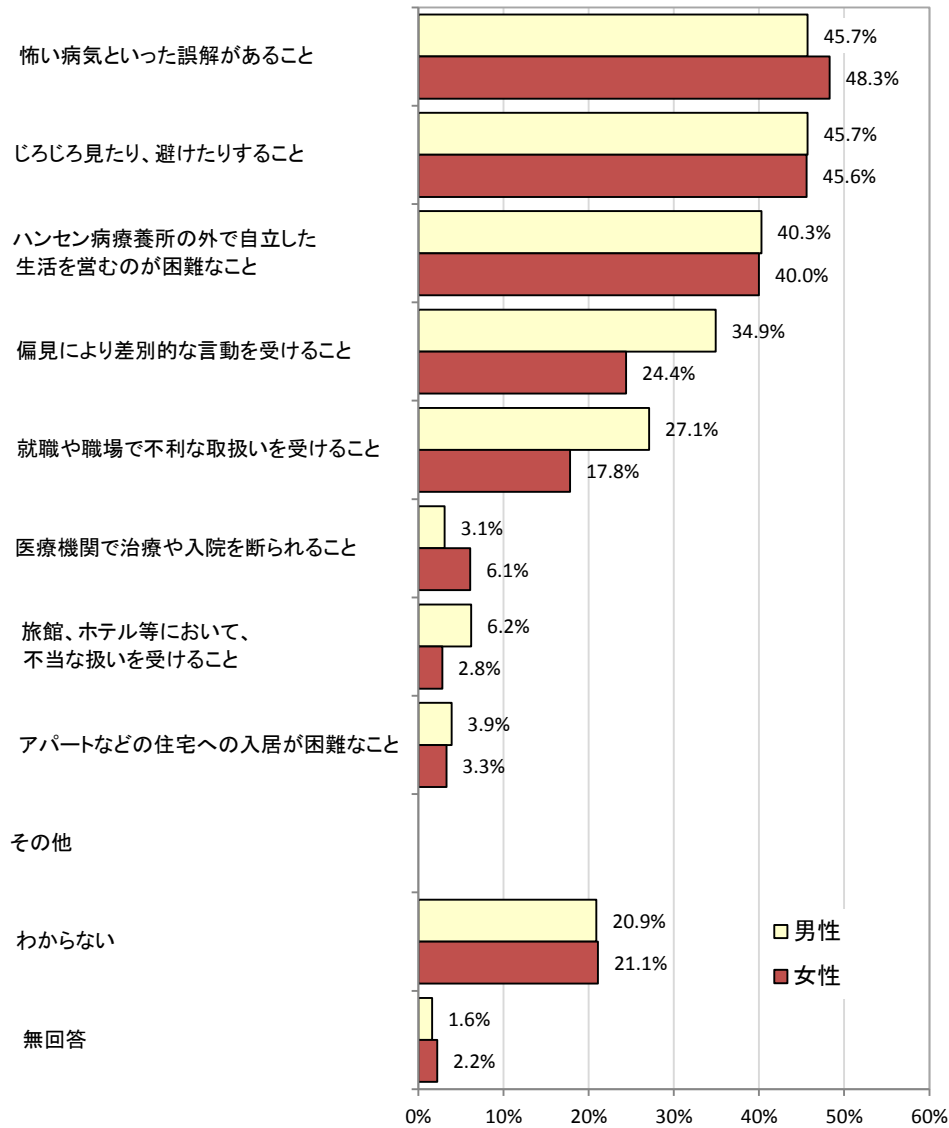
この上位3項目は、多少順番に違いはあっても各属性に共通で、前回とも大きな差異はない。

(注) 内閣府の調査では「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと」が1番目。県の調査では「わからない」が過半数の53.8%で佐久市(20.9%)よりはるかに多い。

【前回調査との比較】



◆性別では



問18 (問17で「そう思わない」とお答えの方にお尋ねします)ハンセン病患者(回復者)の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください

		標本数(人)	怖い病気といった誤解があること	じろじろ見たり、避けたりすること	ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと	偏見により差別的な言動を受けること	就職や職場で不利な取扱いを受けること	医療機関で治療や入院を断られること	旅館、ホテル等において、不当な扱いを受けること	アパートなどの住宅への入居が困難なこと	その他	わからない	無回答	(%)
全体		311	147	142	125	90	69	15	13	11	-	65	6	
			47.3	45.7	40.2	28.9	22.2	4.8	4.2	3.5	-	20.9	1.9	
性別	男性	129	45.7	45.7	40.3	34.9	27.1	3.1	6.2	3.9	-	20.9	1.6	
	女性	180	48.3	45.6	40.0	24.4	17.8	6.1	2.8	3.3	-	21.1	2.2	
	無回答	2	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	-	-	-	-	-	-	
年代	18歳～20歳代	29	27.6	37.9	24.1	31.0	20.7	6.9	6.9	3.4	-	34.5	-	
	30歳代	46	43.5	41.3	32.6	32.6	10.9	2.2	-	-	-	28.3	-	
	40歳代	52	36.5	38.5	36.5	34.6	17.3	1.9	1.9	1.9	-	25.0	-	
	50歳代	56	39.3	50.0	33.9	33.9	10.7	8.9	3.6	1.8	-	25.0	3.6	
	60歳代	73	58.9	49.3	57.5	20.5	31.5	6.8	6.8	5.5	-	11.0	2.7	
	70歳以上	53	64.2	50.9	41.5	24.5	34.0	1.9	5.7	7.5	-	13.2	3.8	
	無回答	2	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	-	-	-	-	-	-	
職業	自営業者	34	38.2	47.1	50.0	26.5	35.3	11.8	5.9	5.9	-	20.6	2.9	
	農林漁業	12	33.3	33.3	58.3	33.3	50.0	-	8.3	-	-	25.0	-	
	商工・建設・サービス業	12	41.7	58.3	50.0	25.0	25.0	25.0	8.3	-	-	16.7	-	
	自由業	9	33.3	44.4	44.4	11.1	33.3	11.1	-	22.2	-	22.2	11.1	
	業種無回答	1	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	
	家族従業者	10	50.0	40.0	50.0	20.0	40.0	10.0	10.0	10.0	-	20.0	-	
	農林漁業	3	-	33.3	33.3	66.7	33.3	-	-	33.3	-	33.3	-	
	商工・建設・サービス業	4	50.0	50.0	50.0	-	25.0	-	25.0	-	-	25.0	-	
	自由業	2	100.0	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	
	業種無回答	1	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	
	雇用者	144	41.7	42.4	36.1	31.9	18.8	4.2	2.8	3.5	-	24.3	1.4	
	管理職	8	50.0	62.5	25.0	37.5	-	-	12.5	-	-	25.0	-	
	専門技術職	46	47.8	47.8	34.8	41.3	21.7	2.2	2.2	2.2	-	19.6	2.2	
	事務職	43	34.9	37.2	39.5	30.2	23.3	4.7	2.3	4.7	-	23.3	-	
	労務職	43	37.2	39.5	37.2	23.3	16.3	4.7	2.3	4.7	-	30.2	2.3	
	業種無回答	4	75.0	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-	-	-	25.0	-	
	無職	115	57.4	48.7	39.1	25.2	20.0	3.5	5.2	2.6	-	18.3	2.6	
	主婦・主夫	75	56.0	49.3	41.3	16.0	17.3	2.7	4.0	2.7	-	24.0	2.7	
	学生	12	41.7	50.0	25.0	50.0	25.0	8.3	8.3	-	-	8.3	-	
	その他の無職	25	64.0	52.0	40.0	40.0	24.0	4.0	4.0	4.0	-	8.0	4.0	
業種無回答	3	100.0	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-		
無回答	8	37.5	62.5	75.0	50.0	37.5	-	-	-	-	-	-		

Ⅱ. 結婚について

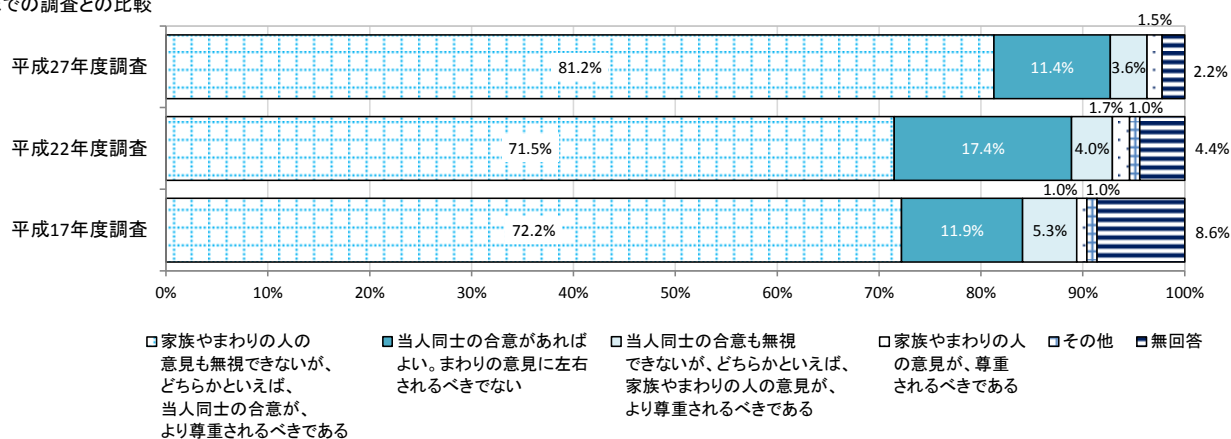
結婚に周囲の人が反対したら 「当人同士の合意尊重」 が全体で9割超

問 19 結婚は、二人の合意により成立することになっています。しかし、現実には、いろいろな理由で、家族やまわりの人たちが反対することがあります。このことについて、あなたは、どのように思いますか。

結婚にあたって家族やまわりの人たちが反対することがあることについて、4つの選択肢から選んでもらった。「家族やまわりの方の意見も無視できないが、どちらかといえば、当人同士の合意が、より尊重されるべきである」が81.2%と圧倒的に多く、「当人同士の合意があればよい。まわりの意見に左右されるべきでない」の11.4%を合わせ、当人同士の合意尊重が9割を超す。「家族やまわりの方の意見を尊重」は2つ合わせても5.1%に過ぎない。

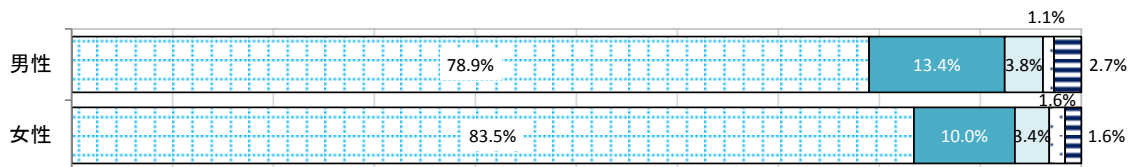
これは性別や年代、職業別で見ても大きな差異がない。

◆今までの調査との比較

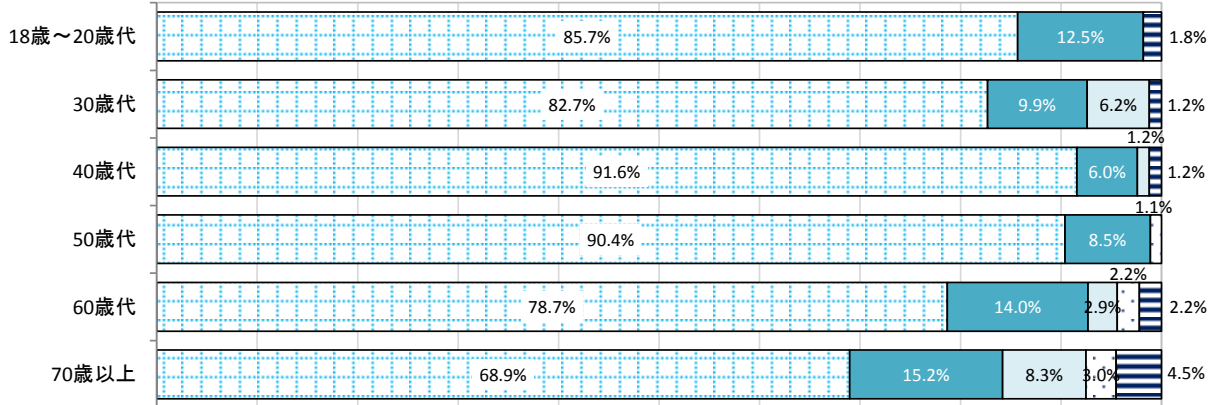


※平成17年度調査の無回答には「いずれの回答かわからない」4.1%も含む

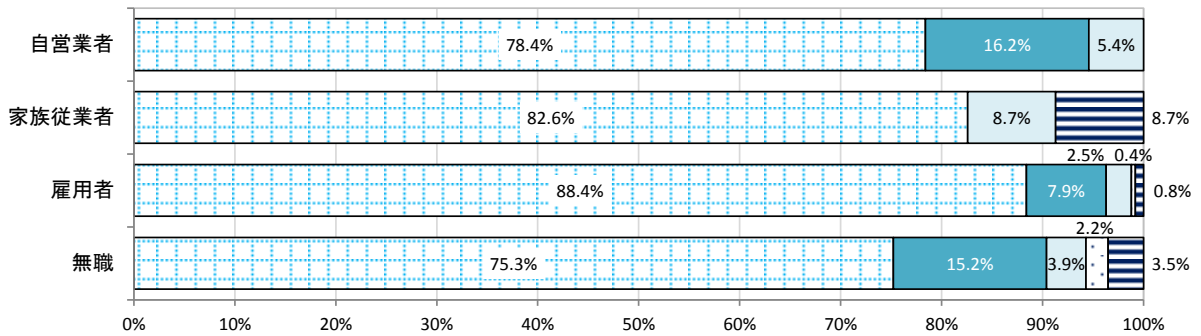
◆性別では



◆年代別では



◆職業別では



家族やまわりの人の意見も無視できないが、どちらかといえば、本人同士の合意が、より尊重されるべきである
 本人同士の合意があればよい。まわりの意見に左右されるべきでない
 本人同士の合意も無視できないが、どちらかといえば、家族やまわりの人の意見が、より尊重されるべきである
 家族やまわりの人の意見が、尊重されるべきである
 その他
 無回答

問19 結婚は、二人の合意により成立することになっています。しかし、現実には、いろいろな理由で、家族やまわりの人たちが反対することがあります。このことについて、あなたは、どのように思いますか

		(%)						
		標本数(人)	家族やまわりの人の意見も無視できないが、どちらかといえば、本人の合意が、より尊重されるべきである	本人の合意があればよい。まわりの意見に左右されるべきでない	本人の合意も無視できないが、どちらかといえば、家族やまわりの人の意見が、より尊重されるべきである	家族やまわりの人の意見が、尊重されるべきである	その他	無回答
全体		586	476	67	21	9	-	13
		100.0	81.2	11.4	3.6	1.5	-	2.2
性別	男性	261	78.9	13.4	3.8	1.1	-	2.7
	女性	321	83.5	10.0	3.4	1.6	-	1.6
	無回答	4	50.0	-	-	25.0	-	25.0
年代	18歳～20歳代	56	85.7	12.5	-	-	-	1.8
	30歳代	81	82.7	9.9	6.2	-	-	1.2
	40歳代	83	91.6	6.0	1.2	-	-	1.2
	50歳代	94	90.4	8.5	-	1.1	-	-
	60歳代	136	78.7	14.0	2.9	2.2	-	2.2
	70歳以上	132	68.9	15.2	8.3	3.0	-	4.5
	無回答	4	50.0	-	-	25.0	-	25.0
職業	自営業者	74	78.4	16.2	5.4	-	-	-
	農林漁業	27	74.1	14.8	11.1	-	-	-
	商工・建設・サービス業	28	78.6	21.4	-	-	-	-
	自由業	14	78.6	14.3	7.1	-	-	-
	業種無回答	5	100.0	-	-	-	-	-
	家族従業者	23	82.6	-	8.7	-	-	8.7
	農林漁業	7	71.4	-	14.3	-	-	14.3
	商工・建設・サービス業	9	77.8	-	11.1	-	-	11.1
	自由業	6	100.0	-	-	-	-	-
	業種無回答	1	100.0	-	-	-	-	-
	雇用者	242	88.4	7.9	2.5	0.4	-	0.8
	管理職	18	83.3	16.7	-	-	-	-
	専門技術職	73	89.0	8.2	2.7	-	-	-
	事務職	67	92.5	4.5	1.5	1.5	-	-
	労務職	79	86.1	8.9	2.5	-	-	2.5
	業種無回答	5	80.0	-	20.0	-	-	-
	無職	231	75.3	15.2	3.9	2.2	-	3.5
	主婦・主夫	139	79.9	13.7	4.3	1.4	-	0.7
	学生	19	84.2	15.8	-	-	-	-
	その他の無職	57	64.9	15.8	5.3	3.5	-	10.5
	業種無回答	16	62.5	25.0	-	6.3	-	6.3
	無回答	16	68.8	6.3	-	18.8	-	6.3

同和地区出身の人との結婚に反対されたら

「結婚する」が8割近く

(次の問 20 は、既に結婚されている方も、未婚だと仮定してお答えください。)

問 20 仮にあなたが、同和地区出身の方と恋愛し結婚しようとするとき、もしも、親や親戚から反対をされたら、あなたはどのようにしますか。次の中から、あなたのお考えに最も近いものをお選びください。

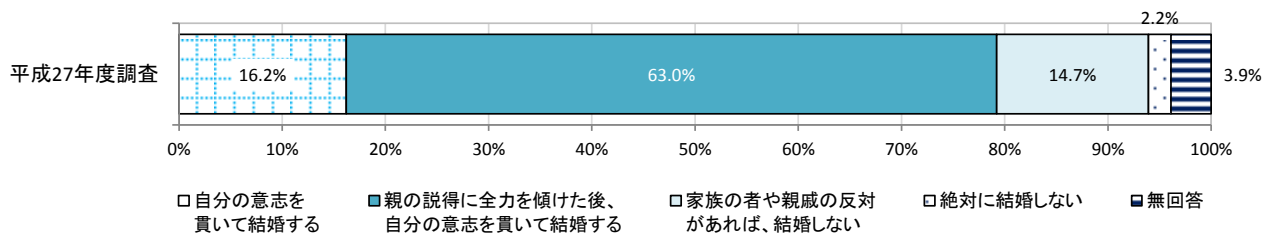
既婚者も未婚だと仮定して全員に聞いたところ、「親の説得に全力を傾けた後、自分の意志を貫いて結婚する」63.0%と「自分の意志を貫いて結婚する」16.2%を合わせ、「結婚する」が79.2%に上る。

一方「家族の者や親戚の反対があれば結婚しない」14.7%と「絶対に結婚しない」2.2%を合わせた結婚断念は16.9%だ。「結婚しない」が全体で2割を超えるのは60歳代と70歳以上、職業では商工・建設・サービス業となっている。

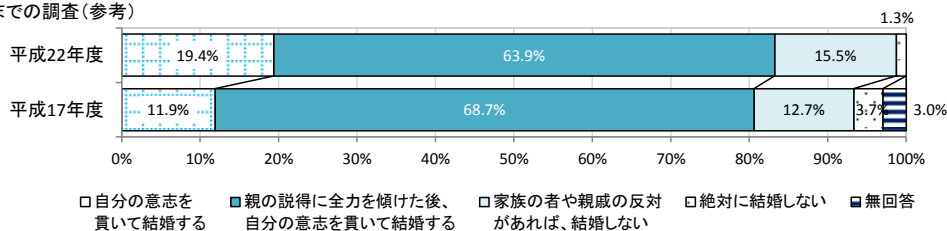
(注) 前回と前々回は未婚の方のみに聞いているので比較は適当ではないが、「結婚する」が8割を超え、今回と似た傾向だ(下の参考グラフ)。

県の調査も結婚されていない方と限定して聞いており、選択肢に入っている「わからない」が40.5%で最も多い。平成20年調査では「わからない」を含めずに聞いて「親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志を貫いて結婚する」が59.7%で断然多かった。これは今回32.6%であり、選択肢に「わからない」を含むと「意志を貫く」と答えた層の一定部分が留保へ流れることが分かる(同和問題を全く知らない人も含む)。

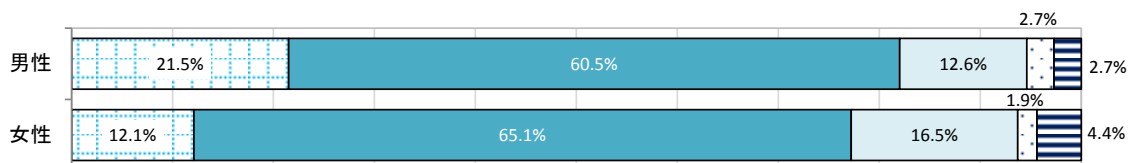
ちなみに佐久市と同じ聞き方の上田市(平成24年調査)は「親や親戚の説得に全力を傾けた後に、自分の意志を貫いて結婚する」50.4%、「自分の意志を貫いて結婚する」25.1%、「家族の者や親戚の反対があれば結婚しない」16.3%、「同和地区の人とは結婚しない」4.8%で、佐久市の方がやや意志を貫く人が多い。



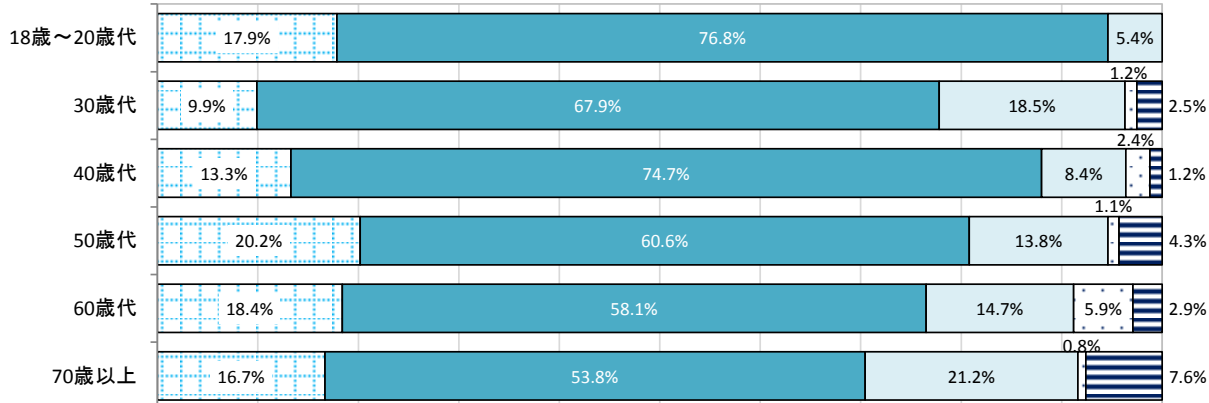
◆今までの調査(参考)



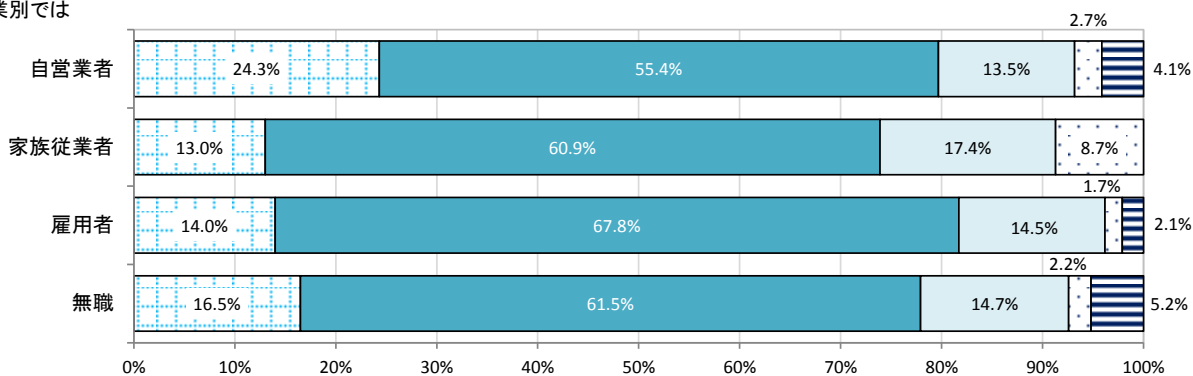
◆性別では



◆年代別では



◆職業別では



自分の意志を貫いて結婚する
 親の説得に全力を傾けた後、自分の意志を貫いて結婚する
 家族の者や親戚の反対があれば、結婚しない
 絶対に結婚しない
 無回答

問20 仮にあなたが、同和地区出身の方と恋愛し結婚しようとするとき、もしも、親や親戚から反対をされたら、あなたはどうしますか。
次の中から、あなたのお考えに最も近いものをお選びください

		標本数（人）	自分の意志を貫いて結婚する	自分の説得に全力を傾けた後、自分の意志を貫いて結婚する	結婚しない 家族の者や親戚の反対があれば、	絶対に結婚しない	無回答
全体		586	95	369	86	13	23
		100.0	16.2	63.0	14.7	2.2	3.9
性別	男性	261	21.5	60.5	12.6	2.7	2.7
	女性	321	12.1	65.1	16.5	1.9	4.4
	無回答	4	-	50.0	-	-	50.0
年代	18歳～20歳代	56	17.9	76.8	5.4	-	-
	30歳代	81	9.9	67.9	18.5	1.2	2.5
	40歳代	83	13.3	74.7	8.4	2.4	1.2
	50歳代	94	20.2	60.6	13.8	1.1	4.3
	60歳代	136	18.4	58.1	14.7	5.9	2.9
	70歳以上	132	16.7	53.8	21.2	0.8	7.6
	無回答	4	-	50.0	-	-	50.0
職業	自営業者	74	24.3	55.4	13.5	2.7	4.1
	農林漁業	27	14.8	74.1	7.4	-	3.7
	商工・建設・サービス業	28	32.1	35.7	21.4	3.6	7.1
	自由業	14	21.4	64.3	7.1	7.1	-
	業種無回答	5	40.0	40.0	20.0	-	-
	家族従業者	23	13.0	60.9	17.4	8.7	-
	農林漁業	7	28.6	71.4	-	-	-
	商工・建設・サービス業	9	-	44.4	44.4	11.1	-
	自由業	6	-	83.3	-	16.7	-
	業種無回答	1	100.0	-	-	-	-
	雇用者	242	14.0	67.8	14.5	1.7	2.1
	管理職	18	33.3	55.6	11.1	-	-
	専門技術職	73	15.1	69.9	12.3	1.4	1.4
	事務職	67	13.4	65.7	16.4	3.0	1.5
	労務職	79	8.9	70.9	15.2	1.3	3.8
	業種無回答	5	20.0	60.0	20.0	-	-
	無職	231	16.5	61.5	14.7	2.2	5.2
	主婦・主夫	139	10.8	66.9	17.3	1.4	3.6
	学生	19	21.1	68.4	5.3	5.3	-
	その他の無職	57	24.6	52.6	8.8	3.5	10.5
	業種無回答	16	31.3	37.5	25.0	-	6.3
	無回答	16	12.5	50.0	18.8	-	18.8

子どもが同和地区出身の人と結婚

「認めない」は8.7%

(次の問 21 は、お子さんが既に結婚されていたり、今現在お子さんがいない方も、ご自分のお子さんが、これから結婚すると仮定してお答えください。)

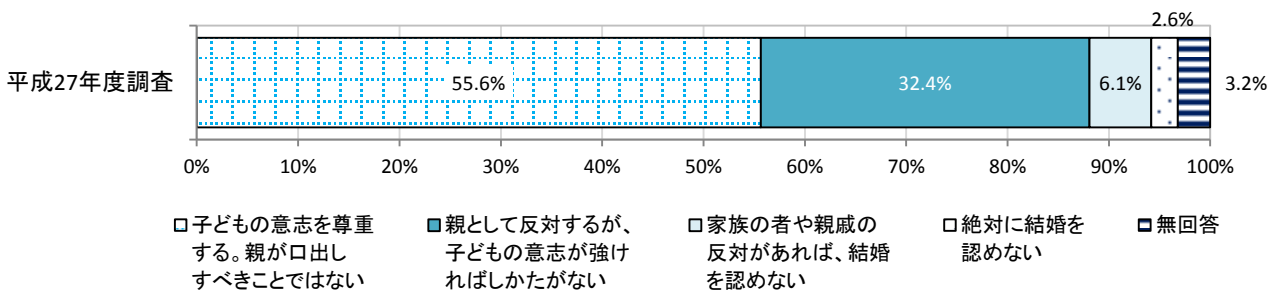
問 21 仮にあなたのお子さんが、同和地区出身者の方と結婚しようとするとき、あなたはどうしますか。次の中から、あなたのお考えに最も近いものをお選びください。

この質問も子どもがいない方も含め全員に聞いたところ、「子どもの意志を尊重する。親が口出しすべきことではない」が 55.6%、「親として反対するが、子どもの意志が強ければしかたがない」32.4%と合わせ 88%が容認している。「家族の者や親戚の反対があれば、結婚を認めない」6.1%、「絶対に結婚を認めない」が 2.6%で「認めない」のは 8.7%である。

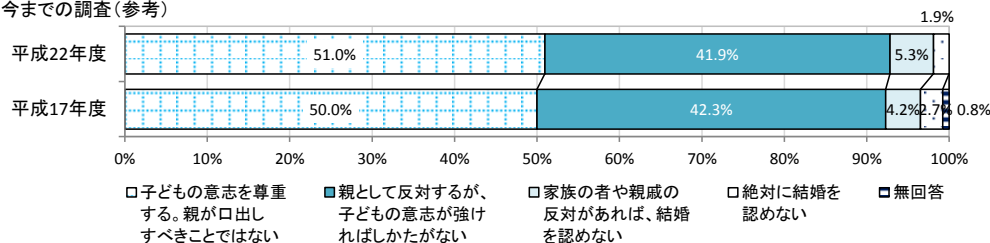
ただ 70 歳以上は「子どもの意志を尊重する。親が口出しすべきことではない」と「親として反対するが、子どもの意志が強ければしかたがない」とする消極的な容認が同率の 40.2%で、他の年代と意識の違いが見られる。

(注) この設問も前回と前々回は既婚の方のみに聞いているが、結婚容認が 9 割を超える (問 20 と同様、対象者が異なるので下のグラフは参考)。

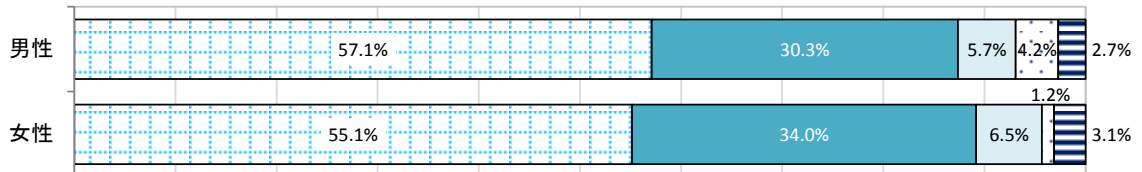
県の調査は結婚していないお子さんをお持ちの方に限定して聞き「子どもの意志を尊重する。親が口出しすべきことではない」55.1%、「親としては反対するが、子どもの意志が強ければしかたがない」15.1%、「わからない」20.4%となっている。これも「わからない」を選択肢に入れたため、反対がそちらへ流れた可能性がある。佐久市と同じ聞き方の上田市の調査は「子どもの意志を尊重する」53.5%、「親としては反対であるが、子どもの意志が強ければ、結婚を認める」20.8%、「相手の出身は問題にしない」17.9%で結婚を認めないは合計 5.7%。結婚容認でまとめると、佐久市と上田市はほぼ 9 割前後となる。



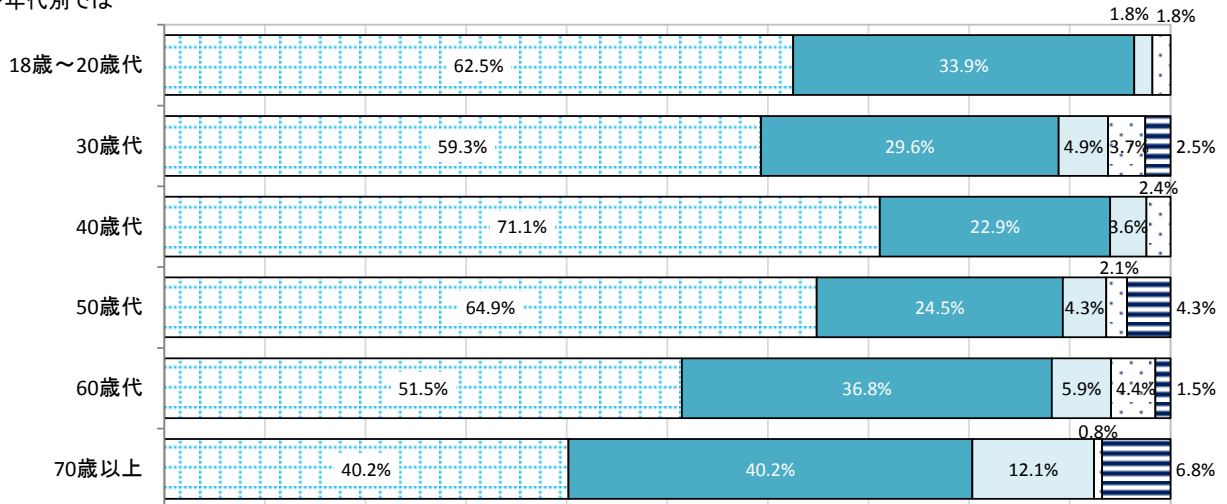
◆今までの調査(参考)



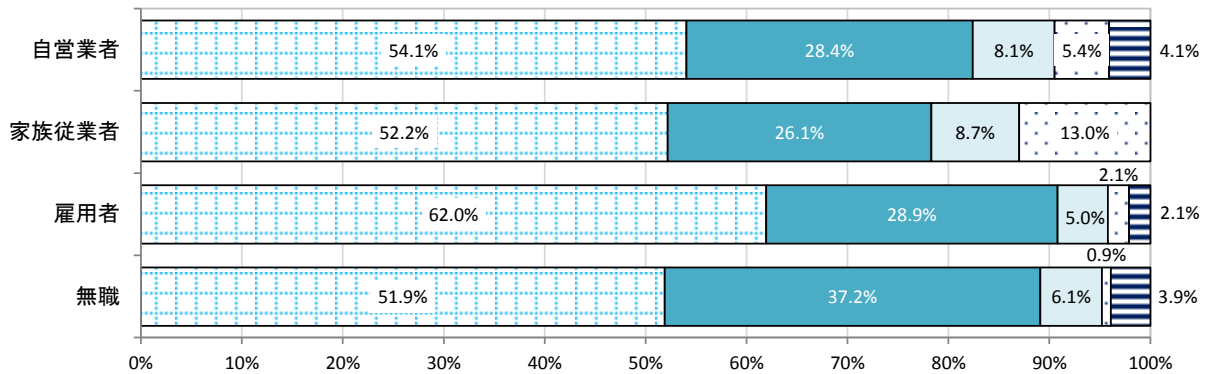
◆性別では



◆年代別では



◆職業別では



□子どもの意志を尊重する。親が口出すべきことではない

■親として反対するが、子どもの意志が強ければかたがない

□家族の者や親戚の反対があれば、結婚を認めない

□絶対に結婚を認めない

■無回答

問21 仮にあなたのお子さんが、同和地区出身者の方と結婚しようとするとき、あなたはどうしますか。
次の中から、あなたのお考えに最も近いものをお選びください

		標本数 (人)	口出 しもの 意志を 尊重す る。親 が	親と して反 対する が、子 ども の意 志が 強け れば しか たが ない	結 婚を 認め ない	家 族の 者や 親戚 の反 対が あれ ば、	絶 対に 結 婚を 認め ない	無 回 答
全体		586	326	190	36	15	19	
		100.0	55.6	32.4	6.1	2.6	3.2	
性別	男性	261	57.1	30.3	5.7	4.2	2.7	
	女性	321	55.1	34.0	6.5	1.2	3.1	
	無回答	4	-	50.0	-	-	50.0	
年代	18歳～20歳代	56	62.5	33.9	1.8	1.8	-	
	30歳代	81	59.3	29.6	4.9	3.7	2.5	
	40歳代	83	71.1	22.9	3.6	2.4	-	
	50歳代	94	64.9	24.5	4.3	2.1	4.3	
	60歳代	136	51.5	36.8	5.9	4.4	1.5	
	70歳以上	132	40.2	40.2	12.1	0.8	6.8	
	無回答	4	-	50.0	-	-	50.0	
職業	自営業者	74	54.1	28.4	8.1	5.4	4.1	
	農林漁業	27	40.7	44.4	7.4	-	7.4	
	商工・建設・サービス業	28	64.3	17.9	7.1	7.1	3.6	
	自由業	14	57.1	21.4	7.1	14.3	-	
	業種無回答	5	60.0	20.0	20.0	-	-	
	家族従業者	23	52.2	26.1	8.7	13.0	-	
	農林漁業	7	100.0	-	-	-	-	
	商工・建設・サービス業	9	22.2	44.4	11.1	22.2	-	
	自由業	6	50.0	33.3	-	16.7	-	
	業種無回答	1	-	-	100.0	-	-	
	雇用者	242	62.0	28.9	5.0	2.1	2.1	
	管理職	18	61.1	27.8	5.6	5.6	-	
	専門技術職	73	61.6	30.1	4.1	1.4	2.7	
	事務職	67	73.1	16.4	7.5	1.5	1.5	
	労務職	79	54.4	36.7	3.8	2.5	2.5	
	業種無回答	5	40.0	60.0	-	-	-	
	無職	231	51.9	37.2	6.1	0.9	3.9	
	主婦・主夫	139	52.5	38.8	6.5	-	2.2	
	学生	19	52.6	42.1	-	5.3	-	
	その他の無職	57	49.1	35.1	5.3	1.8	8.8	
	業種無回答	16	56.3	25.0	12.5	-	6.3	
	無回答	16	25.0	43.8	12.5	6.3	12.5	

Ⅲ. 人権侵害について

人権が侵害された経験 「ある」が3割

問 22 あなたは、今までに、ご自分の人権が侵害されたと思っただことがありますか。

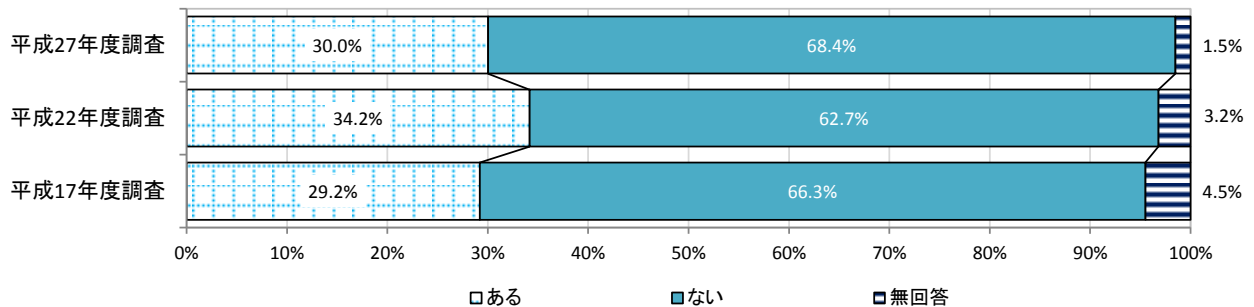
自分の人権が侵害されたと思っただことが「ある」30.0%、「ない」は 68.4%となっている。

「ある」は女性（34.0%）が男性（25.3%）より多い。また若い年代ほど多い傾向で、18歳～20歳代が42.9%に対し70歳以上は20.5%と20ポイント以上の開きがある。職業別では雇用者の労務職が45.6%で最も多い。

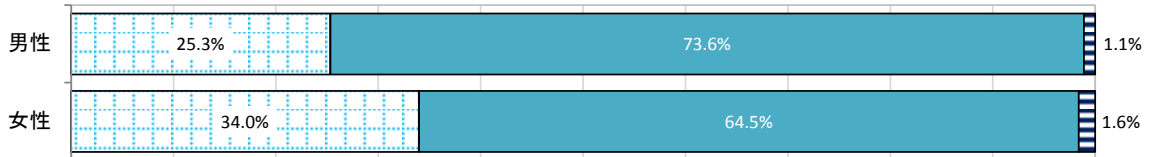
前回調査と比べると「ある」が4ポイント減で、「ない」が6ポイント近く増えている。

（注）内閣府の調査は今までに人権が侵害されたと思っただことが「ある」16.6%、「ない」83.4%。県の調査は最近5年間でと限定して聞き「ある」24.0%、「ない」74.2%だ。長野県内の方が人権侵害されたと思っただている人が多いようだ。

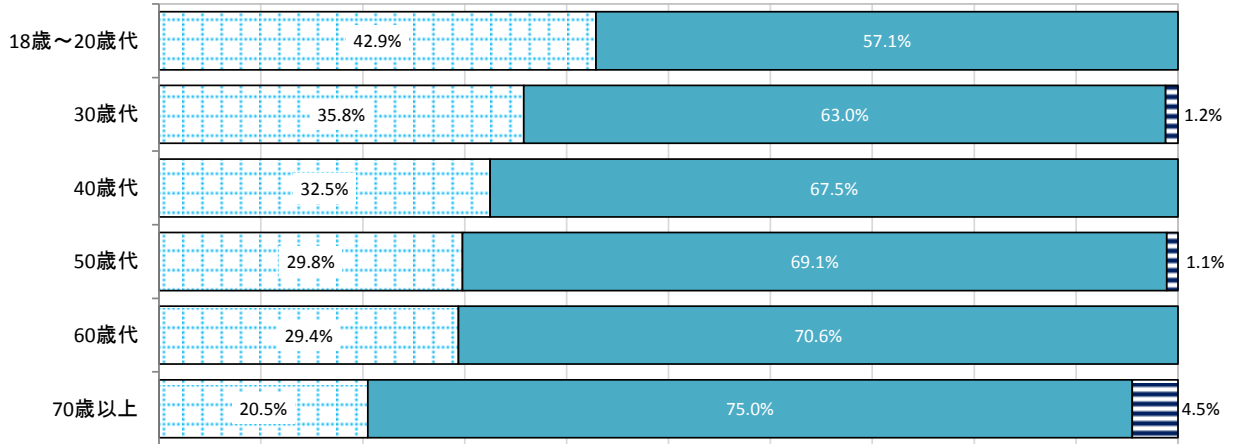
◆今までの調査との比較



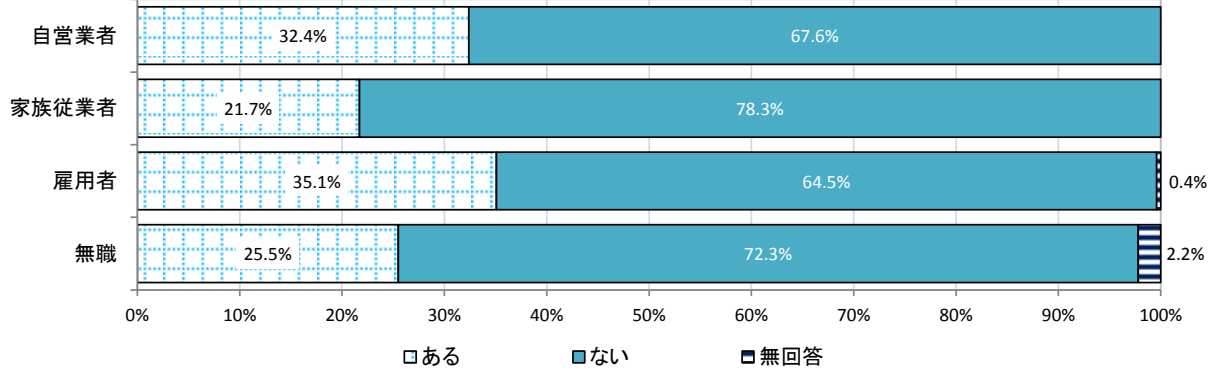
◆性別では



◆年代別では



◆職業別では



問22 あなたは、今までに、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか

(%)

		標本数 (人)	ある	ない	無回答
全体		586	176	401	9
		100.0	30.0	68.4	1.5
性別	男性	261	25.3	73.6	1.1
	女性	321	34.0	64.5	1.6
	無回答	4	25.0	50.0	25.0
年代	18歳～20歳代	56	42.9	57.1	-
	30歳代	81	35.8	63.0	1.2
	40歳代	83	32.5	67.5	-
	50歳代	94	29.8	69.1	1.1
	60歳代	136	29.4	70.6	-
	70歳以上	132	20.5	75.0	4.5
	無回答	4	25.0	50.0	25.0
職業	自営業者	74	32.4	67.6	-
	農林漁業	27	29.6	70.4	-
	商工・建設・サービス業	28	32.1	67.9	-
	自由業	14	42.9	57.1	-
	業種無回答	5	20.0	80.0	-
	家族従業者	23	21.7	78.3	-
	農林漁業	7	28.6	71.4	-
	商工・建設・サービス業	9	-	100.0	-
	自由業	6	50.0	50.0	-
	業種無回答	1	-	100.0	-
	雇用者	242	35.1	64.5	0.4
	管理職	18	27.8	72.2	-
	専門技術職	73	31.5	68.5	-
	事務職	67	29.9	70.1	-
	労務職	79	45.6	53.2	1.3
	業種無回答	5	20.0	80.0	-
	無職	231	25.5	72.3	2.2
	主婦・主夫	139	27.3	71.9	0.7
	学生	19	31.6	68.4	-
	その他の無職	57	24.6	70.2	5.3
	業種無回答	16	6.3	87.5	6.3
	無回答	16	18.8	62.5	18.8

どのような人権侵害

「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が6割

問23 (問22で「① ある」とお答えの方にお尋ねします)それは、どのような人権侵害ですか。差し支えなければお聞かせください。次の中から、あてはまるものをすべて挙げてください。(該当する番号の左側に○印をお付けください)

「ある」と答えた人(176人)に聞いた人権侵害の内容(複数回答)は「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が58.5%で飛び抜けて多い。とりわけ若い18歳~20歳代(83.3%)と30歳代(62.1%)、職業では雇用者の事務職(80.0%)が指摘している(標本数が少ないものは除く)。

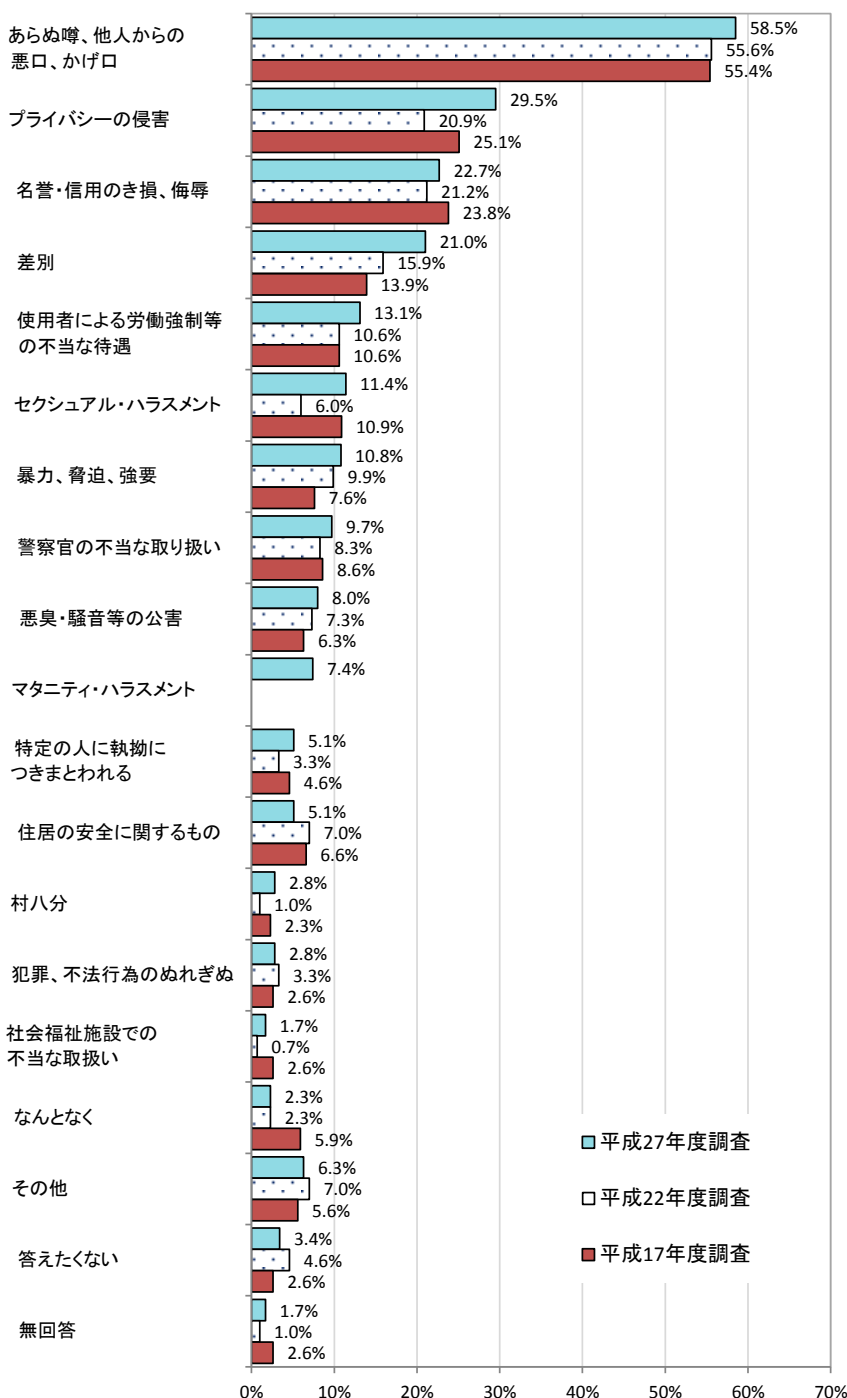
次いで「プライバシーの侵害」29.5%、「名誉・信用のき損、侮辱」22.7%、「差別」21.0%が挙げられ、この4項目が20%以上となっている。

女性は「セクシュアル・ハラスメント」を16.5%(前回10.2%)で同率4位、「マタニティ・ハラスメント」は11.0%(前は項目なし)で7番目に挙げている。

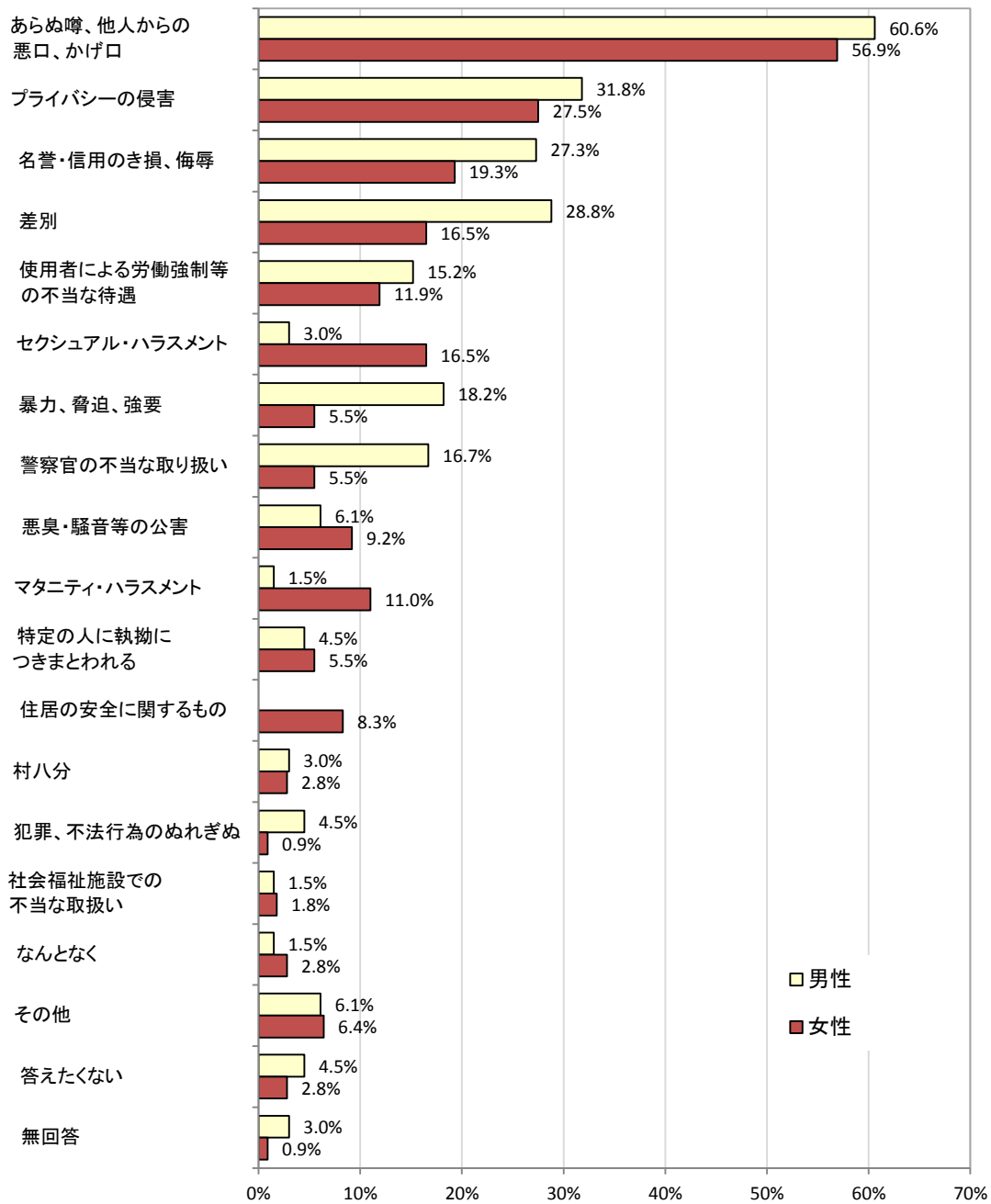
全体的には前回調査と上位項目に大きな変化はない。

(注)内閣府はどのような場合と聞き、上位3項目は「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」47.4%、「職場での嫌がらせ」24.2%、「プライバシーの侵害」20.0%。県はどのようなものと聞き、「悪口、噂」45.4%、「パワー・ハラスメント」31.1%、「差別待遇」26.1%となっている。内閣府は選択肢に「パワー・ハラスメント」がないなど、調査により文言も違っているので、単純には比較できない。

【今までの調査との比較】



【性別】



問23 (問22で「ある」とお答えの方にお尋ねします)それは、どのような人権侵害ですか。差し支えなければお聞かせください。次の中から、あてはまるものをすべて挙げてください

(%)

	標本数(人)	あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	プライバシーの侵害	名誉・信用のき損、侮辱	差別	使用者による労働強制等の不当な待遇	セクシユアル・ハラスメント	暴力、脅迫、強要	警察官の不当な取り扱い	悪臭・騒音等の公害	マタニティ・ハラスメント	特定の人に執拗につきまとわれる	住居の安全に関するもの	村八分	犯罪、不法行為のぬれぎぬ	社会福祉施設での不当な取扱い	なんとなく	その他	答えたくない	無回答
全体	176	103	52	40	37	23	20	19	17	14	13	9	9	5	5	3	4	11	6	3
		58.5	29.5	22.7	21.0	13.1	11.4	10.8	9.7	8.0	7.4	5.1	5.1	2.8	2.8	1.7	2.3	6.3	3.4	1.7
性別	男性	66	60.6	31.8	27.3	28.8	15.2	3.0	18.2	16.7	6.1	1.5	4.5	-	3.0	4.5	1.5	6.1	4.5	3.0
	女性	109	56.9	27.5	19.3	16.5	11.9	16.5	5.5	5.5	9.2	11.0	5.5	8.3	2.8	0.9	1.8	2.8	6.4	2.8
	無回答	1	100.0	100.0	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
年代	18歳~20歳代	24	83.3	25.0	33.3	25.0	8.3	12.5	8.3	-	12.5	12.5	4.2	-	-	-	-	12.5	-	-
	30歳代	29	62.1	27.6	20.7	3.4	17.2	6.9	17.2	24.1	6.9	17.2	6.9	3.4	3.4	-	3.4	3.4	3.4	3.4
	40歳代	27	51.9	22.2	33.3	25.9	25.9	22.2	14.8	11.1	11.1	11.1	3.7	3.7	3.7	-	-	11.1	-	-
	50歳代	28	57.1	32.1	28.6	28.6	14.3	25.0	14.3	-	14.3	7.1	7.1	3.6	-	-	3.6	7.1	-	3.6
	60歳代	40	50.0	32.5	12.5	20.0	7.5	5.0	2.5	7.5	5.0	-	7.5	5.0	-	5.0	-	5.0	5.0	7.5
	70歳以上	27	51.9	33.3	11.1	25.9	7.4	-	7.4	14.8	-	-	-	11.1	7.4	3.7	7.4	-	-	7.4
	無回答	1	100.0	100.0	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
職業	自営業者	24	54.2	45.8	16.7	29.2	4.2	-	4.2	20.8	4.2	-	8.3	-	4.2	8.3	-	-	4.2	4.2
	農林漁業	8	62.5	25.0	12.5	25.0	-	-	-	37.5	-	-	-	-	-	-	-	-	12.5	-
	商工・建設・サービス業	9	44.4	44.4	22.2	22.2	11.1	-	-	11.1	-	-	22.2	-	-	11.1	-	-	-	11.1
	自由業	6	50.0	66.7	16.7	33.3	-	-	16.7	16.7	-	-	-	16.7	16.7	-	-	16.7	-	16.7
	業種無回答	1	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	家族従業者	5	80.0	100.0	40.0	40.0	20.0	40.0	20.0	20.0	-	20.0	-	40.0	-	-	-	20.0	-	-
	農林漁業	2	100.0	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-
	商工・建設・サービス業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自由業	3	66.7	100.0	66.7	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-	33.3	-	-
	業種無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	雇用者	85	62.4	23.5	27.1	17.6	15.3	12.9	14.1	10.6	11.8	8.2	2.4	3.5	1.2	1.2	1.2	2.4	4.7	2.4
	管理職	5	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	-	40.0	20.0	20.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-
	専門技術職	23	60.9	26.1	21.7	13.0	8.7	21.7	17.4	-	13.0	17.4	-	-	-	-	-	8.7	4.3	4.3
	事務職	20	80.0	20.0	35.0	20.0	15.0	5.0	15.0	15.0	10.0	-	-	5.0	-	-	-	-	-	-
	労務職	36	55.6	22.2	27.8	19.4	19.4	11.1	13.9	11.1	11.1	5.6	5.6	2.8	2.8	2.8	2.8	-	8.3	5.6
	業種無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無職	59	50.8	23.7	16.9	20.3	13.6	11.9	5.1	3.4	3.4	10.2	6.8	8.5	1.7	1.7	3.4	3.4	8.5	5.1
	主婦・主夫	38	44.7	23.7	10.5	18.4	10.5	13.2	-	-	2.6	13.2	7.9	5.3	2.6	-	2.6	2.6	5.3	7.9
	学生	6	100.0	16.7	33.3	50.0	16.7	16.7	33.3	16.7	-	16.7	16.7	16.7	-	-	-	-	16.7	-
	その他の無職	14	42.9	21.4	21.4	14.3	21.4	7.1	7.1	7.1	7.1	-	-	14.3	-	-	7.1	7.1	14.3	-
	業種無回答	1	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	無回答	3	100.0	66.7	33.3	33.3	-	-	66.7	-	-	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-

だれに相談？ 半数近くが「友人、同僚、上司」

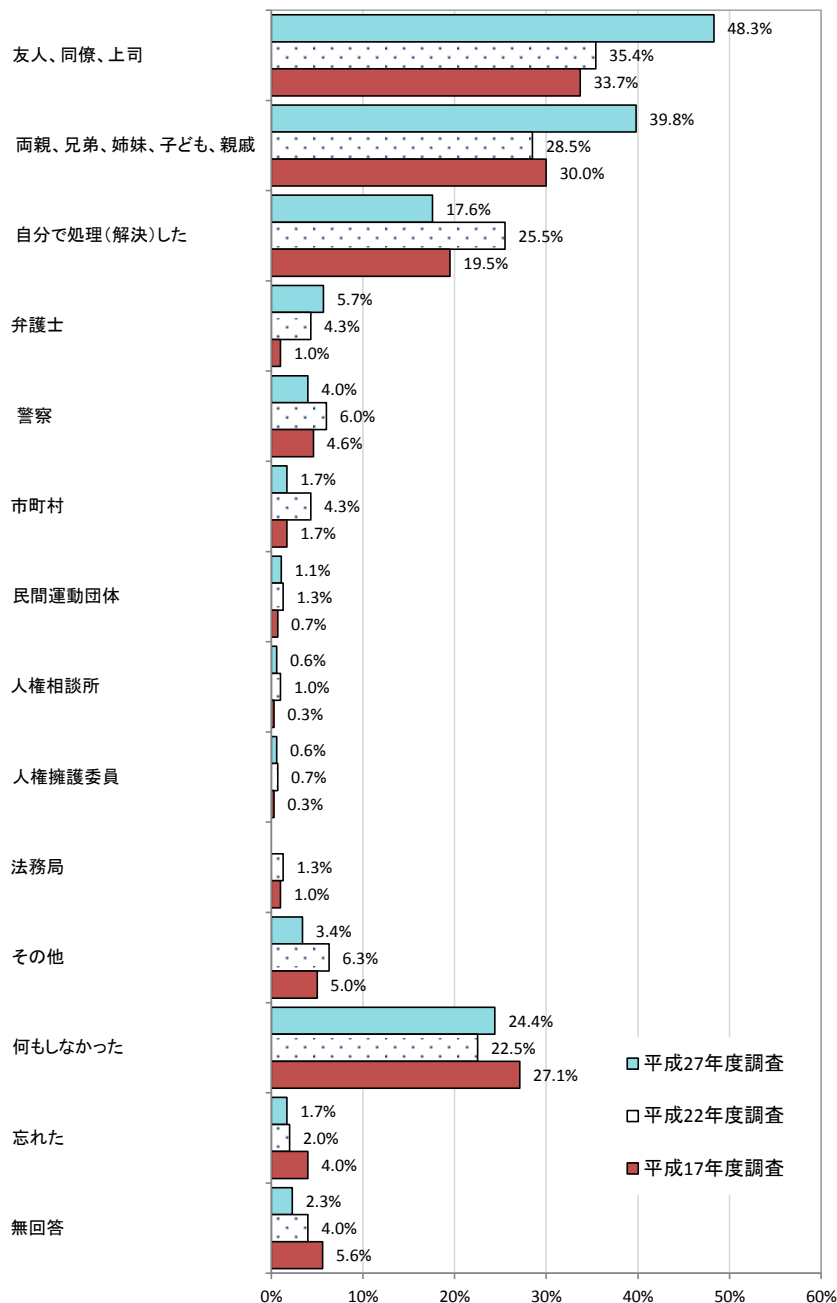
問 24 (問 22 で「① ある」とお答えの方にお尋ねします)そのとき、だれかに相談しましたか。次の中から、あてはまるものをすべて挙げてください。(該当する番号の左側に○印をお付けください)

問 22 で「ある」と答えた人 (176 人) に聞いた相談相手 (複数回答) は「友人、同僚、上司」48.3%、「両親、兄弟、姉妹、子ども、親戚」39.8%、「自分で処理 (解決した)」が17.6%で、行政関係 (警察、市町村、人権相談所など) はごく少ない。「何もしなかった」は24.4%。

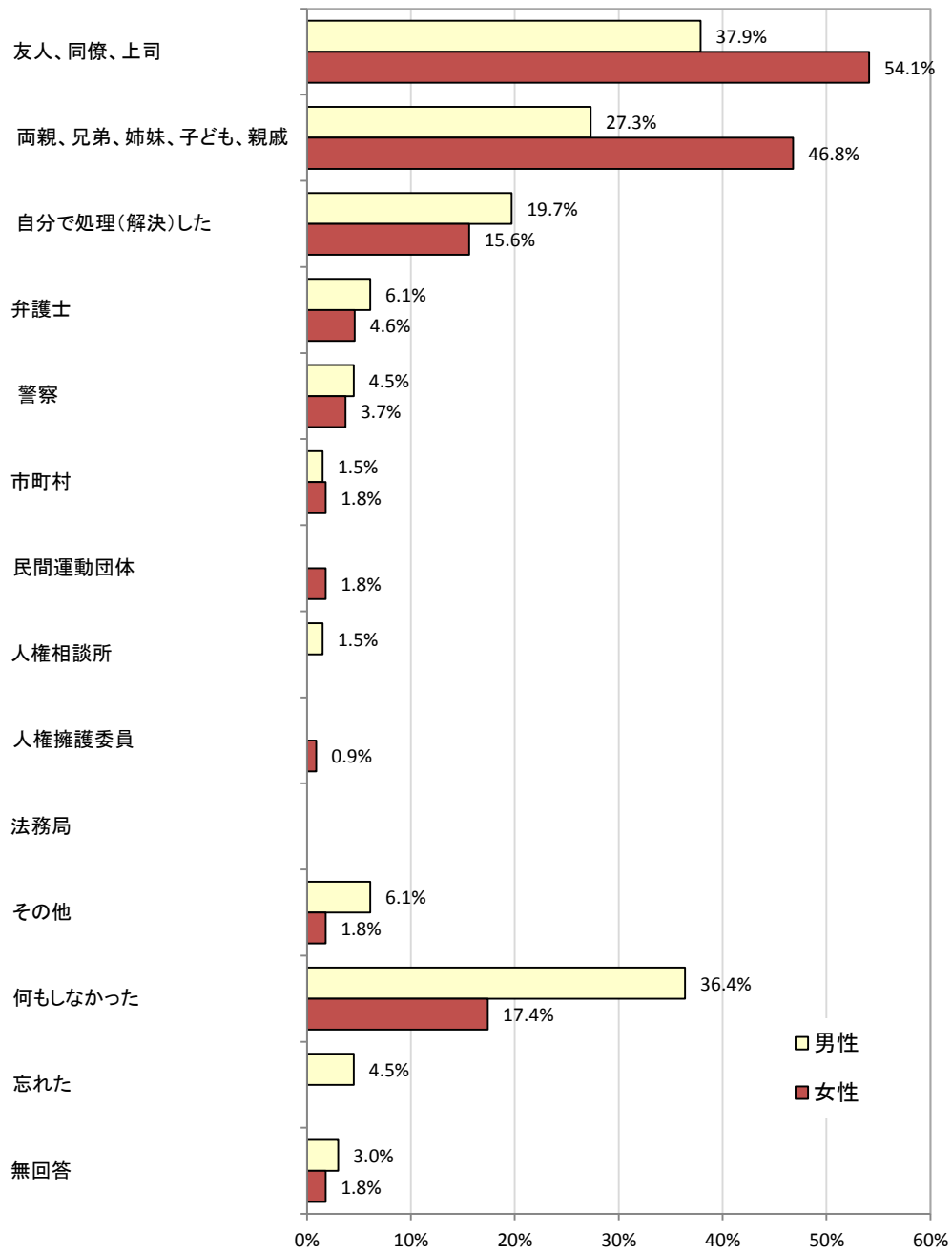
「友人、同僚、上司」は女性、18 歳～20 歳代、30 歳代、50 歳代、雇用者で半数を超える。「何もしなかった」は男性、40 歳代、自営業者が3割を超え高めた。

前回に比べ上位2項目が10ポイント以上増加、「自分で処理」は8ポイント減少している。

【今までの調査との比較】



【性別】



問24 (問22で「ある」とお答えの方にお尋ねします)そのとき、だれかに相談しましたか。次の中から、あてはまるものをすべて挙げてください

(%)

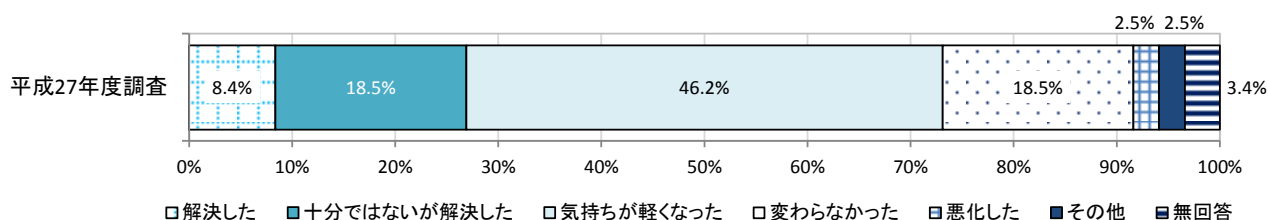
		標本数 (人)	友人、 同僚、 上司	両親、 兄弟、 姉妹、 子ども、 親戚	自分で 処理(解決) した	弁 護 士	警 察	市 町 村	民 間 運 動 団 体	人 権 相 談 所	人 権 擁 護 委 員	法 務 局	そ の 他	何 も し な か つ た	忘 れ た	無 回 答	
全体		176	85	70	31	10	7	3	2	1	1	-	6	43	3	4	
			48.3	39.8	17.6	5.7	4.0	1.7	1.1	0.6	0.6	-	3.4	24.4	1.7	2.3	
性別	男性	66	37.9	27.3	19.7	6.1	4.5	1.5	-	1.5	-	-	6.1	36.4	4.5	3.0	
	女性	109	54.1	46.8	15.6	4.6	3.7	1.8	1.8	-	0.9	-	1.8	17.4	-	1.8	
	無回答	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
年代	18歳～20歳代	24	58.3	45.8	33.3	-	-	-	-	-	-	-	16.7	12.5	8.3	-	
	30歳代	29	55.2	48.3	6.9	3.4	3.4	-	-	-	-	-	3.4	20.7	3.4	3.4	
	40歳代	27	48.1	37.0	22.2	-	7.4	7.4	-	-	-	-	-	33.3	-	-	
	50歳代	28	50.0	39.3	17.9	7.1	3.6	-	3.6	-	-	-	-	21.4	-	3.6	
	60歳代	40	37.5	35.0	15.0	10.0	2.5	2.5	2.5	-	-	-	-	27.5	-	2.5	
	70歳以上	27	44.4	33.3	11.1	7.4	7.4	-	-	3.7	3.7	-	3.7	29.6	-	3.7	
	無回答	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
職業	自営業者	24	25.0	33.3	12.5	8.3	-	-	-	4.2	-	-	-	41.7	4.2	8.3	
	農林漁業	8	37.5	37.5	12.5	12.5	-	-	-	12.5	-	-	-	37.5	-	-	
	商工・建設・サービス業	9	33.3	44.4	22.2	11.1	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	11.1	
	自由業	6	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	16.7	16.7	
	業種無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	
	家族従業者	5	40.0	60.0	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	20.0	-	-	
	農林漁業	2	50.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	商工・建設・サービス業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	自由業	3	33.3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-	-	
	業種無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	雇用者	85	56.5	41.2	18.8	4.7	4.7	1.2	-	-	1.2	-	3.5	21.2	2.4	1.2	
	管理職	5	60.0	20.0	60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-	-	
	専門技術職	23	60.9	43.5	17.4	4.3	-	-	-	-	-	-	4.3	17.4	4.3	4.3	
	事務職	20	75.0	40.0	20.0	5.0	15.0	5.0	-	-	-	-	10.0	5.0	-	-	
	労務職	36	41.7	41.7	13.9	5.6	2.8	-	-	-	2.8	-	-	33.3	2.8	-	
	業種無回答	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	無職	59	45.8	39.0	18.6	5.1	5.1	1.7	3.4	-	-	-	-	5.1	22.0	-	1.7
	主婦・主夫	38	47.4	34.2	15.8	7.9	2.6	-	5.3	-	-	-	-	5.3	21.1	-	2.6
	学生	6	50.0	50.0	16.7	-	16.7	-	-	-	-	-	-	16.7	16.7	-	-
	その他の無職	14	35.7	50.0	21.4	-	7.1	7.1	-	-	-	-	-	-	28.6	-	-
業種無回答	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
無回答	3	66.7	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-		

相談した結果 「気持ちが軽くなった」 46.2%

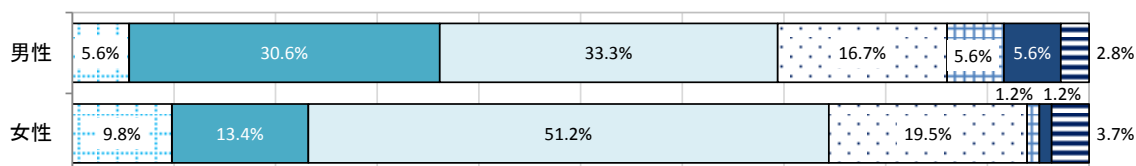
問 25 (問 24 で、どなたかに相談された方にお尋ねします) 相談をした結果はどうか。

実際に相談した人(119人)に聞いたその結果は「気持ちが軽くなった」が46.2%で、精神面を挙げた人が最も多い。「解決した」8.4%と「十分ではないが解決した」18.5%を合わせ26.9%が良い結果となった。「悪化した」は2.5%で、「変わらなかった」が18.5%。

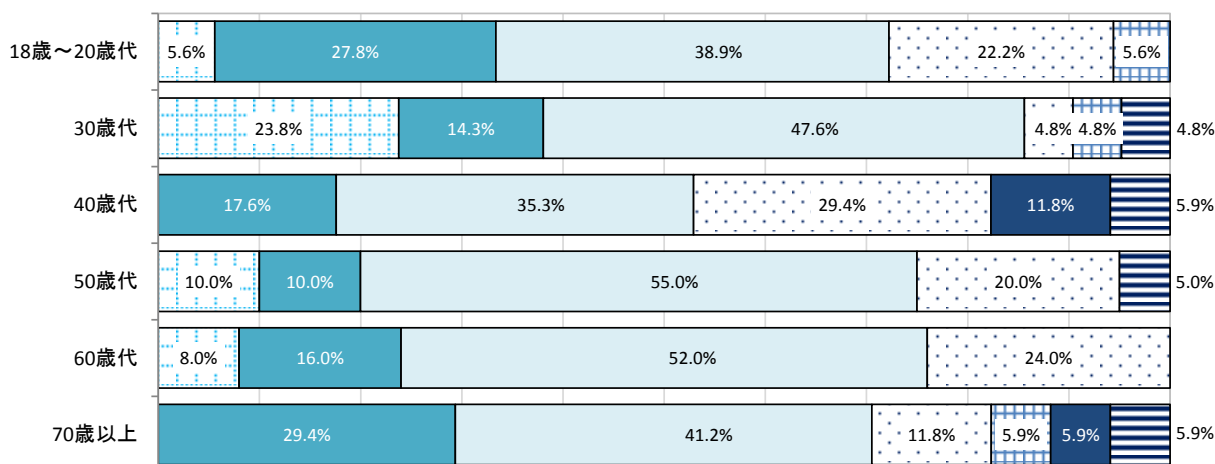
女性は「気持ちが軽くなった」(51.2%)に集中しており、解決率は男性より13ポイント低い。



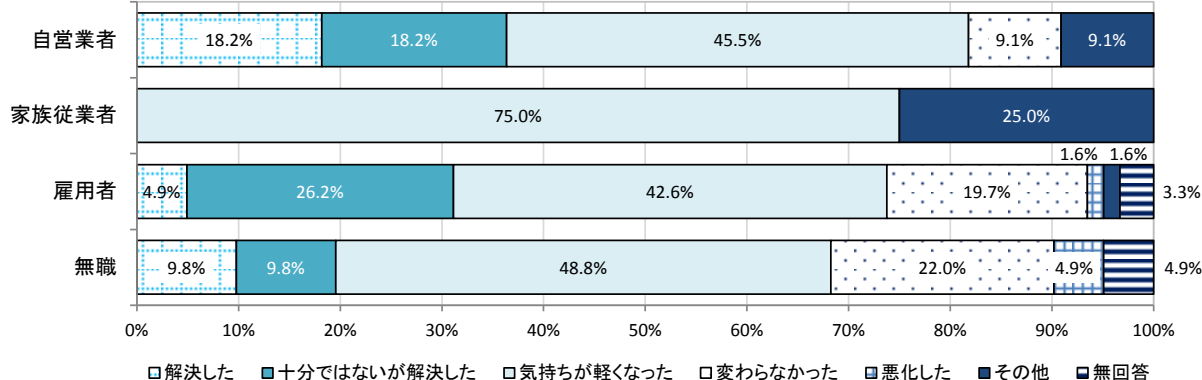
◆性別では



◆年代別では



◆職業別では



問25(問24で、どなたかに相談された方にお尋ねします)相談をした結果はどうか

(%)

		標本数(人)	解決した	十分ではないが解決した	気持ちが軽くなった	変わらなかった	悪化した	その他	無回答
全体		119	10	22	55	22	3	3	4
		100.0	8.4	18.5	46.2	18.5	2.5	2.5	3.4
性別	男性	36	5.6	30.6	33.3	16.7	5.6	5.6	2.8
	女性	82	9.8	13.4	51.2	19.5	1.2	1.2	3.7
	無回答	1	-	-	100.0	-	-	-	-
年代	18歳~20歳代	18	5.6	27.8	38.9	22.2	5.6	-	-
	30歳代	21	23.8	14.3	47.6	4.8	4.8	-	4.8
	40歳代	17	-	17.6	35.3	29.4	-	11.8	5.9
	50歳代	20	10.0	10.0	55.0	20.0	-	-	5.0
	60歳代	25	8.0	16.0	52.0	24.0	-	-	-
	70歳以上	17	-	29.4	41.2	11.8	5.9	5.9	5.9
	無回答	1	-	-	100.0	-	-	-	-
職業	自営業者	11	18.2	18.2	45.5	9.1	-	9.1	-
	農林漁業	5	-	40.0	40.0	-	-	20.0	-
	商工・建設・サービス業	5	20.0	-	60.0	20.0	-	-	-
	自由業	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	業種無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
	家族従業者	4	-	-	75.0	-	-	25.0	-
	農林漁業	2	-	-	100.0	-	-	-	-
	商工・建設・サービス業	-	-	-	-	-	-	-	-
	自由業	2	-	-	50.0	-	-	50.0	-
	業種無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
	雇用者	61	4.9	26.2	42.6	19.7	1.6	1.6	3.3
	管理職	3	-	-	66.7	33.3	-	-	-
	専門技術職	16	12.5	25.0	31.3	12.5	6.3	6.3	6.3
	事務職	19	-	26.3	47.4	26.3	-	-	-
	労務職	22	4.5	27.3	45.5	18.2	-	-	4.5
	業種無回答	1	-	100.0	-	-	-	-	-
	無職	41	9.8	9.8	48.8	22.0	4.9	-	4.9
	主婦・主夫	26	7.7	7.7	57.7	15.4	3.8	-	7.7
	学生	5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	-
	その他の無職	9	-	11.1	44.4	44.4	-	-	-
	業種無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	無回答	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-

インターネット悪用の人権侵害

「女性を誹謗・中傷」15.2%

問 26 あなたは、ここ1、2年の間で、インターネットを悪用した人権侵害事例を、見聞きしたことがありますか。次の中から、あてはまるものをすべて挙げてください。(該当する番号の左側に○印をお付けください)

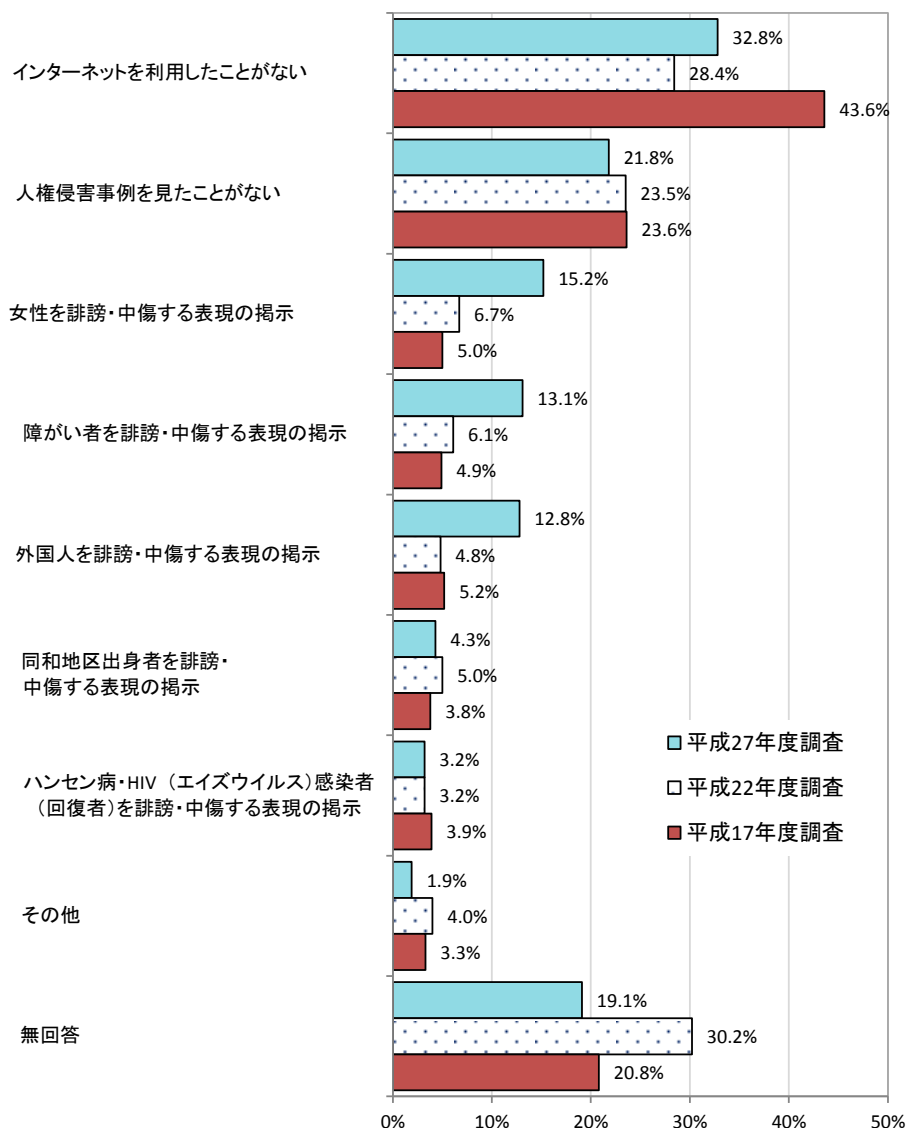
ここ1、2年で見聞きしたことがあるインターネット悪用による人権侵害（複数回答）は二桁を超えたのが「女性を誹謗・中傷する表現の掲示」15.2%、「障がい者を誹謗・中傷する表現の掲示」13.1%、「外国人を誹謗・中傷する表現の掲示」12.8%の3項目である。この3項目とも前回調査より倍増している。また18歳～20歳代の指摘が多く、インターネットの利用度と関係している。

「インターネットを利用したことがない」(32.8%)と無回答(19.1%)を合わせると半数を超えており、高齢層を中心にインターネットによる人権侵害の把握は多くない。

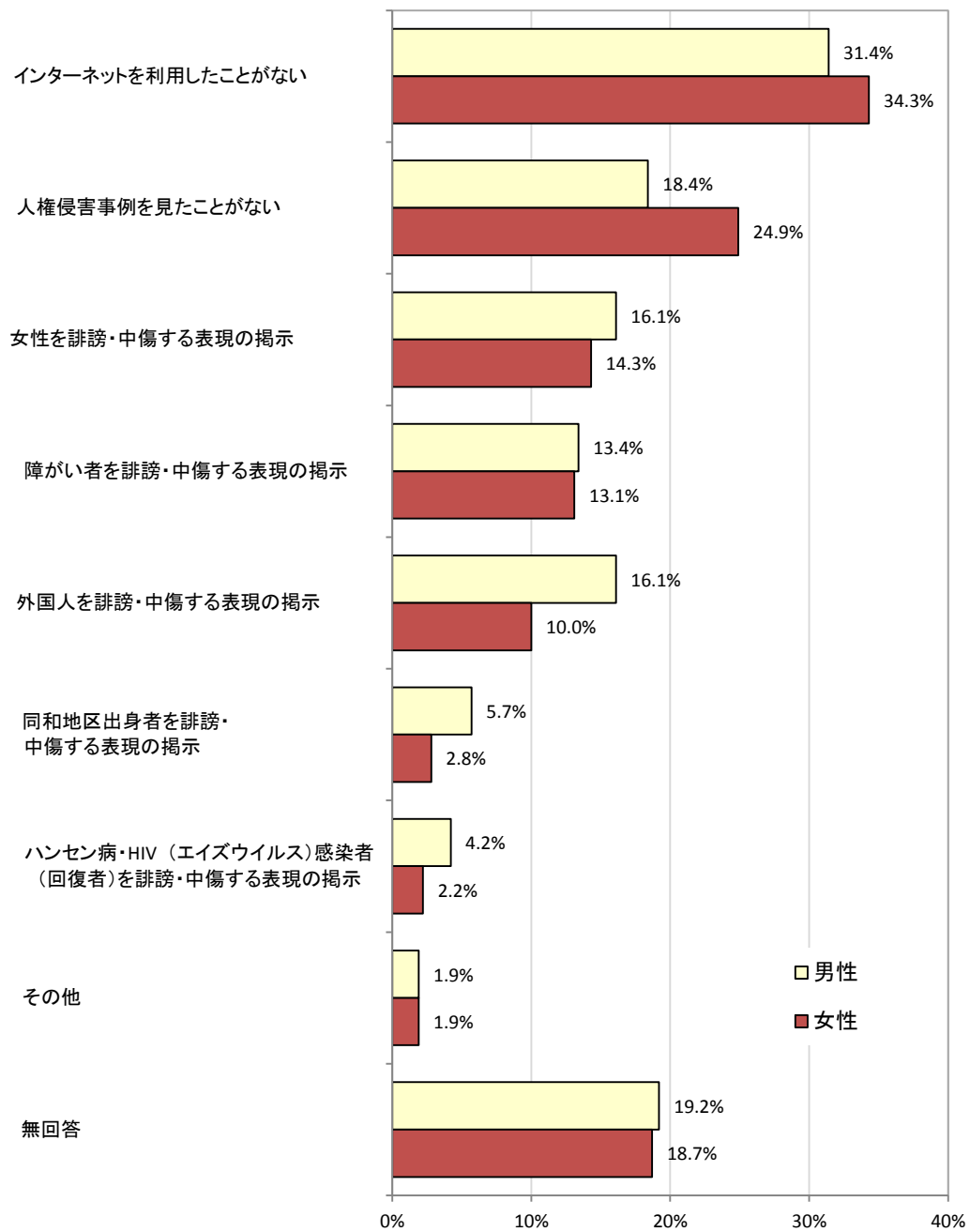
ただ実際にインターネットを利用していると思われる282人(全体から利用なしと無回答を除く)を基数とすれば、「女性を誹謗・中傷」は31.6%であり、少ない比率ではない。

(注) 内閣府の調査では、現在どのような問題が起きていると思いませんかと聞き「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」57.7%、「プライバシーに関する情報が掲載されること」49.8%、「出会い系サイト等犯罪を誘発する場となっていること」42.9%。県の調査も同じ聞き方で「他人を誹謗中傷する表現を掲載すること」69.4%、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」57.5%、「差別を助長する表現を掲載すること」37.9%などとなっている。

【今までの調査との比較】



【性別】



問26 あなたは、ここ1、2年の間で、インターネットを悪用した人権侵害事例を、見聞きしたことがありますか。次の中から、あてはまるものをすべて挙げてください

		標本数(人)	インターネットを利用したことがない	人権侵害事例を見たことがない	女性を誹謗・中傷する表現の揭示	障がい者を誹謗・中傷する表現の揭示	外国人を誹謗・中傷する表現の揭示	同和地区出身者を誹謗・中傷する表現の揭示	ハンセン病・HIV(エイズウイルス)の感染者(回復者)を誹謗・中傷する表現の揭示	その他	無回答	(%)
全体		586	192	128	89	77	75	25	19	11	112	
			32.8	21.8	15.2	13.1	12.8	4.3	3.2	1.9	19.1	
性別	男性	261	31.4	18.4	16.1	13.4	16.1	5.7	4.2	1.9	19.2	
	女性	321	34.3	24.9	14.3	13.1	10.0	2.8	2.2	1.9	18.7	
	無回答	4	-	-	25.0	-	25.0	25.0	25.0	-	50.0	
年代	18歳～20歳代	56	7.1	23.2	42.9	46.4	35.7	5.4	10.7	3.6	7.1	
	30歳代	81	16.0	24.7	17.3	23.5	16.0	7.4	3.7	2.5	22.2	
	40歳代	83	18.1	41.0	14.5	8.4	13.3	3.6	2.4	2.4	19.3	
	50歳代	94	33.0	17.0	16.0	6.4	13.8	3.2	3.2	4.3	19.1	
	60歳代	136	44.1	22.1	8.1	6.6	8.1	3.7	1.5	0.7	16.9	
	70歳以上	132	52.3	11.4	9.1	7.6	4.5	3.0	1.5	-	23.5	
	無回答	4	-	-	25.0	-	25.0	25.0	25.0	-	50.0	
職業	自営業者	74	36.5	10.8	13.5	12.2	12.2	2.7	6.8	4.1	24.3	
	農林漁業	27	37.0	11.1	11.1	7.4	11.1	3.7	3.7	-	25.9	
	商工・建設・サービス業	28	42.9	10.7	14.3	14.3	14.3	3.6	7.1	3.6	21.4	
	自由業	14	21.4	14.3	21.4	21.4	14.3	-	7.1	14.3	21.4	
	業種無回答	5	40.0	-	-	-	-	-	20.0	-	40.0	
	家族従業者	23	21.7	21.7	17.4	17.4	17.4	13.0	4.3	4.3	26.1	
	農林漁業	7	42.9	14.3	14.3	-	14.3	-	-	-	14.3	
	商工・建設・サービス業	9	-	33.3	22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	-	44.4	
	自由業	6	33.3	16.7	-	33.3	16.7	16.7	-	16.7	16.7	
	業種無回答	1	-	-	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	
	雇用者	242	22.3	28.9	19.4	15.3	17.4	5.4	2.5	1.7	16.1	
	管理職	18	22.2	27.8	16.7	16.7	27.8	5.6	5.6	-	16.7	
	専門技術職	73	21.9	21.9	23.3	19.2	16.4	8.2	2.7	1.4	17.8	
	事務職	67	13.4	38.8	22.4	14.9	25.4	9.0	1.5	3.0	11.9	
	労務職	79	26.6	29.1	13.9	12.7	10.1	-	2.5	1.3	19.0	
	業種無回答	5	80.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	
	無職	231	43.7	18.6	11.7	10.4	8.2	2.6	2.6	1.3	19.5	
	主婦・主夫	139	48.9	16.5	10.1	9.4	6.5	1.4	1.4	1.4	18.7	
	学生	19	5.3	26.3	36.8	36.8	36.8	5.3	15.8	5.3	10.5	
	その他の無職	57	45.6	24.6	7.0	5.3	5.3	3.5	-	-	17.5	
業種無回答	16	37.5	6.3	12.5	6.3	-	6.3	6.3	-	43.8		
無回答	16	31.3	12.5	6.3	18.8	6.3	6.3	6.3	-	25.0		

IV. 人権擁護機関の周知度について

知っている人権擁護機関

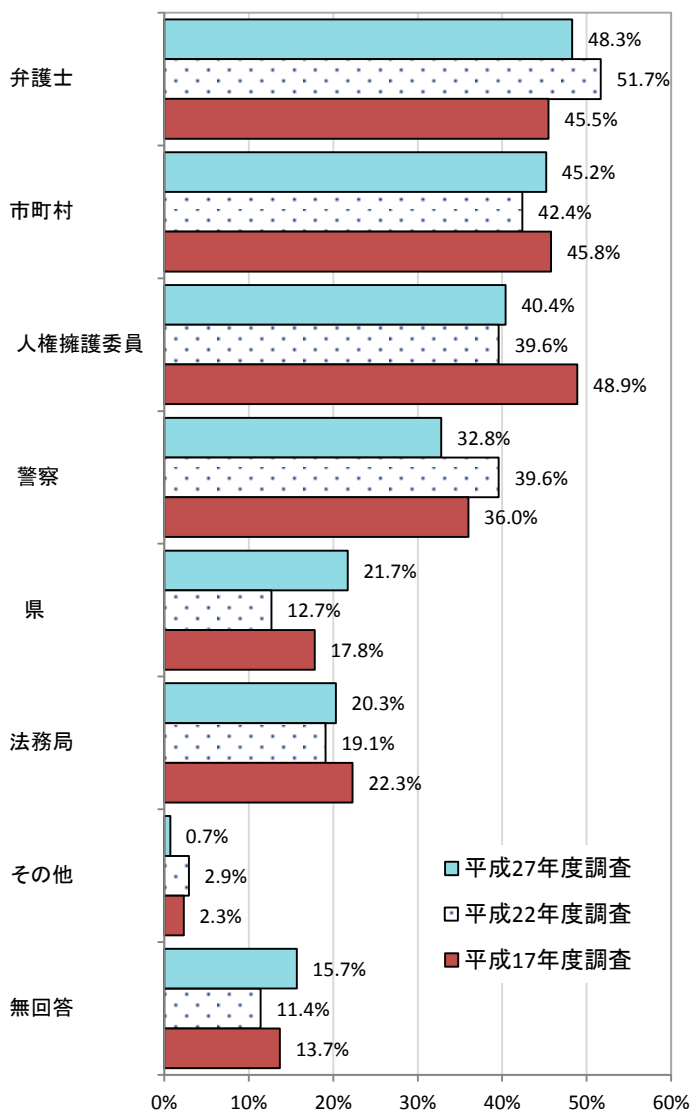
「弁護士」「市町村」「人権擁護委員」

問 27 あなたは、人権擁護機関としてどのようなものを知っていますか。次の中から、あてはまるものをすべて挙げてください。(該当する番号の左側に○印をお付けください)

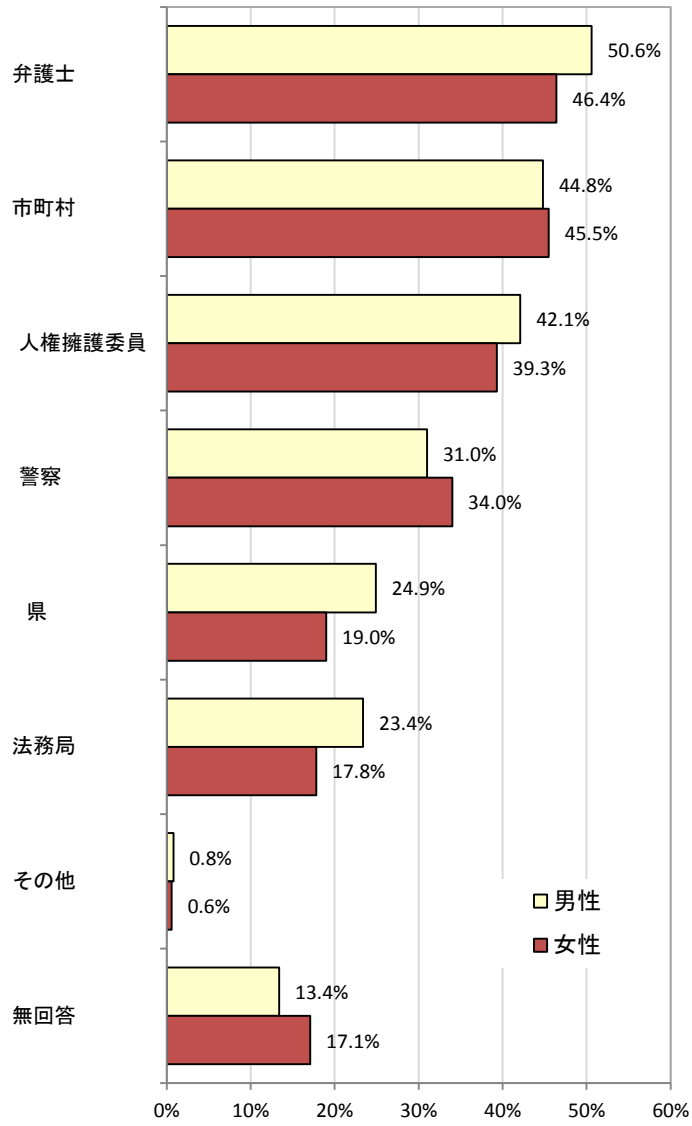
人権擁護機関として知っているもの（複数回答）は「弁護士」48.3%、「市町村」45.2%、「人権擁護委員」40.4%がトップ3である。前回と概ね同じだが、「警察」が32.8%と7ポイント減少した。

「市町村」と「人権擁護委員」は高年齢層ほど認知度が上がる傾向がある。特に「人権擁護委員」は40歳代までの若い層が20%台に対し、60歳以上は半数を超えている。

【今までの調査との比較】



【性別】



問27 あなたは、人権擁護機関としてどのようなものを知っていますか。次の中から、あてはまるものをすべて挙げてください

(%)

		標本数 (人)	弁 護 士	市 町 村	人 権 擁 護 委 員	警 察	県	法 務 局	そ の 他	無 回 答
全体		586	283	265	237	192	127	119	4	92
			48.3	45.2	40.4	32.8	21.7	20.3	0.7	15.7
性別	男性	261	50.6	44.8	42.1	31.0	24.9	23.4	0.8	13.4
	女性	321	46.4	45.5	39.3	34.0	19.0	17.8	0.6	17.1
	無回答	4	50.0	50.0	25.0	50.0	25.0	25.0	-	50.0
年代	18歳～20歳代	56	51.8	32.1	25.0	35.7	28.6	19.6	1.8	10.7
	30歳代	81	46.9	40.7	22.2	19.8	21.0	11.1	2.5	16.0
	40歳代	83	45.8	41.0	27.7	33.7	15.7	13.3	-	15.7
	50歳代	94	48.9	43.6	33.0	29.8	22.3	12.8	-	16.0
	60歳代	136	50.7	50.7	52.2	32.4	18.4	22.8	-	15.4
	70歳以上	132	46.2	51.5	59.8	40.9	25.8	33.3	0.8	16.7
	無回答	4	50.0	50.0	25.0	50.0	25.0	25.0	-	50.0
職業	自営業者	74	47.3	48.6	52.7	31.1	21.6	21.6	2.7	13.5
	農林漁業	27	51.9	44.4	74.1	33.3	25.9	33.3	-	11.1
	商工・建設・サービス業	28	46.4	46.4	35.7	28.6	14.3	10.7	3.6	21.4
	自由業	14	50.0	42.9	50.0	35.7	14.3	14.3	-	7.1
	業種無回答	5	20.0	100.0	40.0	20.0	60.0	40.0	20.0	-
	家族従業者	23	47.8	47.8	43.5	34.8	34.8	26.1	-	13.0
	農林漁業	7	42.9	42.9	42.9	28.6	14.3	-	-	28.6
	商工・建設・サービス業	9	44.4	44.4	55.6	33.3	22.2	33.3	-	11.1
	自由業	6	50.0	50.0	16.7	33.3	66.7	33.3	-	-
	業種無回答	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-
	雇用者	242	48.8	40.9	31.8	29.8	21.5	17.4	0.4	15.3
	管理職	18	33.3	38.9	38.9	22.2	38.9	22.2	-	5.6
	専門技術職	73	53.4	49.3	27.4	27.4	21.9	13.7	1.4	11.0
	事務職	67	53.7	38.8	38.8	37.3	17.9	16.4	-	14.9
	労務職	79	43.0	34.2	26.6	27.8	20.3	20.3	-	21.5
	業種無回答	5	60.0	60.0	60.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0
	無職	231	47.6	48.5	46.3	35.1	21.6	22.1	0.4	17.3
	主婦・主夫	139	49.6	55.4	54.0	38.1	24.5	23.7	-	13.7
	学生	19	63.2	26.3	15.8	42.1	15.8	15.8	5.3	5.3
	その他の無職	57	38.6	40.4	35.1	28.1	14.0	15.8	-	26.3
	業種無回答	16	43.8	43.8	56.3	25.0	31.3	37.5	-	31.3
	無回答	16	56.3	43.8	25.0	50.0	6.3	25.0	-	12.5

V. 人権問題への関わりについて

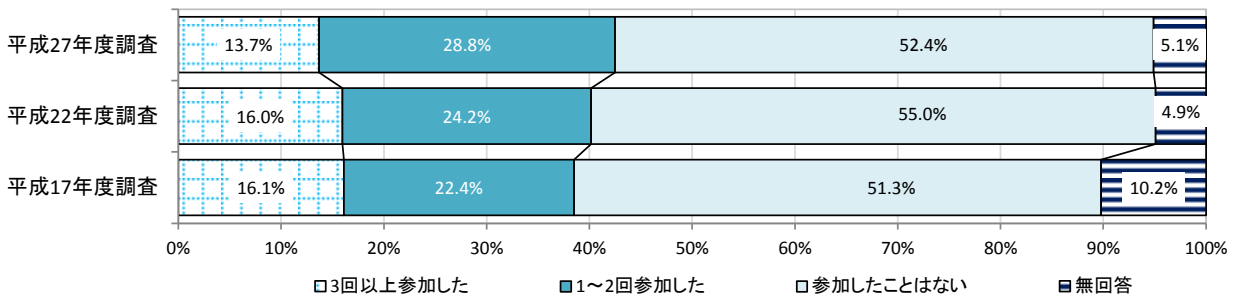
人権問題の行事やメディアとの関わり 参加、なお半数未満

問 28 あなたは、人権問題に関する次のようなことに、参加したり、見たり、読んだり、家族で話し合った経験がありますか。A～Lそれぞれについて、お答えください。

A 講演会・研修会

「参加したことはない」が52.4%、「1～2回参加」が28.8%、「3回以上参加」が13.7%で前回とほぼ同じ結果だ。「参加したことはない」は若い層ほど多い。

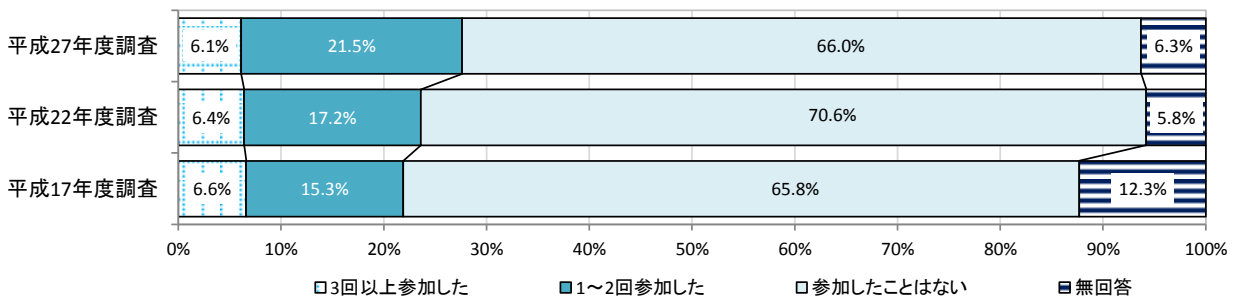
A 講演会・研修会



B 地域懇談会

「参加したことはない」が66%で前回より微減、「1～2回参加」が21.5%で微増だがあまり変化はない。Aと同じく若い層の参加が少ないのも一緒だ。

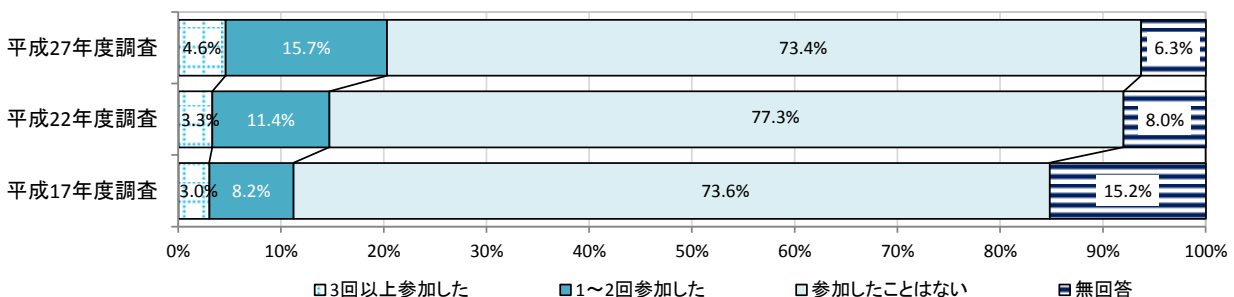
B 地域懇談会



C 人権フェスティバルなどのイベント

「参加したことがない」が73.4%で前回と同様多数、特に40歳代までの若い年代は8割以上に上る。「1～2回参加」と「3回以上参加」は微増。

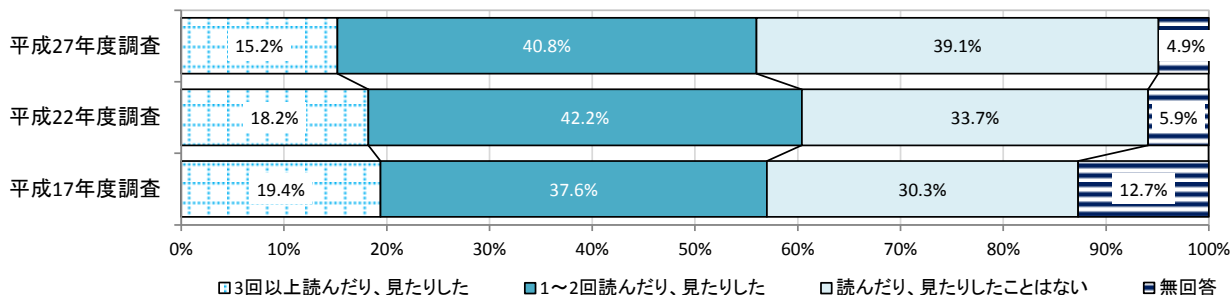
C 人権フェスティバルなどのイベント



D 啓発冊子・パンフレット

「1～2回読んだり、見たりした」が前回並みの40.8%、しかし「読んだり、見たりしたことはない」が5ポイント余増えて39.1%で、やや後退した感じだ。

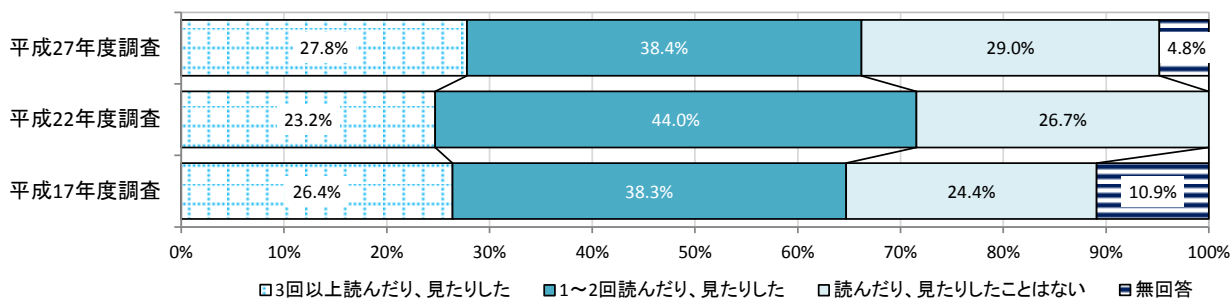
D 啓発冊子・パンフレット



E 市町村等の広報誌

「1～2回読んだり、見たりした」が38.4%で5ポイント余減り、その分「3回以上読んだり、見たりした」が増えた。ただ「読んだり、見たりしたことはない」も微増で閲覧が向上したとは言えない。

E 市町村等の広報誌

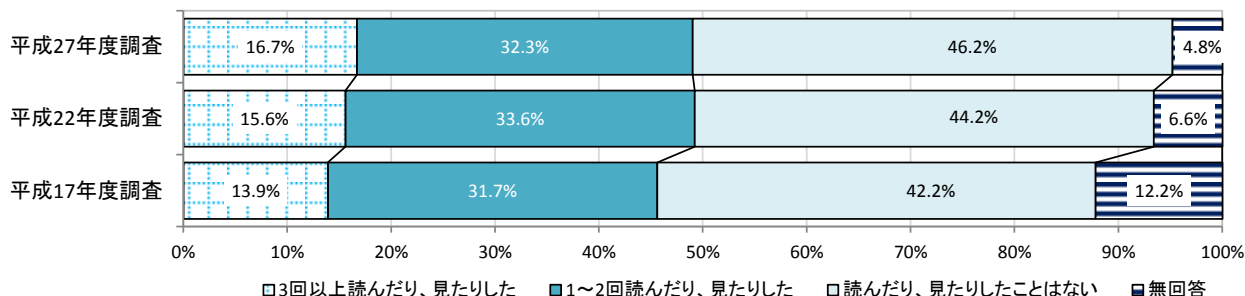


※平成17年度調査の無回答には「いずれの回答かわからない」0.1%も含む

F 書籍・雑誌

「読んだり、見たりしたことはない」46.2%をはじめ3項目とも、前回に比べ2%以内の微増、微減でほとんど変化が見られない。

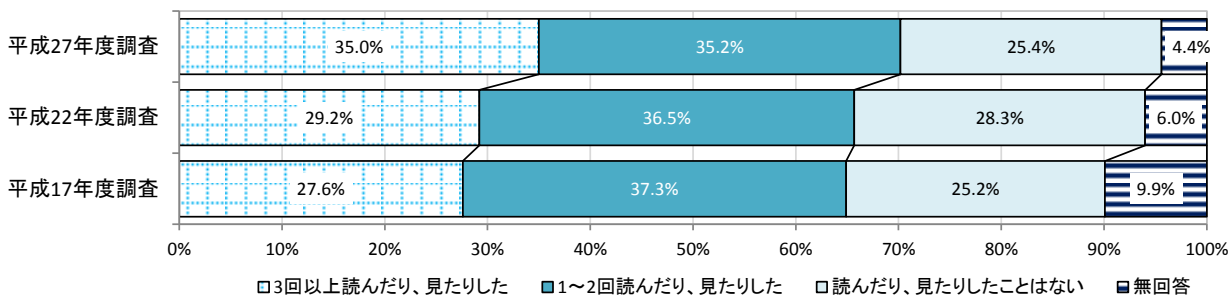
F 書籍・雑誌



G 新聞

「3回以上読んだり、見たりした」が35%で前回より約6ポイント増、「読んだり、見たりしたことはない」が微減。

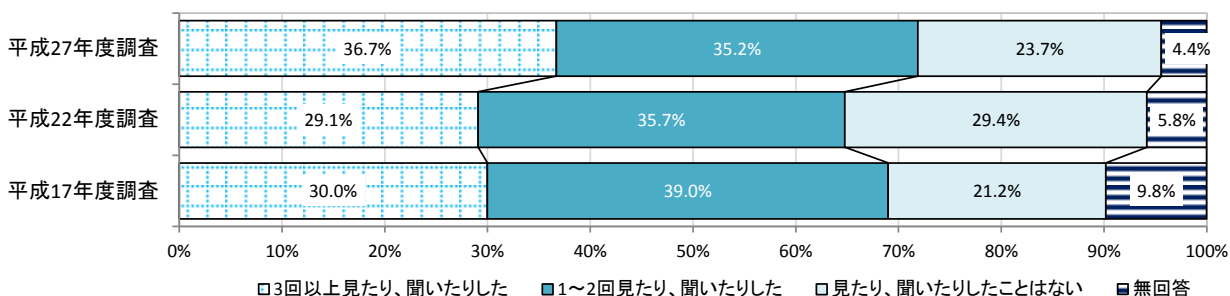
G 新聞



H ラジオ・テレビ

「3回以上見たり、聞いたりした」が36.7%で前回より7ポイント余増え、「見たり、聞いたりしたことはない」が6ポイント近く減少している。これは年代による差は小さい。

H ラジオ・テレビ

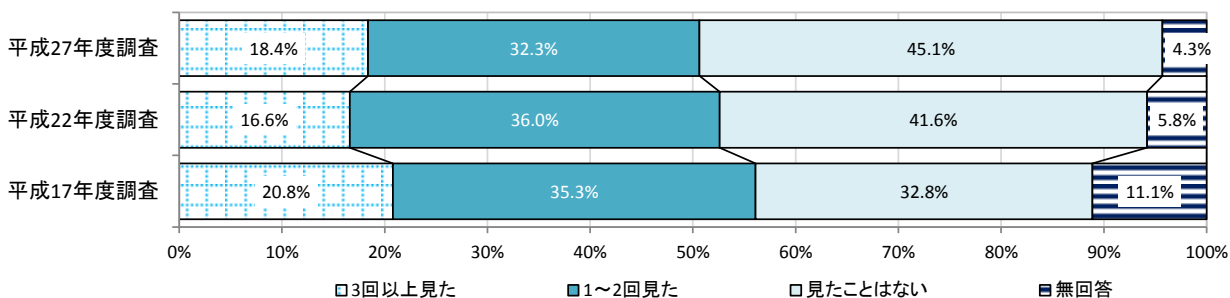


※平成17年度調査の無回答には「いずれの回答かわからない」0.1%も含む

I 映画・ビデオ

3項目とも前回と4%以内の増減で、あまり変わらない。

I 映画・ビデオ



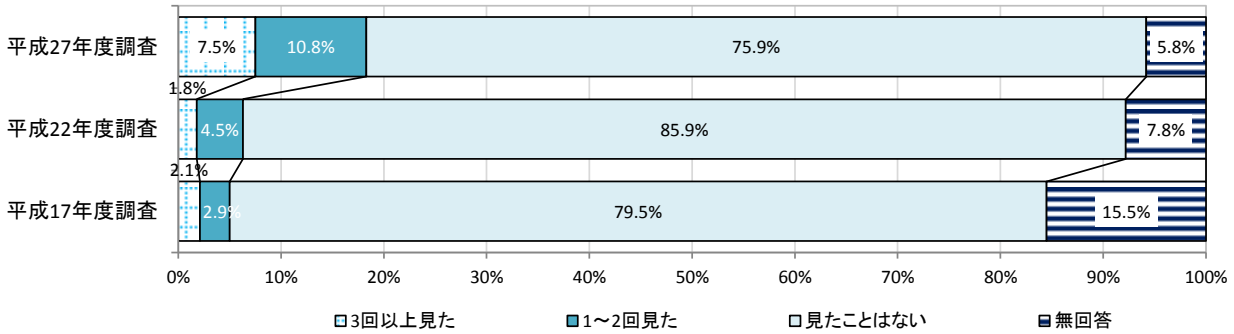
※平成17年度調査の無回答には「いずれの回答かわからない」0.1%も含む

Ｊ インターネット

この人権問題へのかかわり 12 の質問で、前回と比べて一番変化が見られたのはインターネットで、「3 回以上見た」が 1.8%→7.5%、「1～2 回見た」4.5%→10.8%、「見たことはない」85.9%→75.9%と見た人が 2 割に迫る。

18 歳～20 歳代は見た割合が 53.6%と過半数の一方、60 歳以上は 10%にも達しない。

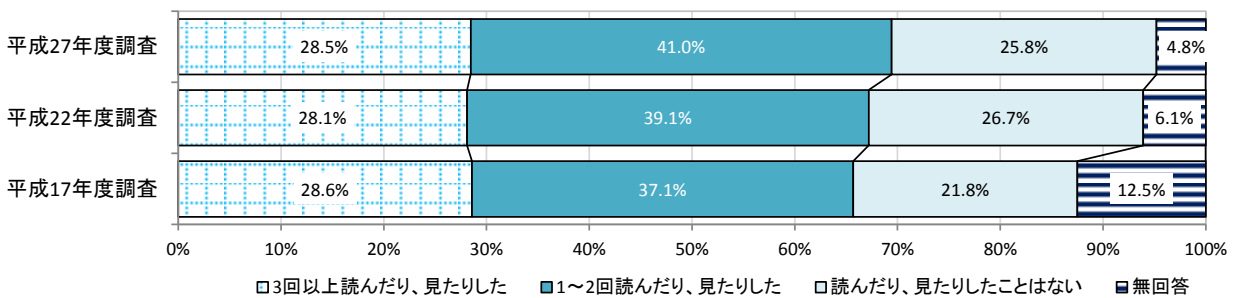
Ｊ インターネット



Ｋ 掲示物（ポスター・看板等）

3 項目とも前回と 2 %以内の結果で、ほとんど動きがない。4 人に 1 人は「読んだり、見たりしたことはない」と答えている。

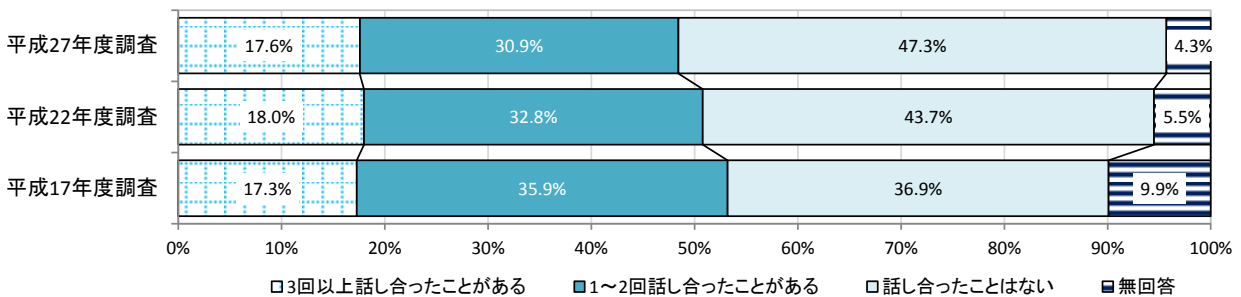
Ｋ 掲示物(ポスター・看板等)



Ｌ 家族との話し合い

「3 回以上話し合ったことがある」17.6%と「1～2 回話しあったことがある」30.9%を合わせ、家族間の対話は 48.5%と半数を割る。前回 50.8%、前々回 53.2%だったので、徐々に後退傾向を示す。これも若い年代ほど「話し合ったことはない」が増え、40 歳代以下は半数を超える。

Ｌ 家族との話し合い



※平成 17 年度調査の無回答には「いずれの回答かわからない」0.1%も含む

問28 あなたは、人権問題に関する次のようなことに、参加したり、見たり、読んだり、家族で話し合った経験がありますか

A 講演会・研修会

(%)

		標 本 数 (人)	3 回 以 上 参 加 し た	1 ～ 2 回 参 加 し た	参 加 し た こ と は な い	無 回 答
全体		586	80	169	307	30
		100.0	13.7	28.8	52.4	5.1
性別	男性	261	16.9	25.7	51.7	5.7
	女性	321	11.2	31.5	53.0	4.4
	無回答	4	-	25.0	50.0	25.0
年代	18歳～20歳代	56	10.7	17.9	71.4	-
	30歳代	81	9.9	28.4	56.8	4.9
	40歳代	83	10.8	27.7	59.0	2.4
	50歳代	94	13.8	30.9	53.2	2.1
	60歳代	136	20.6	27.2	48.5	3.7
	70歳以上	132	12.1	34.8	40.9	12.1
	無回答	4	-	25.0	50.0	25.0
職業	自営業者	74	10.8	31.1	51.4	6.8
	農林漁業	27	11.1	44.4	29.6	14.8
	商工・建設・サービス業	28	14.3	17.9	64.3	3.6
	自由業	14	7.1	28.6	64.3	-
	業種無回答	5	-	40.0	60.0	-
	家族従業者	23	17.4	17.4	65.2	-
	農林漁業	7	-	14.3	85.7	-
	商工・建設・サービス業	9	11.1	11.1	77.8	-
	自由業	6	50.0	16.7	33.3	-
	業種無回答	1	-	100.0	-	-
	雇用者	242	15.3	27.7	54.1	2.9
	管理職	18	11.1	22.2	66.7	-
	専門技術職	73	13.7	27.4	56.2	2.7
	事務職	67	25.4	23.9	47.8	3.0
	労務職	79	10.1	34.2	53.2	2.5
	業種無回答	5	-	-	80.0	20.0
	無職	231	13.4	29.9	48.9	7.8
	主婦・主夫	139	11.5	36.0	47.5	5.0
	学生	19	15.8	21.1	63.2	-
	その他の無職	57	19.3	22.8	50.9	7.0
	業種無回答	16	6.3	12.5	37.5	43.8
	無回答	16	-	37.5	62.5	-

B 地域懇談会

(%)

		標 本 数 (人)	3 回 以 上 参 加 し た	1 ～ 2 回 参 加 し た	参 加 し た こ と は な い	無 回 答
全体		586	36	126	387	37
		100.0	6.1	21.5	66.0	6.3
性別	男性	261	7.3	20.3	65.1	7.3
	女性	321	5.3	22.4	67.0	5.3
	無回答	4	-	25.0	50.0	25.0
年代	18歳～20歳代	56	1.8	7.1	89.3	1.8
	30歳代	81	2.5	7.4	85.2	4.9
	40歳代	83	2.4	12.0	81.9	3.6
	50歳代	94	7.4	23.4	67.0	2.1
	60歳代	136	8.1	33.1	54.4	4.4
	70歳以上	132	9.8	28.8	46.2	15.2
	無回答	4	-	25.0	50.0	25.0
職業	自営業者	74	8.1	29.7	55.4	6.8
	農林漁業	27	11.1	44.4	29.6	14.8
	商工・建設・サービス業	28	3.6	17.9	75.0	3.6
	自由業	14	14.3	21.4	64.3	-
	業種無回答	5	-	40.0	60.0	-
	家族従業者	23	8.7	8.7	78.3	4.3
	農林漁業	7	-	-	85.7	14.3
	商工・建設・サービス業	9	11.1	11.1	77.8	-
	自由業	6	16.7	-	83.3	-
	業種無回答	1	-	100.0	-	-
	雇用者	242	3.7	18.6	73.6	4.1
	管理職	18	5.6	11.1	83.3	-
	専門技術職	73	2.7	16.4	78.1	2.7
	事務職	67	4.5	19.4	70.1	6.0
	労務職	79	3.8	21.5	70.9	3.8
	業種無回答	5	-	20.0	60.0	20.0
	無職	231	7.8	23.8	59.3	9.1
	主婦・主夫	139	6.5	30.9	56.1	6.5
	学生	19	5.3	-	94.7	-
	その他の無職	57	14.0	19.3	57.9	8.8
	業種無回答	16	-	6.3	50.0	43.8
	無回答	16	6.3	12.5	81.3	-

C 人権フェスティバルなどのイベント

(%)

		標 本 数 (人)	3 回 以 上 参 加 し た	1 ～ 2 回 参 加 し た	参 加 し た こ と は な い	無 回 答
全体		586	27	92	430	37
		100.0	4.6	15.7	73.4	6.3
性別	男性	261	5.0	15.3	72.8	6.9
	女性	321	4.4	16.2	73.8	5.6
	無回答	4	-	-	75.0	25.0
年代	18歳～20歳代	56	3.6	8.9	87.5	-
	30歳代	81	2.5	8.6	84.0	4.9
	40歳代	83	1.2	10.8	84.3	3.6
	50歳代	94	6.4	12.8	78.7	2.1
	60歳代	136	8.1	21.3	65.4	5.1
	70歳以上	132	3.8	22.7	58.3	15.2
	無回答	4	-	-	75.0	25.0
職業	自営業者	74	4.1	25.7	63.5	6.8
	農林漁業	27	3.7	40.7	40.7	14.8
	商工・建設・サービス業	28	3.6	17.9	78.6	-
	自由業	14	7.1	21.4	64.3	7.1
	業種無回答	5	-	-	100.0	-
	家族従業者	23	4.3	8.7	82.6	4.3
	農林漁業	7	-	14.3	71.4	14.3
	商工・建設・サービス業	9	-	-	100.0	-
	自由業	6	16.7	-	83.3	-
	業種無回答	1	-	100.0	-	-
	雇用者	242	4.1	13.2	78.9	3.7
	管理職	18	5.6	11.1	83.3	-
	専門技術職	73	4.1	13.7	78.1	4.1
	事務職	67	6.0	16.4	74.6	3.0
	労務職	79	2.5	11.4	82.3	3.8
	業種無回答	5	-	-	80.0	20.0
	無職	231	5.6	16.5	68.4	9.5
	主婦・主夫	139	6.5	22.3	64.7	6.5
	学生	19	5.3	-	94.7	-
	その他の無職	57	5.3	12.3	71.9	10.5
	業種無回答	16	-	-	56.3	43.8
	無回答	16	-	6.3	93.8	-

D 啓発冊子・パンフレット

(%)

		標 本 数 (人)	見 た り し た 3 回 以 上 読 ん だ り、	見 た り し た 1 回 読 ん だ り、 2 回 読 ん だ り、	読 ん だ り、 見 た り し た こ と は な い	無 回 答
全体		586	89	239	229	29
		100.0	15.2	40.8	39.1	4.9
性別	男性	261	14.9	40.6	38.7	5.7
	女性	321	15.6	40.8	39.6	4.0
	無回答	4	-	50.0	25.0	25.0
年代	18歳～20歳代	56	8.9	41.1	50.0	-
	30歳代	81	9.9	33.3	53.1	3.7
	40歳代	83	12.0	36.1	49.4	2.4
	50歳代	94	17.0	45.7	34.0	3.2
	60歳代	136	22.8	42.6	31.6	2.9
	70歳以上	132	14.4	42.4	31.1	12.1
	無回答	4	-	50.0	25.0	25.0
職業	自営業者	74	18.9	41.9	32.4	6.8
	農林漁業	27	18.5	48.1	18.5	14.8
	商工・建設・サービス業	28	14.3	39.3	42.9	3.6
	自由業	14	14.3	42.9	42.9	-
	業種無回答	5	60.0	20.0	20.0	-
	家族従業者	23	13.0	39.1	43.5	4.3
	農林漁業	7	-	71.4	14.3	14.3
	商工・建設・サービス業	9	-	33.3	66.7	-
	自由業	6	50.0	-	50.0	-
	業種無回答	1	-	100.0	-	-
	雇用者	242	13.2	43.4	40.9	2.5
	管理職	18	11.1	27.8	61.1	-
	専門技術職	73	13.7	49.3	37.0	-
	事務職	67	22.4	46.3	26.9	4.5
	労務職	79	6.3	39.2	51.9	2.5
	業種無回答	5	-	40.0	40.0	20.0
	無職	231	17.3	36.8	39.0	6.9
	主婦・主夫	139	19.4	41.0	34.5	5.0
	学生	19	10.5	42.1	47.4	-
	その他の無職	57	17.5	24.6	52.6	5.3
	業種無回答	16	6.3	37.5	18.8	37.5
	無回答	16	-	56.3	37.5	6.3

E 市町村等の広報誌

(%)

		標 本 数 (人)	見 た り し た 3 回 以 上 読 ん だ り、	見 た り し た 1 回 読 ん だ り、 2 回 読 ん だ り、	し 読 ん だ り、 見 た り し た こ と は な い	無 回 答
全体		586	163	225	170	28
		100.0	27.8	38.4	29.0	4.8
性別	男性	261	25.7	38.7	30.7	5.0
	女性	321	29.6	38.0	28.0	4.4
	無回答	4	25.0	50.0	-	25.0
年代	18歳～20歳代	56	14.3	28.6	57.1	-
	30歳代	81	17.3	42.0	37.0	3.7
	40歳代	83	22.9	34.9	39.8	2.4
	50歳代	94	27.7	43.6	25.5	3.2
	60歳代	136	37.5	39.0	19.9	3.7
	70歳以上	132	33.3	37.9	18.2	10.6
	無回答	4	25.0	50.0	-	25.0
職業	自営業者	74	32.4	44.6	17.6	5.4
	農林漁業	27	29.6	55.6	3.7	11.1
	商工・建設・サービス業	28	35.7	39.3	21.4	3.6
	自由業	14	28.6	35.7	35.7	-
	業種無回答	5	40.0	40.0	20.0	-
	家族従業者	23	30.4	30.4	34.8	4.3
	農林漁業	7	14.3	57.1	14.3	14.3
	商工・建設・サービス業	9	22.2	22.2	55.6	-
	自由業	6	50.0	16.7	33.3	-
	業種無回答	1	100.0	-	-	-
	雇用者	242	22.7	42.1	32.6	2.5
	管理職	18	22.2	27.8	50.0	-
	専門技術職	73	21.9	52.1	26.0	-
	事務職	67	32.8	35.8	26.9	4.5
	労務職	79	15.2	41.8	40.5	2.5
	業種無回答	5	20.0	40.0	20.0	20.0
	無職	231	32.0	32.9	28.1	6.9
	主婦・主夫	139	40.3	37.4	16.5	5.8
	学生	19	5.3	21.1	73.7	-
	その他の無職	57	24.6	24.6	43.9	7.0
	業種無回答	16	18.8	37.5	18.8	25.0
	無回答	16	18.8	43.8	31.3	6.3

F 書籍・雑誌

(%)

		標 本 数 (人)	見 た り し た 3 回 以 上 読 ん だ り、	見 た り し た 1 回 以 上 読 ん だ り、	読 ん だ り、 見 た り し た こ と は な い	無 回 答
全体		586	98	189	271	28
		100.0	16.7	32.3	46.2	4.8
性別	男性	261	16.1	31.4	47.1	5.4
	女性	321	17.1	33.0	45.8	4.0
	無回答	4	25.0	25.0	25.0	25.0
年代	18歳～20歳代	56	10.7	39.3	50.0	-
	30歳代	81	7.4	28.4	60.5	3.7
	40歳代	83	13.3	27.7	56.6	2.4
	50歳代	94	14.9	36.2	45.7	3.2
	60歳代	136	27.2	32.4	37.5	2.9
	70歳以上	132	17.4	31.8	39.4	11.4
	無回答	4	25.0	25.0	25.0	25.0
職業	自営業者	74	23.0	39.2	31.1	6.8
	農林漁業	27	11.1	40.7	37.0	11.1
	商工・建設・サービス業	28	21.4	42.9	32.1	3.6
	自由業	14	42.9	35.7	21.4	-
	業種無回答	5	40.0	20.0	20.0	20.0
	家族従業者	23	13.0	34.8	47.8	4.3
	農林漁業	7	14.3	42.9	28.6	14.3
	商工・建設・サービス業	9	-	33.3	66.7	-
	自由業	6	33.3	16.7	50.0	-
	業種無回答	1	-	100.0	-	-
	雇用者	242	13.6	31.0	52.9	2.5
	管理職	18	11.1	33.3	55.6	-
	専門技術職	73	11.0	34.2	54.8	-
	事務職	67	19.4	34.3	41.8	4.5
	労務職	79	11.4	26.6	59.5	2.5
	業種無回答	5	20.0	-	60.0	20.0
	無職	231	18.2	31.2	44.2	6.5
	主婦・主夫	139	20.9	35.3	38.8	5.0
	学生	19	5.3	36.8	57.9	-
	その他の無職	57	19.3	19.3	56.1	5.3
	業種無回答	16	6.3	31.3	31.3	31.3
	無回答	16	18.8	31.3	43.8	6.3

G 新聞

(%)

		標 本 数 (人)	見 た り し た 3 回 以 上 読 ん だ り、	見 た り し た 1 回 以 上 読 ん だ り、	し た こ と は な い 読 ん だ り、 見 た り	無 回 答
全体		586	205	206	149	26
		100.0	35.0	35.2	25.4	4.4
性別	男性	261	36.4	33.7	24.9	5.0
	女性	321	34.0	36.1	26.2	3.7
	無回答	4	25.0	50.0	-	25.0
年代	18歳～20歳代	56	19.6	42.9	37.5	-
	30歳代	81	28.4	35.8	32.1	3.7
	40歳代	83	24.1	43.4	30.1	2.4
	50歳代	94	31.9	36.2	28.7	3.2
	60歳代	136	43.4	34.6	18.4	3.7
	70歳以上	132	46.2	25.8	18.9	9.1
	無回答	4	25.0	50.0	-	25.0
職業	自営業者	74	45.9	35.1	13.5	5.4
	農林漁業	27	51.9	29.6	11.1	7.4
	商工・建設・サービス業	28	39.3	32.1	25.0	3.6
	自由業	14	42.9	50.0	-	7.1
	業種無回答	5	60.0	40.0	-	-
	家族従業者	23	43.5	21.7	30.4	4.3
	農林漁業	7	42.9	28.6	14.3	14.3
	商工・建設・サービス業	9	22.2	22.2	55.6	-
	自由業	6	66.7	16.7	16.7	-
	業種無回答	1	100.0	-	-	-
	雇用者	242	29.3	38.4	29.8	2.5
	管理職	18	38.9	33.3	27.8	-
	専門技術職	73	30.1	39.7	30.1	-
	事務職	67	40.3	34.3	20.9	4.5
	労務職	79	17.7	43.0	36.7	2.5
	業種無回答	5	20.0	20.0	40.0	20.0
	無職	231	36.4	32.5	25.1	6.1
	主婦・主夫	139	41.0	35.3	18.7	5.0
	学生	19	15.8	47.4	36.8	-
	その他の無職	57	36.8	22.8	35.1	5.3
	業種無回答	16	18.8	25.0	31.3	25.0
	無回答	16	37.5	43.8	12.5	6.3

H ラジオ・テレビ

(%)

		標 本 数 (人)	い た り 3 回 以 上 見 た り、 聞	い た り 1 回 以 上 見 た り、 聞	見 た り、 聞 い た り し た こ と は な い	無 回 答
全体		586	215	206	139	26
		100.0	36.7	35.2	23.7	4.4
性別	男性	261	36.8	34.1	24.9	4.2
	女性	321	36.8	36.1	23.1	4.0
	無回答	4	25.0	25.0	-	50.0
年代	18歳～20歳代	56	37.5	35.7	26.8	-
	30歳代	81	33.3	30.9	32.1	3.7
	40歳代	83	28.9	37.3	32.5	1.2
	50歳代	94	28.7	39.4	28.7	3.2
	60歳代	136	42.6	36.0	18.4	2.9
	70歳以上	132	43.2	32.6	14.4	9.8
	無回答	4	25.0	25.0	-	50.0
職業	自営業者	74	44.6	33.8	17.6	4.1
	農林漁業	27	44.4	37.0	11.1	7.4
	商工・建設・サービス業	28	39.3	28.6	28.6	3.6
	自由業	14	57.1	35.7	7.1	-
	業種無回答	5	40.0	40.0	20.0	-
	家族従業者	23	30.4	34.8	30.4	4.3
	農林漁業	7	-	71.4	14.3	14.3
	商工・建設・サービス業	9	22.2	22.2	55.6	-
	自由業	6	66.7	16.7	16.7	-
	業種無回答	1	100.0	-	-	-
	雇用者	242	31.0	36.0	31.0	2.1
	管理職	18	22.2	33.3	44.4	-
	専門技術職	73	32.9	41.1	26.0	-
	事務職	67	35.8	37.3	22.4	4.5
	労務職	79	25.3	31.6	40.5	2.5
	業種無回答	5	60.0	20.0	20.0	-
	無職	231	41.1	35.1	17.3	6.5
	主婦・主夫	139	45.3	36.0	13.7	5.0
	学生	19	36.8	42.1	21.1	-
	その他の無職	57	38.6	26.3	28.1	7.0
	業種無回答	16	18.8	50.0	6.3	25.0
	無回答	16	31.3	31.3	25.0	12.5

I 映画・ビデオ

(%)

		標 本 数 (人)	3 回 以 上 見 た	1 ～ 2 回 見 た	見 た こ と は な い	無 回 答
全体		586	108	189	264	25
		100.0	18.4	32.3	45.1	4.3
性別	男性	261	18.8	25.3	51.0	5.0
	女性	321	18.1	38.0	40.5	3.4
	無回答	4	25.0	25.0	25.0	25.0
年代	18歳～20歳代	56	14.3	37.5	48.2	-
	30歳代	81	21.0	34.6	40.7	3.7
	40歳代	83	14.5	33.7	49.4	2.4
	50歳代	94	22.3	36.2	39.4	2.1
	60歳代	136	22.1	31.6	43.4	2.9
	70歳以上	132	14.4	25.8	50.0	9.8
	無回答	4	25.0	25.0	25.0	25.0
職業	自営業者	74	18.9	32.4	44.6	4.1
	農林漁業	27	11.1	29.6	51.9	7.4
	商工・建設・サービス業	28	17.9	32.1	46.4	3.6
	自由業	14	42.9	35.7	21.4	-
	業種無回答	5	-	40.0	60.0	-
	家族従業者	23	17.4	30.4	47.8	4.3
	農林漁業	7	-	28.6	57.1	14.3
	商工・建設・サービス業	9	-	44.4	55.6	-
	自由業	6	50.0	16.7	33.3	-
	業種無回答	1	100.0	-	-	-
	雇用者	242	17.4	34.7	45.9	2.1
	管理職	18	16.7	27.8	55.6	-
	専門技術職	73	19.2	37.0	43.8	-
	事務職	67	20.9	32.8	41.8	4.5
	労務職	79	12.7	38.0	48.1	1.3
	業種無回答	5	20.0	-	60.0	20.0
	無職	231	19.0	31.6	42.9	6.5
	主婦・主夫	139	20.9	34.5	40.3	4.3
	学生	19	15.8	42.1	42.1	-
	その他の無職	57	21.1	21.1	50.9	7.0
	業種無回答	16	-	31.3	37.5	31.3
	無回答	16	25.0	6.3	62.5	6.3

J インターネット

(%)

		標 本 数 (人)	3 回 以 上 見 た	1 ～ 2 回 見 た	見 た こ と は な い	無 回 答
全体		586	44	63	445	34
		100.0	7.5	10.8	75.9	5.8
性別	男性	261	11.5	12.6	70.1	5.7
	女性	321	4.0	9.0	81.6	5.3
	無回答	4	25.0	25.0	-	50.0
年代	18歳～20歳代	56	26.8	26.8	46.4	-
	30歳代	81	9.9	17.3	69.1	3.7
	40歳代	83	6.0	14.5	77.1	2.4
	50歳代	94	7.4	9.6	77.7	5.3
	60歳代	136	3.7	5.1	87.5	3.7
	70歳以上	132	2.3	3.8	81.1	12.9
	無回答	4	25.0	25.0	-	50.0
職業	自営業者	74	9.5	10.8	73.0	6.8
	農林漁業	27	7.4	11.1	70.4	11.1
	商工・建設・サービス業	28	7.1	7.1	82.1	3.6
	自由業	14	21.4	21.4	57.1	-
	業種無回答	5	-	-	80.0	20.0
	家族従業者	23	8.7	17.4	69.6	4.3
	農林漁業	7	-	-	85.7	14.3
	商工・建設・サービス業	9	-	11.1	88.9	-
	自由業	6	33.3	33.3	33.3	-
	業種無回答	1	-	100.0	-	-
	雇用者	242	7.9	15.3	74.0	2.9
	管理職	18	5.6	27.8	66.7	-
	専門技術職	73	12.3	20.5	67.1	-
	事務職	67	7.5	17.9	68.7	6.0
	労務職	79	5.1	6.3	86.1	2.5
	業種無回答	5	-	-	80.0	20.0
	無職	231	6.1	5.2	80.5	8.2
	主婦・主夫	139	4.3	5.8	83.5	6.5
	学生	19	21.1	15.8	63.2	-
	その他の無職	57	7.0	1.8	82.5	8.8
	業種無回答	16	-	-	68.8	31.3
	無回答	16	12.5	12.5	62.5	12.5

K 掲示物(ポスター・看板等)

(%)

		標 本 数 (人)	見 た り し た 3 回 以 上 読 ん だ り、	見 た り し た 1 回 以 上 読 ん だ り、	読 ん だ り、 見 た り し た こ と は な い	無 回 答
全体		586	167	240	151	28
		100.0	28.5	41.0	25.8	4.8
性別	男性	261	27.6	41.0	26.4	5.0
	女性	321	29.6	40.8	25.2	4.4
	無回答	4	-	50.0	25.0	25.0
年代	18歳～20歳代	56	41.1	30.4	28.6	-
	30歳代	81	30.9	38.3	27.2	3.7
	40歳代	83	32.5	42.2	22.9	2.4
	50歳代	94	25.5	45.7	25.5	3.2
	60歳代	136	30.1	40.4	26.5	2.9
	70歳以上	132	20.5	43.2	25.0	11.4
	無回答	4	-	50.0	25.0	25.0
職業	自営業者	74	18.9	52.7	23.0	5.4
	農林漁業	27	14.8	55.6	22.2	7.4
	商工・建設・サービス業	28	14.3	50.0	32.1	3.6
	自由業	14	42.9	57.1	-	-
	業種無回答	5	-	40.0	40.0	20.0
	家族従業者	23	26.1	34.8	34.8	4.3
	農林漁業	7	28.6	42.9	14.3	14.3
	商工・建設・サービス業	9	-	44.4	55.6	-
	自由業	6	50.0	16.7	33.3	-
	業種無回答	1	100.0	-	-	-
	雇用者	242	33.1	39.7	24.8	2.5
	管理職	18	27.8	44.4	27.8	-
	専門技術職	73	37.0	38.4	24.7	-
	事務職	67	40.3	37.3	17.9	4.5
	労務職	79	25.3	41.8	30.4	2.5
	業種無回答	5	20.0	40.0	20.0	20.0
	無職	231	28.6	37.7	26.8	6.9
	主婦・主夫	139	30.9	41.0	23.0	5.0
	学生	19	26.3	47.4	26.3	-
	その他の無職	57	29.8	26.3	36.8	7.0
	業種無回答	16	6.3	37.5	25.0	31.3
	無回答	16	6.3	62.5	25.0	6.3

L 家族との話し合い

(%)

		標 本 数 (人)	こ と 3 回 以 上 話 し 合 っ た	こ と 1 回 か 2 回 話 し 合 っ た	話 し 合 っ た こ と は な い	無 回 答
全体		586	103	181	277	25
		100.0	17.6	30.9	47.3	4.3
性別	男性	261	18.0	29.9	47.1	5.0
	女性	321	17.4	31.5	47.7	3.4
	無回答	4	-	50.0	25.0	25.0
年代	18歳～20歳代	56	14.3	19.6	66.1	-
	30歳代	81	14.8	29.6	50.6	4.9
	40歳代	83	15.7	30.1	53.0	1.2
	50歳代	94	17.0	33.0	46.8	3.2
	60歳代	136	21.3	33.8	41.9	2.9
	70歳以上	132	18.9	31.8	40.2	9.1
	無回答	4	-	50.0	25.0	25.0
職業	自営業者	74	29.7	31.1	35.1	4.1
	農林漁業	27	22.2	40.7	29.6	7.4
	商工・建設・サービス業	28	28.6	25.0	42.9	3.6
	自由業	14	50.0	21.4	28.6	-
	業種無回答	5	20.0	40.0	40.0	-
	家族従業者	23	17.4	30.4	47.8	4.3
	農林漁業	7	-	42.9	42.9	14.3
	商工・建設・サービス業	9	11.1	33.3	55.6	-
	自由業	6	33.3	16.7	50.0	-
	業種無回答	1	100.0	-	-	-
	雇用者	242	14.9	31.4	51.2	2.5
	管理職	18	16.7	33.3	50.0	-
	専門技術職	73	16.4	27.4	54.8	1.4
	事務職	67	20.9	35.8	38.8	4.5
	労務職	79	8.9	29.1	59.5	2.5
	業種無回答	5	-	60.0	40.0	-
	無職	231	17.3	29.4	47.2	6.1
	主婦・主夫	139	19.4	36.7	39.6	4.3
	学生	19	5.3	21.1	73.7	-
	その他の無職	57	19.3	19.3	56.1	5.3
	業種無回答	16	6.3	12.5	50.0	31.3
	無回答	16	6.3	43.8	43.8	6.3

Ⅵ. 今後の人権教育・啓発のあり方について

人権教育・啓発で重要なこと

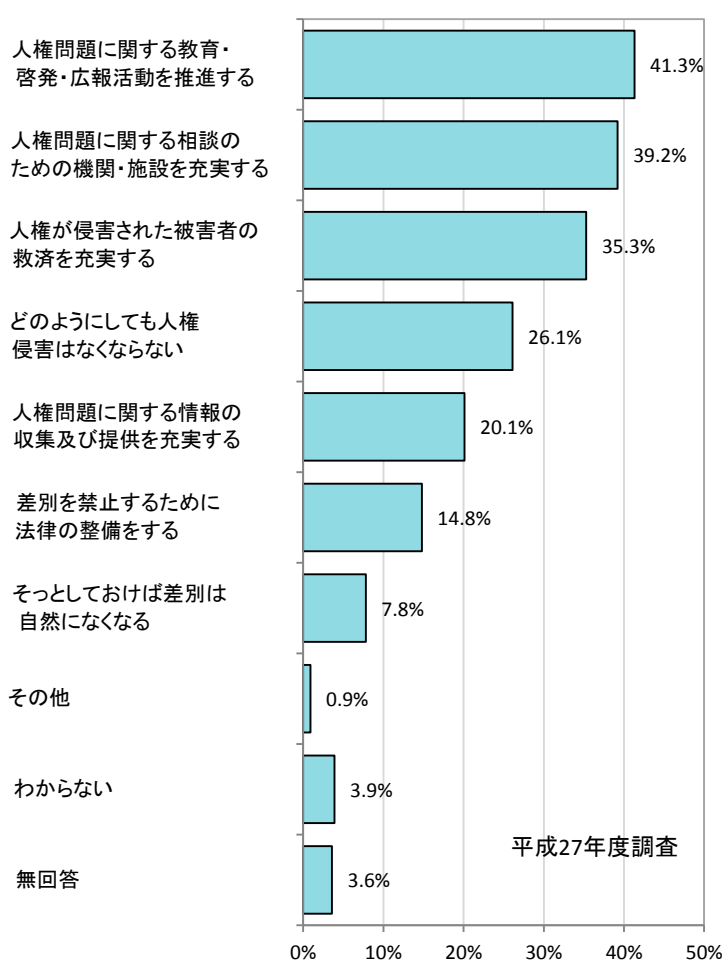
「教育・広報」「相談機関・施設」

問 29 人権問題には、女性、子ども、高齢者、障がい者、同和問題、外国人、HIV感染者、ハンセン病患者、刑を終えて出所した人、犯罪被害者、インターネットによる人権侵害等の問題がありますが、今後の人権教育・啓発のあり方について、あなたが重要だと考えるのは、どのようなことですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

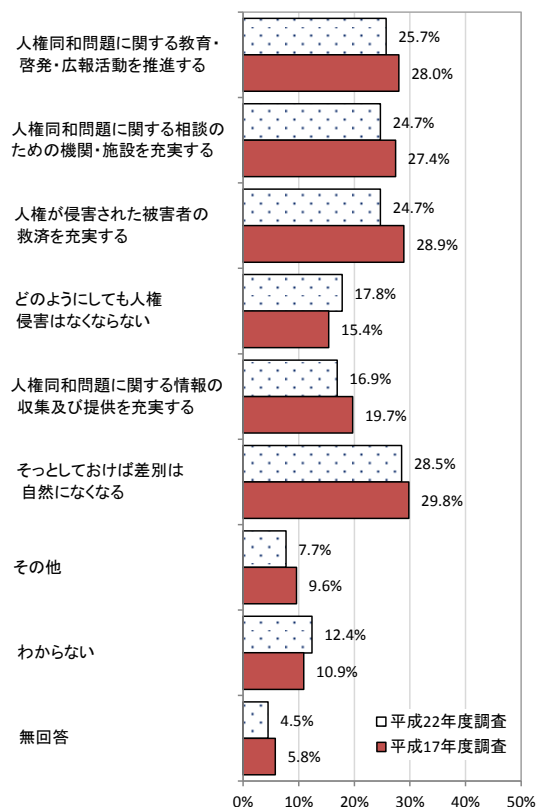
今後の人権教育・啓発のあり方で重要だと考えること（3つ以内）は「人権問題に関する教育・啓発・広報活動を推進する」41.3%、「人権問題に関する相談のための機関・施設を充実する」39.2%、「人権が侵害された被害者の救済を充実する」35.3%が上位3項目である。この3項目は性別、年代によって多少順番の変動はあっても上位は共通だ。

ただ「どのようにしても人権侵害はなくなる」が26.1%と4番目に挙げられるほど、人権教育の難しさを表している。「そっとしておけば差別は自然になくなる」が7.8%で、この2つを合わせた33.9%即ち3人に1人は、人権教育に否定的な考えを持っていることになる。

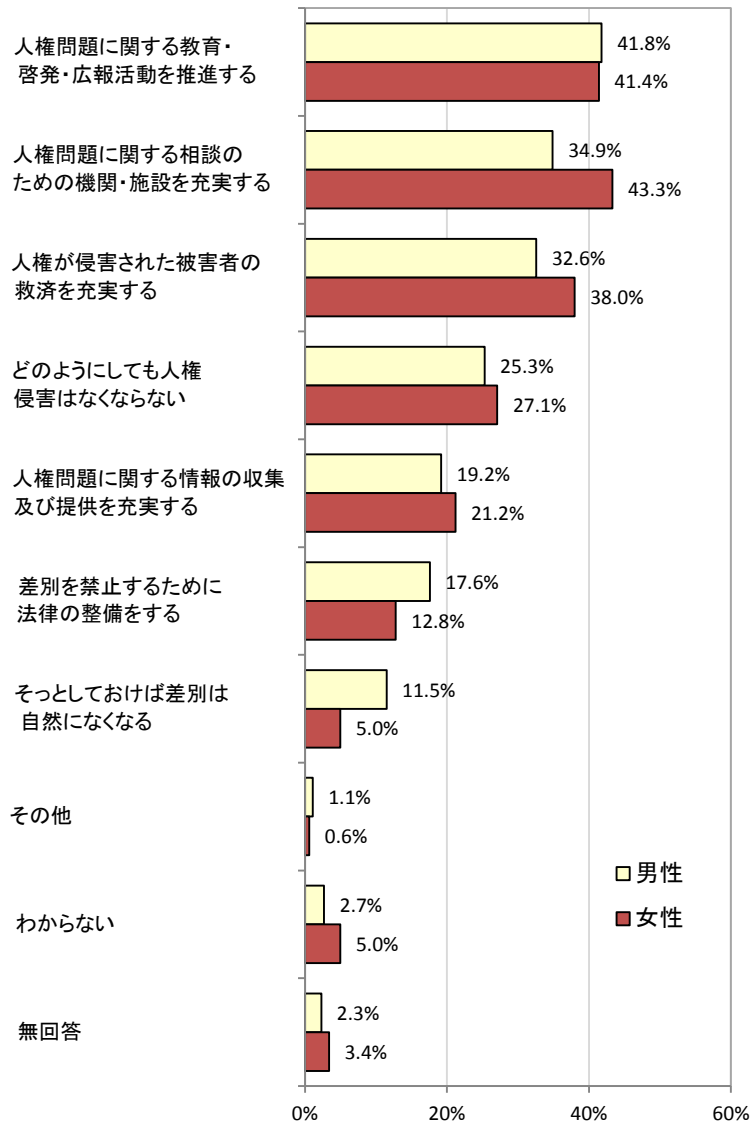
（注）今回「どのようにしても人権侵害はなくなる」と「そっとしておけば差別は自然になくなる」を選んだ場合は、他の複数回答を排除し集計した。前回の調査とは質問の文言や選択肢、集計方法も違う（いくつでも選択可）ので単純に比較できないが、「そっとしておけば差別は自然になくなる」が大幅に減っている。



◆今までの調査(参考)



【性別】



問29 人権問題には、女性、子ども、高齢者、障がい者、同和問題、外国人、HIV感染者、ハンセン病患者、刑を終えて出所した人、犯罪被害者、インターネットによる人権侵害等の問題がありますが、今後の人権教育・啓発のあり方について、あなたが重要だと考えるのは、どのようなことですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください

		標本数（人）	人権問題に関する教育・啓発・広報活動を推進する	人権問題に関する相談のための機関・施設を充実する	人権が侵害された被害者の救済を充実する	どのようなにしても人権侵害はなくなる	人権問題に関する情報の収集及び提供を充実する	差別を禁止するために法律の整備をする	そつとしておけば差別は自然になくなる	その他	わからない	無回答
			(%)									
全体		586	242	230	207	153	118	87	46	5	23	21
			41.3	39.2	35.3	26.1	20.1	14.8	7.8	0.9	3.9	3.6
性別	男性	261	41.8	34.9	32.6	25.3	19.2	17.6	11.5	1.1	2.7	2.3
	女性	321	41.4	43.3	38.0	27.1	21.2	12.8	5.0	0.6	5.0	3.4
	無回答	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
年代	18歳～20歳代	56	32.1	39.3	33.9	28.6	30.4	19.6	5.4	1.8	5.4	1.8
	30歳代	81	38.3	35.8	24.7	32.1	19.8	12.3	7.4	-	6.2	1.2
	40歳代	83	43.4	39.8	44.6	21.7	22.9	16.9	3.6	2.4	3.6	2.4
	50歳代	94	40.4	38.3	37.2	29.8	20.2	12.8	5.3	1.1	4.3	3.2
	60歳代	136	52.9	47.1	46.3	26.5	21.3	10.3	3.7	0.7	3.7	1.5
	70歳以上	132	35.6	34.8	25.0	22.0	13.6	19.7	18.2	-	2.3	6.1
	無回答	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
職業	自営業者	74	55.4	44.6	45.9	20.3	20.3	14.9	8.1	1.4	1.4	1.4
	農林漁業	27	74.1	51.9	55.6	7.4	22.2	14.8	7.4	-	-	-
	商工・建設・サービス業	28	53.6	42.9	46.4	25.0	17.9	14.3	7.1	-	3.6	-
	自由業	14	21.4	28.6	28.6	28.6	21.4	21.4	14.3	7.1	-	7.1
	業種無回答	5	60.0	60.0	40.0	40.0	20.0	-	-	-	-	-
	家族従業者	23	39.1	21.7	26.1	34.8	21.7	17.4	8.7	-	4.3	4.3
	農林漁業	7	57.1	28.6	42.9	28.6	42.9	-	-	-	-	14.3
	商工・建設・サービス業	9	22.2	11.1	11.1	44.4	-	22.2	11.1	-	11.1	-
	自由業	6	33.3	16.7	33.3	33.3	33.3	16.7	16.7	-	-	-
	業種無回答	1	100.0	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	雇用者	242	41.7	41.3	36.8	27.7	21.1	12.4	5.0	1.2	4.5	2.5
	管理職	18	61.1	33.3	27.8	27.8	11.1	22.2	-	-	5.6	-
	専門技術職	73	45.2	45.2	39.7	21.9	26.0	11.0	6.8	-	2.7	2.7
	事務職	67	40.3	38.8	38.8	29.9	16.4	10.4	4.5	4.5	6.0	1.5
	労務職	79	36.7	43.0	36.7	30.4	24.1	13.9	3.8	-	3.8	3.8
	業種無回答	5	20.0	20.0	-	40.0	-	-	20.0	-	20.0	-
	無職	231	37.2	38.1	33.8	26.8	19.5	16.9	10.0	0.4	3.9	3.5
	主婦・主夫	139	40.3	41.7	35.3	27.3	15.8	16.5	9.4	-	4.3	2.9
	学生	19	26.3	31.6	31.6	42.1	31.6	26.3	5.3	-	-	-
	その他の無職	57	33.3	31.6	31.6	19.3	26.3	17.5	12.3	1.8	3.5	7.0
業種無回答	16	37.5	37.5	31.3	31.3	12.5	6.3	12.5	-	6.3	-	
無回答	16	31.3	25.0	-	6.3	12.5	18.8	18.8	-	6.3	31.3	

Ⅲ 調査様式

人権問題に関する市民意識調査のお願い

平成 27 年 11 月
佐久市長 柳田 清二

市民の皆様には、日頃から市政運営につきましてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

佐久市は、平成 17 年度及び平成 22 年度に「市民意識調査」を実施し、「佐久市部落差別撤廃と人権擁護に関する総合計画」に基づき、一人ひとりの基本的人権を永久の権利として尊重し、すべての市民の方が平等に生きる権利の保障に向け、人権施策の推進に努めてきました。

そこで、市民の皆様の人権に対する意識の現状を本調査により把握し、今後の人権教育・啓発活動の課題を明らかにするための基礎資料として、「人権に関する総合計画」の策定に活かしていきたいと思えます。

今回、市内にお住まいの 18 歳以上の方から 1,000 人を無作為に選ばせていただいたところ、あなた様に調査をお願いすることになりました。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、是非ともご協力をお願いいたします。

ご記入後は、同封の返信用封筒に入れて **11 月 20 日（金）まで**に切手を貼らずに、郵便ポストに投函していただきますようお願い
します。

調査は無記名で、統計的に集計を行いますので、個人が特定されることはございません。ご安心のうえ、率直なご意見をお書きください。

<ご記入にあたってのお願い>

- ◇ 封筒の宛名に書かれたご本人様がお答えください。ただし、障がいや病気、あるいは高齢などの理由により、ご本人様がお答えできない場合は、ご家族の方が代理としてお答えください。
- ◇ ご回答は、右端の□の中へ数字をご記入いただくものと、○を付けていただくものがあります。
- ◇ 「その他」に該当する場合は、() の中に具体的内容をご記入ください。

<この調査についてのお問い合わせ先>

佐久市役所 人権同和課 人権同和係
電話：0267-62-3135（直通）

「人権問題に関する市民意識調査」調査票

I. 人権意識について

問1 人権に関することばのうち、あなたが、見聞きしたことがあるものを、すべて挙げてください。（該当する番号の左側に○印をお付けください）

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| <input type="checkbox"/> | ① 人権週間 |
| <input type="checkbox"/> | ② 憲法週間 |
| <input type="checkbox"/> | ③ 人権擁護委員の日 |
| <input type="checkbox"/> | ④ 法の日週間 |
| <input type="checkbox"/> | ⑤ 世界人権宣言 |
| <input type="checkbox"/> | ⑥ 国際人権規約 |
| <input type="checkbox"/> | ⑦ 人権教育・啓発に関する基本計画 |
| <input type="checkbox"/> | ⑧ 人権教育のための国連10年行動計画 |
| <input type="checkbox"/> | ⑨ 佐久市部落差別撤廃と人権擁護に関する条例 |
| <input type="checkbox"/> | ⑩ 見聞きしたものはない |

問2 人権にかかわる問題として、あなたが、関心のあるものはどれですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

- ① 女性の人権
- ② 子どもの人権
- ③ 高齢者の人権
- ④ 障がいのある人の人権
- ⑤ 同和問題
- ⑥ 外国人の人権
- ⑦ エイズ患者及びHIV（エイズウイルス）感染者の人権
- ⑧ ハンセン病患者・元患者の人権
- ⑨ 刑を終えて出所した人の人権
- ⑩ 犯罪被害者等の人権
- ⑪ インターネット（パソコンや携帯電話）による人権侵害
- ⑫ ホームレスの人権
- ⑬ 性同一性障害者（身体的な性と心の性が一致しない者）の人権
- ⑭ 性的指向（異性愛、同性愛、両性愛）に関する人権
- ⑮ アイヌの人々の人権
- ⑯ 北朝鮮当局による拉致問題等
- ⑰ 人身取引
- ⑱ その他（具体的に _____ ）
- ⑲ 特にない
- ⑳ わからない

<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>

女性の人権 日本国憲法や世界人権宣言では、男女の同権、平等が定められています。

問3 あなたは、女性の人権が尊重されている社会だと思いますか。

- ① そう思う → 問5へ
② そう思わない → 問4、5へ

問4 (問3で「② そう思わない」とお答えの方にお尋ねします)

女性の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。
次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

- ① 固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）
② 職場における差別待遇（採用、昇格、賃金など）
③ セクシュアル・ハラスメント
④ マタニティ・ハラスメント
⑤ 結婚・出産などにより女性が仕事を続けにくい社会環境
⑥ DV（ドメスティック・バイオレンス）
⑦ 家庭や職場、地域などで女性の意見が尊重されないこと
⑧ アダルトビデオやポルノ雑誌など、女性を性の対象物ととらえる社会風潮
⑨ 性犯罪や売春・買春
⑩ その他（具体的に)
⑪ わからない

子どもの人権 子どもの権利条約では、子どもは一人の人間として尊重され、大人と同じ権利が保障されています。

(全員の方にお尋ねします)

問5 あなたは、子どもの人権が尊重されている社会だと思いますか。

- ① そう思う → 問7（次のページ）へ
② そう思わない → 問6、7へ

問6 (問5で「② そう思わない」とお答えの方にお尋ねします)

子どもの人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。
次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

- ① 保護者による子どもへの暴力や育児の放棄などの虐待
② 大人が子どもの意見を聞かず自分の意見を子どもに強制すること
③ 大人が「子どもだから」という理由で、子どものプライバシーを尊重しないこと
④ 子どもによる暴力、いじめ、無視などの仲間はずし
⑤ インターネット（パソコンや携帯電話）を使ってのいじめ
⑥ 教師などによる言葉の暴力や体罰
⑦ 暴力や性など子どもにとっての有害な情報の氾濫
⑧ その他（具体的に)
⑨ わからない

高齢者の人権 高齢化が進む日本において、高齢者の尊厳が確保され、安心していきいきと暮らせる社会を築いていくことが望まれています。

(全員の方にお尋ねします)

問7 あなたは、高齢者の人権が尊重されている社会だと思いますか。

- ① そう思う → 問9へ
② そう思わない → 問8、9へ

問8 (問7で「② そう思わない」とお答えの方にお尋ねします)

高齢者の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

- ① 収入が少なく、経済的に自立できないこと
② 自分の能力を発揮する機会が少ないこと
③ 高齢者の意見や行動が尊重されないこと
④ 家族や介護者から身体的、心理的等の虐待があること
⑤ 病院や福祉施設で不当な扱いや身体的、心理的等の虐待があること
⑥ 高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること
⑦ 詐欺や悪徳商法の被害が多いこと
⑧ その他(具体的に)
⑨ わからない

障がいのある人の人権 障害者基本法では、「障がいのある人に対して、障がいを理由として、差別することその他の権利利益を侵害する行為をしてはならない」と定められています。

(全員の方にお尋ねします)

問9 あなたは、障がいのある人の人権が尊重されている社会だと思いますか。

- ① そう思う → 問11(次のページ)へ
② そう思わない → 問10、11へ

問10 (問9で「② そう思わない」とお答えの方にお尋ねします)

障がいのある人の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

- ① 結婚について周囲が反対すること
② 収入が少なく、経済的に自立できないこと
③ 就職や仕事の内容、待遇で不利な取扱いを受けること
④ 障がいのある人だからという理由で、意見や行動が尊重されないこと
⑤ 交通機関等がバリアフリーになっていないため、自由な行動が妨げられること
⑥ 病院や福祉施設で不当な扱いや虐待があること
⑦ アパートなどの住宅への入居が困難なこと
⑧ じろじろと見たり、避けたりすること
⑨ その他(具体的に)
⑩ わからない

同和問題 同和問題は、我が国固有の重大な人権問題であり、その早期解消が望まれます。

(全員の方にお尋ねします)

問11 あなたは、同和問題が解消されている社会だと思いますか。

- ① そう思う → 問 13 へ
② そう思わない → 問 12、13 へ

問12 (問11で「② そう思わない」とお答えの方にお尋ねします)

同和問題が解消されていないと思うのは、特にどのようなことですか。
次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

- ① 結婚問題で周囲が反対すること
② 就職・職場で不利な扱いをすること
③ 身元を調査すること
④ 差別的な言動をすること
⑤ インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること
⑥ 差別的な落書きをすること
⑦ その他 (具体的に)
⑧ わからない

外国人の人権 日本に在住する外国人の増加に伴い、外国人と日本人が、ともに地域に暮らす住民として、互いの文化や生活習慣を認め、尊重し共存できる多文化共生社会を実現する必要性が高まっています。

(全員の方にお尋ねします)

問13 あなたは、外国人の人権が尊重されている社会だと思いますか。

- ① そう思う → 問 15 (次のページ) へ
② そう思わない → 問 14、15 へ

問14 (問13で「② そう思わない」とお答えの方にお尋ねします)

外国人の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。
次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

- ① 地域社会での受入れが十分でないこと
② 住宅を容易に借りることができないこと
③ 保健、医療、防災、教育などの生活に必要な情報が十分手に入れないこと
④ 就職や仕事の内容、待遇で不利な取扱いを受けること
⑤ 学校の受験資格の取扱いや、受入れ体制が十分でないこと
⑥ 文化・スポーツ施設、ショッピング施設、役所、病院などで
外国語表記がなく、十分なサービスが受けられないこと
⑦ 難しい日本語表記や難しい漢字にルビが振っていないこと
⑧ その他 (具体的に)
⑨ わからない

エイズ患者・HIV（エイズウイルス）感染者、ハンセン病患者（回復者）の人権
医学的にみて不正確な知識と過度な危機意識の結果、感染症患者に対する偏見や差別意識が生まれ、患者、元患者やその家族に対するさまざまな人権問題が生じています。

（全員の方にお尋ねします）

問15 あなたは、エイズ患者・HIV（エイズウイルス）感染者の人権が尊重されている社会だと思いますか。

- ① そう思う → 問 17 へ
② そう思わない → 問 16、17 へ

問16（問15で「② そう思わない」とお答えの方にお尋ねします）

エイズ患者・HIV（エイズウイルス）感染者の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

- ① 就職や職場で不利な取扱いを受けること
② 医療機関で治療や入院を断られること
③ 本人に無断でHIV（エイズウイルス）検査をされること
④ 偏見により差別的な言動を受けること
⑤ アパートなどの住宅への入居が困難なこと
⑥ 結婚について、周囲が反対すること
⑦ その他（具体的に)
⑧ わからない

（全員の方にお尋ねします）

問17 あなたは、ハンセン病患者（回復者）の人権が尊重されている社会だと思いますか。

- ① そう思う → 問 19（次のページ）へ
② そう思わない → 問 18、19 へ

問18（問17で「② そう思わない」とお答えの方にお尋ねします）

ハンセン病患者（回復者）の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

- ① じろじろ見たり、避けたりすること
② 就職や職場で不利な取扱いを受けること
③ 医療機関で治療や入院を断られること
④ ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと
⑤ 偏見により差別的な言動を受けること
⑥ アパートなどの住宅への入居が困難なこと
⑦ 旅館、ホテル等において、不当な扱いを受けること
⑧ 怖い病気といった誤解があること
⑨ その他（具体的に)
⑩ わからない

Ⅱ. 結婚について

(全員の方にお尋ねします)

問19 結婚は、二人の合意により成立することになっています。しかし、現実には、いろいろな理由で、家族やまわりの人たちが反対することがあります。このことについて、あなたは、どのように思いますか。

- ① 当人同士の合意があればよい。まわりの意見に左右されるべきでない
- ② 家族やまわりの人の意見も無視できないが、どちらかといえば、当人同士の合意が、より尊重されるべきである
- ③ 当人同士の合意も無視できないが、どちらかといえば、家族やまわりの人の意見が、より尊重されるべきである
- ④ 家族やまわりの人の意見が、尊重されるべきである
- ⑤ その他(具体的に)

(次の問20は、既に結婚されている方も、未婚だと仮定してお答えください。)

問20 仮にあなたが、同和地区出身の方と恋愛し結婚しようとするとき、もしも、親や親戚から反対をされたら、あなたはどうしますか。次の中から、あなたのお考えに最も近いものをお選びください。

- ① 自分の意志を貫いて結婚する
- ② 親の説得に全力を傾けた後、自分の意志を貫いて結婚する
- ③ 家族の者や親戚の反対があれば、結婚しない
- ④ 絶対に結婚しない

(次の問21は、お子さんが既に結婚されていたり、今現在お子さんがいない方も、ご自分のお子さんが、これから結婚すると仮定してお答えください。)

問21 仮にあなたのお子さんが、同和地区出身の方と結婚しようとするとき、あなたはどうしますか。次の中から、あなたのお考えに最も近いものをお選びください。

- ① 子どもの意志を尊重する。親が口出しすべきことではない
- ② 親として反対するが、子どもの意志が強ければしかたがない
- ③ 家族の者や親戚の反対があれば、結婚を認めない
- ④ 絶対に結婚を認めない

Ⅲ. 人権侵害について

問22 あなたは、今までに、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。

- ① ある → 問 23、24、25、26 へ
 ② ない → 問 26 (次のページ) へ

問23 (問22で「① ある」とお答えの方にお尋ねします)

それは、どのような人権侵害ですか。差し支えなければお聞かせください。
 次の中から、あてはまるものをすべて挙げてください。

(該当する番号の左側に○印をお付けください)

- | | | | |
|--------------------------|---------------------|--------------------------|-------------------|
| <input type="checkbox"/> | ① あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口 | <input type="checkbox"/> | ⑩ マタニティ・ハラスメント |
| <input type="checkbox"/> | ② プライバシーの侵害 | <input type="checkbox"/> | ⑪ 特定の人に執拗につきまとわれる |
| <input type="checkbox"/> | ③ 名誉・信用のき損、侮辱 | <input type="checkbox"/> | ⑫ 村八分 |
| <input type="checkbox"/> | ④ 差別 | <input type="checkbox"/> | ⑬ 犯罪、不法行為のぬれぎぬ |
| <input type="checkbox"/> | ⑤ 悪臭・騒音等の公害 | <input type="checkbox"/> | ⑭ 社会福祉施設での不当な取扱い |
| <input type="checkbox"/> | ⑥ 警察官の不当な取り扱い | <input type="checkbox"/> | ⑮ 住居の安全に関するもの |
| <input type="checkbox"/> | ⑦ 暴力、脅迫、強要 | <input type="checkbox"/> | ⑯ なんとなく |
| <input type="checkbox"/> | ⑧ 使用者による労働強制等の不当な待遇 | <input type="checkbox"/> | ⑰ その他 () |
| <input type="checkbox"/> | ⑨ セクシュアル・ハラスメント | <input type="checkbox"/> | ⑱ 答えたくない |

問24 (問22で「① ある」とお答えの方にお尋ねします)

そのとき、だれかに相談しましたか。次の中から、あてはまるものをすべて挙げてください。(該当する番号の左側に○印をお付けください)

- | | | | |
|--------------------------|-------------------|--------------------------|-----------|
| <input type="checkbox"/> | ① 友人、同僚、上司 | <input type="checkbox"/> | ⑧ 人権相談所 |
| <input type="checkbox"/> | ② 両親、兄弟、姉妹、子ども、親戚 | <input type="checkbox"/> | ⑨ 人権擁護委員 |
| <input type="checkbox"/> | ③ 自分で処理(解決)した | <input type="checkbox"/> | ⑩ 民間運動団体 |
| <input type="checkbox"/> | ④ 警察 | <input type="checkbox"/> | ⑪ その他 () |
| <input type="checkbox"/> | ⑤ 弁護士 | <input type="checkbox"/> | ⑫ 何もしなかった |
| <input type="checkbox"/> | ⑥ 市町村 | <input type="checkbox"/> | ⑬ 忘れた |
| <input type="checkbox"/> | ⑦ 法務局 | | |

問25 (問24で、どなたかに相談された方にお尋ねします)

相談をした結果はどうでしたか。

- ① 解決した
 ② 十分ではないが解決した
 ③ 気持ちが軽くなった
 ④ 変わらなかった
 ⑤ 悪化した
 ⑥ その他(具体的に)

(全員の方にお尋ねします)

問26 あなたは、ここ1、2年の間で、インターネットを悪用した人権侵害事例を、見聞きしたことがありますか。次の中から、あてはまるものをすべて挙げてください。(該当する番号の左側に○印をお付けください)

- | | | |
|--------------------------|---|---|
| <input type="checkbox"/> | ① 同和地区出身者を誹謗・中傷する表現の掲示 | |
| <input type="checkbox"/> | ② 障がい者を誹謗・中傷する表現の掲示 | |
| <input type="checkbox"/> | ③ 外国人を誹謗・中傷する表現の掲示 | |
| <input type="checkbox"/> | ④ 女性を誹謗・中傷する表現の掲示 | |
| <input type="checkbox"/> | ⑤ ハンセン病・HIV(エイズウイルス)感染者(回復者)を誹謗・中傷する表現の掲示 | |
| <input type="checkbox"/> | ⑥ 人権侵害事例を見たことがない | |
| <input type="checkbox"/> | ⑦ インターネットを利用したことがない | |
| <input type="checkbox"/> | ⑧ その他(具体的に |) |

IV. 人権擁護機関の周知度について

問27 あなたは、人権擁護機関としてどのようなものを知っていますか。次の中から、あてはまるものをすべて挙げてください。(該当する番号の左側に○印をお付けください)

- | | | | |
|--------------------------|-------|--------------------------|----------|
| <input type="checkbox"/> | ① 警察 | <input type="checkbox"/> | ⑤ 人権擁護委員 |
| <input type="checkbox"/> | ② 弁護士 | <input type="checkbox"/> | ⑥ 県 |
| <input type="checkbox"/> | ③ 法務局 | <input type="checkbox"/> | ⑦ その他(|
| <input type="checkbox"/> | ④ 市町村 | |) |

V. 人権問題への関わり

問28 あなたは、人権問題に関する次のようなことに、参加したり、見たり、読んだり、家族で話し合った経験がありますか。A～Lそれぞれについて、お答えください。

A 講演会・研修会

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| ① 3回以上参加した | <input type="checkbox"/> |
| ② 1～2回参加した | |
| ③ 参加したことはない(理由:) | |

B 地域懇談会

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| ① 3回以上参加した | <input type="checkbox"/> |
| ② 1～2回参加した | |
| ③ 参加したことはない(理由:) | |

C 人権フェスティバルなどのイベント

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| ① 3回以上参加した | <input type="checkbox"/> |
| ② 1～2回参加した | |
| ③ 参加したことはない(理由:) | |

D 啓発冊子・パンフレット

- ① 3回以上読んだり、見たりした
- ② 1～2回読んだり、見たりした
- ③ 読んだり、見たりしたことはない

E 市町村等の広報誌

- ① 3回以上読んだり、見たりした
- ② 1～2回読んだり、見たりした
- ③ 読んだり、見たりしたことはない

F 書籍・雑誌

- ① 3回以上読んだり、見たりした
- ② 1～2回読んだり、見たりした
- ③ 読んだり、見たりしたことはない

G 新聞

- ① 3回以上読んだり、見たりした
- ② 1～2回読んだり、見たりした
- ③ 読んだり、見たりしたことはない

H ラジオ・テレビ

- ① 3回以上見たり、聞いたりした
- ② 1～2回見たり、聞いたりした
- ③ 見たり、聞いたりしたことはない

I 映画・ビデオ

- ① 3回以上見た
- ② 1～2回見た
- ③ 見たことはない

J インターネット

- ① 3回以上見た
- ② 1～2回見た
- ③ 見たことはない

K 掲示物（ポスター、看板等）

- ① 3回以上読んだり、見たりした
- ② 1～2回読んだり、見たりした
- ③ 読んだり、見たりしたことはない

L 家族との話し合い

- ① 3回以上話し合ったことがある
- ② 1～2回話し合ったことがある
- ③ 話し合ったことはない

Ⅵ. 今後の人権教育・啓発のあり方について

問29 人権問題には、女性、子ども、高齢者、障がい者、同和問題、外国人、HIV感染者、ハンセン病患者、刑を終えて出所した人、犯罪被害者、インターネットによる人権侵害等の問題がありますが、今後の人権教育・啓発のあり方について、あなたが重要だと考えるのは、どのようなことですか。
次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

- ① 人権問題に関する教育・啓発・広報活動を推進する
- ② 人権問題に関する相談のための機関・施設を充実する
- ③ 人権が侵害された被害者の救済を充実する
- ④ 人権問題に関する情報の収集及び提供を充実する
- ⑤ 差別を禁止するために法律の整備をする
- ⑥ そっとしておけば差別は自然になくなる
- ⑦ どのようにしても人権侵害はなくなる
- ⑧ その他（具体的に
- ⑨ わからない

<ご協力ありがとうございました>

これからお聞きする事柄は、結果をまとめる上で必要となります。
お手数ですが、以下3項目のご回答もよろしくお願い致します。

F 1 あなたの性別 ① 男性 ② 女性

--

F 2 あなたの年代 ① 18歳～20歳代 ④ 50歳代
② 30歳代 ⑤ 60歳代
③ 40歳代 ⑥ 70歳以上

--

F 3 あなたの職業 まずA～Dのご職業を選んでいただき、右横の業種番号に○を付けてください。

- A 自営業者 ① 農林漁業 ② 商工・建設・サービス業 ③ 自由業
- B 家族従業者 ① 農林漁業 ② 商工・建設・サービス業 ③ 自由業
- C 雇用者 ① 管理職 ② 専門技術職 ③ 事務職 ④ 労務職
- D 無職 ① 主婦・主夫 ② 学生 ③ その他の無職

例：会社勤めをしていて、主に事務を担当している方

C 雇用者 ① 管理職 ② 専門技術職 ③ 事務職 ④ 労務職

👉 最後までご回答ありがとうございました 👈

平成 27 年度
佐久市人権同和問題に関する
市民意識調査報告書

発行年月 平成 28 年 3 月

佐久市 市民健康部 人権同和課

〒385-8501
長野県佐久市中込3056番地
TEL(0267)62-3135
FAX(0267)64-1157